

科目名	日本文化論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	白石 義孝	関連する資格		

授業概要

「倭は 国のまほろば たたなづく 青垣 山隠れる 倭しうるはし」  
 現存するわが国最古の書物（歴史書）である古事記（ふることふみ）は、天武天皇の命により編纂され、8世紀初頭（飛鳥時代から奈良時代）のわが国における天皇中心の社会と世界観を形成するための思想的背景となった。

本授業では、現代でいうところの「美しい国 日本」および「クール ジャパン」の思想の原点ともいえる古事記を、難解な原典ではなく、2015年に完結するまでの32年間でコミックス全23巻にわたる大作「天上の虹」（持統天皇物語）の作者である、里中満智子氏のコミック版を読み解いて理解を深めていくこととする。

最後に本授業のまとめとして、古事記の全体のストーリーを把握した状態で、河合隼雄氏の「神話と日本人の心」を読み解くことにより、日本文化論への心理学的なアプローチについても学ぶこととする。

到達目標

B1110

- 1．現存するわが国最古の書物（歴史書）である古事記を読み解くことにより、古代日本（飛鳥時代）の社会と世界観について理解を深める。
- 2．神話に登場する神々の物語を読み、伝統的な皇室祭祀の意味、および全国各地の神社に祀られている神々との関係を理解する。
- 3．クールジャパンとして世界に誇るわが国のコミック文化において、巨匠と位置づけられる作家の作品のうち、歴史を扱った大作に親しむ。
- 4．河合隼雄氏の著作を通して、心理学的な視点から日本神話を読み解いてみる。

成績評価方法

定期試験および期末レポート（40％）、小テスト、授業内レポート（10％）、宿題、授業外レポート（30％）、プレゼンテーション（20％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験（中間・期末）	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク		○	○		○		
演習		○	○		○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方（対面授業） 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 古事記（上巻）この世の始まり・天の石屋戸（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 八俣大蛇・大穴牟遲（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 根之堅州国・大国主神・少名毘古那（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 国譲り・天孫降臨・木花之佐久夜毘売と石長毘売（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 山幸彦と海幸彦・豊玉毘売と玉依毘売（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 古事記（中巻）神武東征・天皇誕生・欠史八代（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 三輪山の大神主神・沙本毘売・本牟智和気御子（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 小碓命・出雲建・倭建命（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 草薙剣・弟橘比売・倭建命の帰還（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 息長帯比売・大雀命（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 古事記（下巻）皇后石之日売・皇位継承・歴史への道（対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) 神話と日本人の心「アマテラス」（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) 神話と日本人の心「スサノヲ」（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 神話と日本人の心「オオクニヌシ」（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読み、事前課題に回答（45分）遠隔授業 復習：最終課題を作成する（180分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習	
発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること	
グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト ・マンガ古典文学『古事記』（上）・（下）（里中満智子、小学館文庫） ・河合隼雄『神話と日本人の心』（岩波現代文庫・学術） 参考書・参考資料等 その他講義中において適宜紹介する。	現代社会の教育、ボランティアと社会

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

- ・各地の神社仏閣を訪問する際に、その歴史的背景や祀られている神仏について調べてみましょう。
- ・皇室で行われている宮中祭祀の歴史的背景と目的について調べてみましょう。

文庫版の文字が小さく、吹き出しのセリフが読みづらい場合は、文字の大きいワイド版（全2巻）をすすめる。

- ・古事記 壹(マンガ古典文学シリーズ)、小学館、ISBN: 4093621918
- ・古事記 貳(マンガ古典文学シリーズ)、小学館、ISBN: 4093621926

科目名	現代社会の教育						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2年	前期			
担当者名	白石 義孝		関連する資格				
<b>授業概要</b> 世界に先例のない少子高齢社会となったわが国において、教育を取り巻く状況も劇的に変化し続けています。本授業では、池上彰氏の最新テキストを使用して基本的な思考力を鍛えるトレーニングを行ったうえで、通常の教職科目ではカバーできない最新かつ重要な問題について取り上げ、みんなで考えていきます。思考力がつくと、仕事も、人間関係も、人生も、よりよく変えることができます。それは、「自分の可能性に気づくことができる」からだと池上氏は指摘します。また、思考力のある人は、逆境や悩みをチャンスに変えることもできます。反対に、「自分の頭で考える」ことができなければ、「他人に考えてもらった」ことに従うことになり、何かあったときデマや悪意に振り回されてしまうのです。残念なことに自分の将来も、決められた道しかないと思ひ込んでしまうでしょう。現時点で予定しているテーマは以下のとおり。 パンデミックで試された私たちの思考力 戦争・パンデミック・東京五輪 日本が失敗するときの共通点 自分の頭で考える授業 さあ、一緒に考えましょう（2022年度から変わる高校の「地理」「近現代史」「公共」） 折れないしなやかな自分をつくる 乗り越える力 ステレオタイプ思考は脱却できる 問いを立てる力 思考が深まる、新しい発想が湧く 対話の力 思考の方程式 9つの考えるヒント 毎回の授業テーマは社会情勢を踏まえて大きく変更することがあります。							
<b>到達目標</b> B2101 1. 劇的に変化する社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる問題、並びにそれに対応するための教育政策の動向を理解できる。 2. 少子高齢社会における学歴獲得競争の背景と構造を学び、メリットとデメリットについて議論することができる。 3. ライフ・プランニング（キャリアプランとマネープランを含む）において生涯学び続けることの意義について理解し、説明できる。 4. デマやネット上の情報に踊らされず、現代社会の教育問題を正しく理解するために必要な「読解力」と「思考力」を習得する。			<b>成績評価方法</b> 定期試験または期末レポート（40%）、小テスト、授業内レポート（10%）、宿題、授業外レポート（30%）、プレゼンテーション（20%）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク		○	○		○		
演習		○	○		○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方（対面授業） 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) パンデミックで試された私たちの思考力（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 私たちはダメされやすいのか？（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（60分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（60分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 日本が失敗するときの共通点（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 失敗しない私について考えてみよう（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（60分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 自分の頭で考える授業『公共』（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 自分の頭で考える授業『地理』『近代史』（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（90分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（60分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 折れないしなやかな自分をつくる 乗り越える力（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 乗り終える力を身に付けよう（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（60分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) ステレオタイプ思考は脱却できる 問いを立てる力（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 問いを立てる力を身に付けよう（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 思考が深まる、新しい発想が湧く 対話の力（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（60分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（60分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) 対話の力を身に付けよう（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) 思考の方程式 9つの考えるヒント（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（60分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 総括（授業全体の振り返り、レポート作成）（対面授業） 予習：テーマに関する情報収集を行う（120分） 復習：最終課題を作成する（180分）（遠隔）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習	
グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること 期末レポート等は発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>池上彰『なぜ、いま思考力が必要なのか？』（講談社 新書）</li> </ul> <p>参考書・参考資料等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>池上彰『なぜ、読解力が必要なのか？』（講談社 新書）</li> <li>高瀬志帆『二月の勝者』～（小学館・ビッグコミックス）</li> </ul> <p>その他講義中において適宜紹介する。</p>	<p>教育社会学、教職概論、教育課程論、教育原理、教育相談・カウンセリング、教育方法・技術論、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）、特別支援教育論、生徒指導論、学校体験活動、ボランティアと社会</p>

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

科目名	地域社会学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2年	後期			
担当者名	瀬崎 譲廣		関連する資格				
<b>授業概要</b> 私たちの生活は、地域で営まれます。戦後の高度経済成長は、私たちの暮らしを物質的に豊かにしました。そのことは、日々の暮らしの地域社会への依存度を低下させたかのように思われました。しかし、近年、防災や子育て、地域医療・地域福祉などの観点から地域社会への関心が高まっています。また、海外からの労働者の受け入れといったグローバルな事柄も、実際に起こっている現場は地域社会です。 また、戦後の社会変化の中で、かつての共同体的な地域社会は大きく変化しました。その典型は、山間部の村落社会ですが、これらの地域では少子高齢化が著しく進行し、村社会の維持すら難しくなる「限界集落」などの問題も起きています。 この授業では、現在の地域社会（農村・都市）が抱える問題点を社会学の視点から紹介し、それらを解決する方法について考えていきます。なお、授業の進行は、受講生の皆さんが社会学の初学者であることを前提に進めます。授業を受けるにあたり、事前の学習等は必要ありません。							
<b>到達目標</b> B2501 地域社会の特徴を社会的に理解するための視点を獲得する 戦後社会の変容と、今日の地域社会が抱える問題への理解を深める			<b>成績評価方法</b> 講義中に課す小レポート等および定期試験によって評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーリング 社会学の特徴 社会学の基本的な考え方	グループワーク
2) 社会学の特徴 近代社会の成立と都市化、社会学の登場 復習：小レポート（10分程度）	
3) 社会学の特徴 ウェーバーとデュルケムを見たキリスト教と都市化 復習：小レポート（10分程度）	
4) 社会学の特徴 コミュニケーションと差別 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
5) 社会学は地域社会をどのような観点・方法でとらえるか？ 復習：小レポート（10分程度）	
6) イエとムラ 日本の伝統的な社会の在り方 復習：小レポート（10分程度）	
7) ムラの資源管理と野生動物の都市進出 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
8) 過疎化による生活の諸問題と、海外からの労働力の獲得競争 復習：小レポート（10分程度）	
9) 地方都市の衰退と地域医療 復習：小レポート（10分程度）	
10) 地域社会による死の受け止めと、自宅で死ぬこと 復習：小レポート（10分程度）	
11) 災害による地域社会へのインパクト 阪神淡路大震災の教訓と東日本大震災 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
12) 災害による地域社会へのインパクト 復習：小レポート（10分程度）	
13) 地方都市での商店街の衰退と、商店街の魅力 復習：小レポート（10分程度）	
14) 少子高齢化の地域でも楽しく生きる ”やねだん” の挑戦 復習：小レポート（10分程度）	
15) 授業全体のまとめ	
授業外学習	
特に課しませんが、授業に関連することで興味を持ったことや分からないことなど、自分で積極的に調べることを期待します。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書：用いない 参考書：授業の中で適宜紹介する	



課題に対するフィードバック

小レポートには次回コメントを付けて返却。または、提出された小レポートをふまえた授業を行う。

備考

授業のなかで、資料等の読解に関連して質問を適宜行います。積極的な参加、発言を期待します。

科目名	地球の現在・過去・未来			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

#### 授業概要

授業は対面で実施します。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては遠隔授業（ズームを使った双方向型授業）に切り替える場合もあります。なお、どちらの形態の授業でも、Classroomを使って資料の配布、及び出席確認のため、各回の課題提出を求めます。必ず、提出してください。

この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業。この授業は、受講者が地球の現在・過去・未来について考える際に、知っておくべき自然科学系の話（社会科学系も含んでおり、文系・理系の枠を超えた視点にチャレンジする）。この授業の最も重要なことは「事実と意見」の区別と「時間と空間のスケール」を意識すること。この授業の受講後、新聞で毎日のように取り上げられている自然科学系（地球の環境も含めて）の記事の内容がある程度、理解できるようになる。

#### 到達目標

B2102  
自然科学系に関する新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。  
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

#### 成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 「地球の歴史、何がわかっているの？未来は」 予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 「宇宙の始まり」「地球誕生・生物誕生」 予習；宇宙の始まりの部分について概観する（30分）。復習；宇宙、地球の誕生について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 「人間社会の形成」 予習；人間社会の形成について概観する（30分）。復習；生物の誕生から人間社会の形成までをもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 「熱収支と四季」 予習；熱収支について概観する（30分）。復習；熱収支と四季の起こる原因についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 「水と大気の大循環」 予習；水と大気の大循環の部分を概観する（30分）。復習；水と大気の循環の要点をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) 「森林消失と生物種絶滅」 予習；森林消失と生物種絶滅の関係について概観する（30分）。復習；森林の現況と生物種の関係についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 「オゾン層破壊・PM2.5」 予習；オゾン層破壊とPM2.5について概観する（30分）。復習；オゾン層破壊、PM2.5の現況についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 「温暖化モデルとIPCC」 予習；温暖化、原因物質、IPCCについて概観する（30分）。復習；IPCCの作業原則と温暖化モデルの精度の現状について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 「周期的変動」 予習；海、大気の周期変動について概観する（30分）。復習；偏西風の動き、海洋の様々な周期変動についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) 「化石燃料から再生可能エネルギーへ」 予習；化石燃料と新エネルギーの現況について概観する（30分）。復習；化石燃料と再生可能エネルギーのバランスについてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 「炭素社会から水素社会に」 予習；水素利用の現状について概観する（30分）。復習；水素社会の到来の時期についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 要点整理（グループ討議とレポート提出準備） 予習；11回までの内容についてもう一度、読み込む（30分）。復習；グループ討議で疑問に思ったことを解決して、レポートを作成する（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 「未来予測」 予習；未来の予測について概観する（30分）。復習；未来のイメージについてもう一度、考えてみる（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) 「天気予報と災害への備え」 予習；最近の異常気象について概観する（30分）。復習；様々な自然災害に対処する手順を整理する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) 「まとめ」 予習；資料全体をもう一度、概観する（30分）。復習；テストに備えて重要なところをもう一度、読み込む（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。 講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	

課題に対するフィードバック

毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。

備考

科目名	データの科学的な見方			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

授業は対面で実施します。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては遠隔授業（ズームを使った双方向型授業）に切り替える場合もあります。なお、どちらの形態の授業でも、Classroomを使って資料の配布、及び出席確認のため、各回の課題提出を求めます。必ず、提出してください。

さて、この科目はディプロマポリシーのうち、「柔軟な思考と表現力」を身に付けるために、また「看護師・保健師としての基礎的思考方法」を学ぶ。

受講者はまず最近、重要度が増している「統計学とAI」の関係について学ぶ。次に統計学の歴史について深く学ぶ。その上で、統計学の様々な用語を理解して統計学を将来の仕事の道具として使いこなせるようにする。

統計学は現状把握と予測のためと見られているが、じつは限られたデータを使って全体の因果関係を探る学問。統計学を通じて得た情報から「ピンとくる」カンを働かせるのに役立たせる。

看護研究や保健研究では、データ処理に統計の知識が必要。導き出した統計値の科学的な意味を理解する。そのために、まず基本的な統計値の意味をしっかりと理解し、統計図、統計表の見方を学習。次いで区間推定や検定を通じてデータの科学的な見方を身につけていく。

到達目標

B2103

統計学の基本的な言葉の意味、統計値の科学的意味を的確につかむ。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 統計学とAI 予習；統計学とAIの関係について概観する（30分）。復習；統計学とAIの部分についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 人工知能とは 予習；人工知能の部分について深く思考する（30分）。復習；人工知能の部分を整頓しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 統計学の歴史 予習；統計学の歴史について概観する（30分）。復習；統計学の歴史について再確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 統計学の考え方 予習；統計学の考え方、データの科学的見方の部分について概観する（30分）。復習；統計学の考え方、データの科学的見方のチェックをしておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 把握・予測・洞察の統計学 予習；予測・洞察の統計学を概観する（30分）。復習；予測・洞察の統計学について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) ジョン・スノウと疫学 予習；疫学の歴史について概観する（30分）。復習；疫学の歴史について確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) データの科学的な見方 予習；データの科学的な見方について調べておく（30分）。復習；データの科学的な見方を確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 具体例で統計学を学ぶ「度数分布・分割・図」 予習；度数分布・分割・図の部分について概観する（30分）。復習；度数分布・分割・図の部分を確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 具体例で統計学を学ぶ「平均値・標準偏差・偏差値」 予習；平均値・標準偏差・偏差値について概観する（30分）。復習；平均値・標準偏差・偏差値について再度、整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) 具体例で統計学を学ぶ「範囲・その他の数値」 予習；範囲・その他の数値について概観する（30分）。復習；範囲・その他の数値について、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 正規分布 予習；正規分布について概観する（30分）。復習；正規分布について、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 推定と検定 予習；推定と検定について概観する（30分）。復習；推定と検定について、整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 詳しい検定 予習；詳しい検定について調べておく（30分）。復習；詳しい検定について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) 分散分析・多変量解析 予習；分散分析・多変量解析について概観する（30分）。復習；分散分析・多変量解析についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) まとめ	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
<p>授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読する。 講義資料を復習。保健師国家試験の過去問のうち、統計学の基礎問題が確実に解けるように自宅でも計算問題、基礎的な言葉の意味を再確認する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	数学の基礎 保健統計学

課題に対するフィードバック

毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。

備考

科目名	メディカルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	前期
担当者名	谷國 晶洋	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。  
 看護師が言語を異にする患者及びドクターとコミュニケーションを図るために必要な基礎的英語力を育成する。  
 その方法として： 患者への動作の指示、介助、説明に不可欠な英語の語彙及び表現を身に付けさせる。 医療器具、体の部位、痛み等に対する英語を身に付けさせる。さらに、 英語を使うドクターの指示、患者の要求を聞き取るためのリスニングの練習を行う。

到達目標

- B2201
- ・基礎的な医療関連の英文を理解することができる。
  - ・言語を異にする患者やドクターと英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
  - ・英語の語彙を拡大することができる。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----80%  
 授業態度・授業参加度-----20%  
 で、評価する。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							80	
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							20	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2) Unit 1 What Worries Barbara? 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Talking to Each Other
3) Unit 2 That's Mama's Hair! 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Talking to Each Other
4) Unit 3 Menstrual Problems 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Talking to Each Other
5) Unit 4 Right or Left? 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Talking to Each Other
6) Unit 5 How to Give First Aid 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	【 Talking to Each Other
7) Unit 6 Make a Restroom More Accessible to LGBT People 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Talking to Each Other
8) Unit 7 Are You Being abused? 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	【 Talking to Each Other
9) Unit 8 Giving Blood 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Talking to Each Other
10) Unit 9 Living a Healthy Life 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Talking to Each Other
11) Unit 10 Is the Treatment Different or Not? 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Talking to Each Other
12) Unit 11 Is Hepatitis B curable? 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Talking to Each Other
13) Unit 12 Do You Want to be Skinny? 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Talking to Each Other
14) Unit 13 You Need a Breast Self-Examination 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Talking to Each Other
15) Unit 14 Foreign Nurses Struggle for the Japanese Language 【予習】 Words & Phrasesを行い、Readingを訳しておく(60分) 【復習】 一章分を復習しておく(30分)	Talking to Each Other
授業外学習	
「授業計画と概要」に示す予習および復習をしておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：医療と看護の総合英語（三訂版）笹島 茂、山崎朝子 2021年 三修社	スペシフィックイングリッシュ

課題に対するフィードバック

備考

科目名	メディカルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。看護師が言語を異にする患者及び医師とコミュニケーションを図るために必要な基礎的英語力を育成する。その方策として、患者への動作の指示や介助、説明に不可欠な用語及び表現を身につける。さらに、医療器具、体の部位、痛み等に対する英語を身に付け、患者及び医師への対応に必要なとされる英語の知識を深める。

到達目標

B2201

- 1 言語を異にする患者及び医師とコミュニケーションを図ることが出来る。
- 2 基礎的な医療関連の英文を理解する能力を身に付ける。
- 3 外国における医療・看護への関心が高まる。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 看護関係の英語の特徴について テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2) 国際医療に占める英語の位置 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 英語関連の資格試験 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 病院における英語の使い方についての説明 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 英語による患者とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 英語による医師とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 英語による同僚とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 英語による患者の家族とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 状況別の英語の使い方についての説明 1 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 状況別の英語の使い方についての説明 2 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 状況別の英語の使い方についての説明 3 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 状況別の英語の使い方についての説明 4 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 状況別の英語の使い方についての説明 5 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) 状況別の英語の使い方についての説明 6 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『First Aid: English for Nursing』樋口晶彦 John Tremarco著、金星堂 毎回プリント類を配布する 参考書：『現場ですぐに役立つ! 看護・医療スタッフの英語』山中マーガレット著、2008年、朝日出版社	スペシフィックイングリッシュ

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	スペシフィックイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	4年	後期
担当者名	未定	関連する資格		

授業概要

具体的な看護の事例研究を題材に取り上げ、看護に関する英文読解および英作文の力を身に付けさせる。  
その方法として：「情報収集」「アセスメント」「計画立案」「実施」「評価」という一連の看護過程を英語で読む。「患者プロフィール」や「看護計画」を英語で書く練習をする。レポートや論文のアブストラクトを英語で読み、論文の構成について指導する。

到達目標

B3201

- ・看護に関するボキャブラリーを拡大することができる。
- ・読解力を向上させることができる。
- ・「患者プロフィール」や「看護計画」等を英語で書くことができる。
- ・英語のレポートや論文の構成を理解することができる。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----60%  
小テスト、授業内レポート-----20%  
宿題、授業外レポート-----20%  
で、評価する。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							60	
小テスト、授業内レポート							20	
宿題、授業外レポート							20	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) Unit 1 Risk for Injury: How to Maintain Safety [予習] 教科書 p.3の問題に解答しておく(60分)	テキストの「大意把握」に取り組む。
2) Unit 2 Self-care Deficit: How to Practice Bathing and Hygiene [予習] 教科書 p.9の問題に解答しておく(60分) [復習] 運動機能障害に関する看護計画を復習しておく(30分)	宿題(1)
3) Unit 3 Respiratory Disorders: How to Relieve Respiratory Distress [予習] 教科書 p.15の問題に解答しておく(60分) [復習] 入浴・清潔行動計画に関する看護計画を復習しておく(30分)	50-word composition
4) Unit 4 Fluid Volume Deficit: How to Maintain Fluid Balance [予習] 教科書 p.21の問題に解答しておく(60分) [復習] 気管支喘息による呼吸障害に関する看護計画を復習しておく(30分)	小テスト(1)
5) 「患者プロフィール」を英語で書く練習を行う。 [予習] 教科書 p.31, p.33の単語の意味を調べておく(60分) [復習] 下痢等による体液量不足に関する看護計画を復習しておく(30分)	患者に関する「主観的情報」を考える。
6) Unit 5 Insomnia: How to Promote Rest and Sleep [予習] 教科書 p.27の問題に解答しておく(60分) [復習] 前回の「患者プロフィール」の復習をしておく(30分)	患者に関する「客観的情報」を考える。
7) Unit 7 Healthy Dietary Practice: How to Gain Adequate Weight [予習] 教科書 p.39の問題に解答しておく(60分) [復習] 不眠に関する看護計画を復習しておく(30分)	グループワーク
8) Mid-term Exam (中間テスト) [復習] これまでに学んだことをすべて復習しておく	これまでに学んだことを自主的に復習する。
9) Unit 11 Impaired Skin Integrity: How to Manage Burn Care [予習] 教科書 p.63の問題に解答しておく(60分) [復習] 摂食障害に関する看護計画を復習しておく(30分)	新単語および表現のリストを作成する。
10) 「看護計画」を英語で各練習を行う。 [予習] 教科書 p.43, p.47の尿閉に関する単語の意味を調べておく(60分) [復習] 熱傷による皮膚統合性障害に関する看護計画を復習しておく(30分)	50-word composition
11) Unit 12 Visual Alterations: How to Adjust to Visual Disorder [予習] 教科書 p.69の問題に解答しておく(60分) [復習] 尿閉に関する看護計画の復習をしておく(30分)	宿題(2)
12) レポート、論文のアブストラクトを英語で読む。 [予習] 糖尿病に関する配布資料を読んでおく(60分) [復習] 白内障による視力低下に関する看護計画を復習しえおく(30分)	グループワーク
13) 資料を用い、レポート、論文の構成について指導する。 [予習] HIV患者の看護を担当する看護師の論文を読んでおく(60分) [復習] 糖尿病に関する論文のアブストラクトを復習しておく(30分)	小テスト(2)
14) Unit 13 Surgical Client: How to Cope with Anxiety [予習] 教科書 p.75の問題に解答しておく(60分) [復習] HIV患者の看護に当たる看護師の論文の復習をしておく(30分)	授業内レポート
15) Unit 15 Lifestyle-related Diseases: How to Encourage Health-seeking Behaviors [予習] 教科書 p.87の問題に解答しておく(60分) [復習] 手術前後の不安・心配に関する看護計画を復習しておく(30分)	50-word composition
授業外学習	
各授業の前までに、「授業計画と概要」に示す各Unitの英文の概要を把握しておくこと。また、配布される資料の内容を次回の授業までに予習しておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：Nursing Case Studies. Yoshihito Sugita, Richard R. Caraker, 2016, 成美堂 参考書：『現場ですぐに役立つ！看護・医療スタッフの英語』. 山中マーガレット, 2017, 朝日出版社 『看護の現場ですぐ役立つ看護研究のポイント』. 大口祐矢, 2017, 秀和システム	メディカルイングリッシュ

課題に対するフィードバック

宿題および小テストは翌週コメントをつけて返す。

備考



科目名	中国語の基本			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	未定	関連する資格		

授業概要

中国語の発音すなわち、ピンイン文字（中国語表音ローマ字）で表記された発音を習得することに力を注ぐ。本講義では最初に、自分で作ったピンイン発音ソフトを併用し、声調（四声）、単母音、子音、複合母音及び鼻母音の発音を学習し、グループ学習などを通して中国語の発音基礎能力を身に付けさせる。ついで、テキストの会話短文及び単語の発音の習熟を目指す。並行して基礎的文法も学ぶ。

到達目標

B2202

中国語の発音基礎となるピンインを習得し、正しく発音することができる。  
 具体例で基本的な文法についての説明できる。  
 極簡単な日常会話ができる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、授業への意欲・態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							35
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							15
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) ガイダンス：授業概要	
2) ピンインの発音：単母音、二重母音、三重母音 【予習】配布プリントP1～P2(15分)【復習】ピンインの発音練習(30分)	
3) ピンインの発音：鼻母音 【予習】配布プリントP1～P2(15分)【復習】ピンインの発音練習(30分)	
4) ピンインの発音：子音 【予習】配布プリントP2～P3(15分)【復習】ピンインの発音練習(30分)	
5) ピンインの発音：声調 【予習】配布プリントP1～P3(15分)【復習】ピンインの発音練習(30分)	第1回小テスト
6) 第1課：本文「?是中国人??」 【予習】教科書P13～P14(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
7) 第1課の文法及び各種のトレーニング 【予習】教科書P15～P16(15分)【復習】トレーニング1の完成(30分)	グループワーク
8) 第2課：本文「?是什??」 【予習】教科書P17～P18(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
9) 第2課の文法及び各種のトレーニング 【予習】教科書P19～P20(15分)【復習】トレーニング2の完成(30分)	グループワーク
10) 第3課：本文「?去?儿?」 【予習】教科書P21～P22(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
11) 第3課の文法及び各種のトレーニング 【予習】教科書P23～P24(15分)【復習】トレーニング3の完成(30分)	第2回小テスト
12) 第4課：本文「?个包多少??」 【予習】教科書P25～P26(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
13) 第4課の文法及び各種のトレーニング 【予習】教科書P27～P28(15分)【復習】トレーニング4の完成(30分)	グループワーク
14) 第5課：本文「??上有事??」 【予習】教科書P29～P30(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
15) 第5課の文法及び各種のトレーニング 【予習】教科書P31～P32(15分)【復習】トレーニング5の完成(30分)	第3回小テスト
授業外学習	
授業内容について復習、本文と単語の発音を繰り返し練習すること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書： 『中国語 はじめの一步 最新2訂版』尹景春・竹島毅著、2013年、白水社、2,200円 参考書： 『よくわかる中国語入門』三野昭一著、2004年、同学社、1,985円	中国語の応用

課題に対するフィードバック

小テストペーパーは翌週添削をつけて返す

備考

科目名	中国語の応用			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	未定	関連する資格		

授業概要

中国語の基本で学習したことに引き続いて、活用度の高いテキストの会話短文を学習するとともに中国語発音の基礎とするピンインの能力を高める。また、基礎的文法を学び、繰り返し発音練習、各種のトレーニング及びグループ学習などを通して、「読む・書く・聞く・話す」四つの能力のうち、特に「聞く・話す」に重点を置きながら、簡単な日常会話ができる語学力を習得させる。

到達目標

B2203

繰り返し発音練習により中国語を正しく発音することができる  
中国語の文法基礎および語彙力をアップすることができる。  
中国語基礎能力を習得し、簡単な自己紹介できるようになる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、授業への意欲・態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							35
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							15
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 第6課：本文「?吃?了??」 【予習】教科書P33～P34(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
2) 第6課の各種のトレーニング 【予習】教科書P35～P36(15分)【復習】トレーニング6の完成(30分)	グループワーク
3) 第7課：本文「?家有几口人?」 【予習】教科書P37～P38(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
4) 第7課の各種のトレーニング 【予習】教科書P39～P40(15分)【復習】トレーニング7の完成(30分)	グループワーク
5) 第8課：本文「?从几点?始打工?」 【予習】教科書P41～P42(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
6) 第8課の各種のトレーニング 【予習】教科書P43～P44(15分)【復習】トレーニング8の完成(30分)	グループワーク
7) 第9課：本文「?去?美国??」 【予習】教科書P45～P46(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
8) 第9課の各種のトレーニング 【予習】教科書P47～P48(15分)【復習】トレーニング9の完成(30分)	第1回小テスト
9) 第10課：本文「?会唱歌??」 【予習】教科書P49～P50(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
10) 第10課の各種のトレーニング 【予習】教科書P51～P52(15分)【復習】トレーニング10の完成(30分)	グループワーク
11) 第11課：本文「?在干什??」 【予習】教科書P53～P54(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
12) 第11課の各種のトレーニング 【予習】教科書P55～P56(15分)【復習】トレーニング11の完成(30分)	グループワーク
13) 第12課：本文「祝?旅途愉快!」 【予習】教科書P57～P58(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
14) 第12課の各種のトレーニング 【予習】教科書P59～P60(15分)【復習】トレーニング12の完成(30分)	グループワーク
15) 総括 【予習】第6課～第12課の単語・本文(60分)【復習】第6課～第12課の文法・トレーニング(90分)	第2回小テスト
授業外学習	
授業内容について復習、本文と単語の発音を繰り返し練習すること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書：『中国語 はじめの一步 最新2訂版』尹景春・竹島毅著、2013年、白水社、2,200円 参考書：『よくわかる中国語入門』三野昭一著、2004年、同学社、1,985円	中国語の基本

課題に対するフィードバック

小テストペーパーは翌週添削をつけて返す

備考

授業実施方法:対面授業

科目名	インターネットの使い方			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	未定	関連する資格		

授業概要

現在、多くの情報が電子情報として利用されており、現代社会を生きる我々は、インターネットを利用した基本的な情報収集や情報発信の知識を必ず習得しておかなければならない。本演習では、情報セキュリティの系統的・運用的な課題を理解するとともに、情報リテラシー教育における情報倫理の課題を理解して、社会における一利用者として必要な、情報倫理を身につけることをねらいとする。

到達目標

B2204  
受け身ではなく、積極的な態度で授業に参画し、教員採用試験で求められている「メディアと教育」分野の知識を修得する。

成績評価方法

課題レポート、授業への取り組み姿勢を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス、グループ学習の役割分担等	
2) 情報化社会における情報管理（看護情報学の視点から）	
3) ICTと情報セキュリティについて1 -テーマ検討とキーワードの抽出-	
4) ICTと情報セキュリティについて2 -キーワードの簡易調査・中間報告-	
5) ICTと情報セキュリティについて3 -キーワードの詳細調査、テーマの理解-	
6) ICTと情報セキュリティについて4 -成果報告準備-	
7) ICTと情報セキュリティについて5 -成果報告-	
8) 情報社会とICTについて1 -テーマ検討とキーワードの抽出-	
9) 情報社会とICTについて2 -キーワードの簡易調査・中間報告-	
10) 情報社会とICTについて3 -キーワードの詳細調査、テーマの理解-	
11) 情報社会とICTについて4 -成果報告準備-	
12) 情報社会とICTについて5 -成果報告-	
13) インターネット技術1 (情報検索)	
14) インターネット技術2 (電子メール・ソーシャルメディア)	
15) 総括と課題作成	
授業外学習	
授業後、配布したプリントを読み直すこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
プリントを適宜配布	情報処理演習



課題に対するフィードバック

備考

科目名	栄養学（生化学を含む）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

栄養状態を改善することは、病気からの回復を促進し、病気の発症・進展を予防する。また、栄養療法（栄養素の補給または制限）により特定の疾患の病態を改善することができる。栄養療法は、すべての患者に必要な基本となる治療方法である。栄養と病態の関係を理解して看護実践に生かすためには、栄養学の基本的な知識を身に付ける必要がある。この授業では、栄養素の種類、構造、機能、吸収、代謝に関する基本的な知識に加えて、栄養ケアマネジメントの視点から栄養療法の実際について学ぶ。

到達目標

B2205

- 1．食品に含まれる栄養素の種類と機能について説明できる。
- 2．栄養素の消化、吸収、代謝について説明できる。
- 3．栄養ケアマネジメントの実践方法について説明できる。
- 4．主な疾患の栄養療法の原則を説明できる。

成績評価方法

15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ得点に関わらず不合格とする。  
毎回の授業で実施する小テストの合計点で成績を評価する。  
小テストの提出は、グーグルクラスルームを利用する。  
期末テストは実施しない。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		50
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 糖質の種類と機能 【予習】テキスト5～8ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト1
2) 2. 脂質の種類と機能 【予習】テキスト9～12ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト2
3) 3. 糖質と脂質の代謝 【予習】テキスト13～18ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト3
4) 4. アミノ酸・タンパク質の種類と機能 【予習】テキスト19～22ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト4
5) 5. アミノ酸・タンパク質の代謝 【予習】テキスト23～26ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト5
6) 6. エネルギー代謝 【予習】テキスト27～32ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト6
7) 7. ビタミン・ミネラルの種類と機能 【予習】テキスト33～40ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト7
8) 8. 核酸の代謝と遺伝子 【予習】テキスト41～47ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト8
9) 9. 栄養素の消化と吸収 【予習】テキスト48～54ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト9
10) 10. 食品群と栄養素、ライフステージと栄養、日本人の食事摂取基準、国民健康栄養調査【予習】テキスト55～62ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト10
11) 11. 栄養ケアマネジメントと栄養アセスメント 【予習】テキスト63～67ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト11
12) 12. 栄養補給法 【予習】テキスト68～76ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト12
13) 13. 食事療法（1）肥満・メタボリックシンドローム 【予習】テキスト77～82ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト13
14) 14. 食事療法（2）糖尿病、脂質異常症、高血圧 【予習】テキスト83～90ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト14
15) 15. 食事療法（3）腎疾患、肝疾患、その他の疾患 【予習】テキスト91～98ページを読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	小テスト15
授業外学習	
予習では、教科書の該当部分を読んでおくこと。 復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
冊子「看護師のための栄養学・生化学テキスト」を配布する。	人体の構造と機能 ・ 、疾病論 ・

課題に対するフィードバック

小テストは、グーグルクラスルーム上で正解と解説をつけて返却する。

備考

科目名	疾病論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	通年(前期)
担当者名	長坂 祐二	関連する資格		

授業概要

疾病論では、主要な疾患の病態、症状、検査、診断、治療法の基本的知識を学ぶ。症状は、疾病を起こしている原因によって起こるものと、原因を排除し回復するための生体反応として起こるものがある。正常な人体の構造と機能の知識を基に、正常な状態から病態へ移行するしくみと回復過程について学ぶことは、患者の状態を正確に把握するための必須の知識である。また、医療の現場において検査が行われ、検査結果に基づいて診断し、診断に基づいて治療計画を立てるプロセスを理解しておくことは、適切な看護計画を立てる上で不可欠な知識である。  
 医師としての実務経験をもとに、疾病論について授業を行う。

到達目標

B2206

1. 主要な疾患の病態について説明できる。
2. 主要な疾患の症状について説明できる。
3. 主要な疾患の検査と診断について説明できる。
4. 主要な疾患の治療法について説明できる。

成績評価方法

前期15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ得点に関わらず不合格とする。毎回の授業で実施する小テストの合計点で成績を評価する。小テストの提出は、グーグルクラスルームを利用する。期末テストは実施しない。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		50
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 臨床検査(1) 病気の診断と臨床検査の考え方 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト1
2) 2. 臨床検査(2) 尿検査、末梢血検査 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト2
3) 3. 臨床検査(3) 血液化学検査 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト3
4) 4. 臨床検査(4) 電解質と酸塩基平衡 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト4
5) 5. 臨床検査(5) 生体機能検査、画像検査 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト5
6) 6. 外科総論(1) 外科侵襲と創傷治癒 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト6
7) 7. 外科総論(2) 腫瘍総論 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト7
8) 8. 外科総論(3) 外傷、熱傷とショック 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト8
9) 9. 外科総論(4) 麻酔法 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト9
10) 10. 外科総論(5) 呼吸管理 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト10
11) 11. 外科総論(6) 体液管理 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト11
12) 12. 外科総論(7) 輸血療法 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト12
13) 13. 外科総論(8) 外科的基本手技 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト13
14) 14. 外科総論(9) 臓器移植・人工臓器 【予習】教科書の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト14
15) 15. 放射線療法 【予習】配布資料の該当部分を読んでくること(30分) 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること(30分)	小テスト15
授業外学習	
予習では、教科書の該当部分を読んでおくこと。 復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座「外科総論」(医学書院)	「人体の構造と機能」、「病理学」、「微生物・免疫学」、「疾病論」、「成人看護学」、

課題に対するフィードバック

小テストは、グーグルクラスルーム上で正解と解説をつけて返却する。

備考

科目名	疾病論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	通年(後期)
担当者名	長坂 祐二	関連する資格		

授業概要

疾病論では、主要な疾患の病態、症状、検査、診断、治療法の基本的知識を学ぶ。症状は、疾病を起こしている原因によって起こるものと、原因を排除し回復するための生体反応として起こるものがある。正常な人体の構造と機能の知識を基に、正常な状態から病態へ移行するしくみと回復過程について学ぶことは、患者の状態を正確に把握するための必須の知識である。また、医療の現場において検査が行われ、検査結果に基づいて診断し、診断に基づいて治療計画を立てるプロセスを理解しておくことは、適切な看護計画を立てる上で不可欠な知識である。  
 医師としての実務経験をもとに、疾病論について授業を行う。

到達目標

B2206

1. 主要な疾患の病態について説明できる。
2. 主要な疾患の症状について説明できる。
3. 主要な疾患の検査と診断について説明できる。
4. 主要な疾患の治療法について説明できる。

成績評価方法

後期15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ得点に関わらず不合格とする。毎回の授業で実施する小テストの合計点で成績を評価する。小テストの提出は、グーグルクラスルームを利用する。期末テストは実施しない。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		50
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 16. 内分泌疾患（1）下垂体疾患、甲状腺疾患 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1
2) 17. 内分泌疾患（2）副甲状腺疾患、副腎疾患 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2
3) 18. 代謝疾患（1）糖尿病 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3
4) 19. 代謝疾患（2）脂質異常症、メタボリックシンドローム 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4
5) 20. アレルギー疾患 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5
6) 21. 膠原病 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6
7) 22. 感染症総論 感染、検査、抗菌薬、菌血症・敗血症 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7
8) 23. 女性生殖器官疾患 子宮頸癌、子宮体癌、卵巣腫瘍、子宮内膜症 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8
9) 24. 運動器疾患（1） 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9
10) 25. 運動器疾患（2） 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10
11) 26. リハビリテーション 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト11
12) 27. 眼科疾患 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト12
13) 28. 耳鼻咽喉科疾患 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト13
14) 29. 皮膚科疾患 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト14
15) 30. 歯・口腔疾患：齲蝕、歯肉炎、歯周病、口腔癌 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト15
授業外学習	
予習では、教科書の該当部分を読んでおくこと。 復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座「内分泌・代謝」「アレルギー-膠原病感染症」「女性生殖器」「運動器」「眼」「耳鼻咽喉」「皮膚」「歯・口腔」（医学書院）	「人体の構造と機能」、「病理学」、「微生物・免疫学」、「疾病論」、「成人看護学」、

課題に対するフィードバック

小テストは、グーグルクラスルーム上で正解と解説をつけて返却する。

備考

科目名	疾病論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	通年(前期)
担当者名	長坂 祐二	関連する資格		

授業概要

疾病論では、主要な疾患の病態、症状、検査、診断、治療法の基本的知識を学ぶ。症状は、疾病を起こしている原因によって起こるものと、原因を排除し回復するための生体反応として起こるものがある。正常な人体の構造と機能の知識を基に、正常な状態から病態へ移行するしくみと回復過程について学ぶことは、患者の状態を正確に把握するための必須の知識である。また、医療の現場において検査が行われ、検査結果に基づいて診断し、診断に基づいて治療計画を立てるプロセスを理解しておくことは、適切な看護計画を立てる上で不可欠な知識である。  
 医師としての実務経験をもとに、疾病論について授業を行う。

到達目標

B2207

1. 主要な疾患の病態について説明できる。
2. 主要な疾患の症状について説明できる。
3. 主要な疾患の検査と診断について説明できる。
4. 主要な疾患の治療法について説明できる。

成績評価方法

前期15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ得点に関わらず不合格とする。毎回の授業で実施する小テストの合計点で成績を評価する。小テストの提出は、グーグルクラスルームを利用する。期末テストは実施しない。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		50
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	1. 循環器疾患（1）虚血性心疾患 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1
2)	2. 循環器疾患（2）心不全 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2
3)	3. 循環器疾患（3）高血圧 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3
4)	4. 循環器疾患（4）不整脈 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4
5)	5. 循環器疾患（5）弁膜症、心膜炎、心筋症 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5
6)	6. 循環器疾患（6）先天性心疾患 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6
7)	7. 循環器疾患（7）大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、その他 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7
8)	8. 腎・泌尿器疾患（1）腎不全 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8
9)	9. 腎・泌尿器疾患（2）ネフローゼ症候群、糸球体腎炎 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9
10)	10. 腎・泌尿器疾患（3）全身疾患による腎障害 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10
11)	11. 腎・泌尿器疾患（4）尿路疾患（腎腫瘍含む） 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト11
12)	12. 呼吸器疾患（1）気管支炎、インフルエンザ、肺炎 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト12
13)	13. 呼吸器疾患（2）間質性肺炎 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト13
14)	14. 呼吸器疾患（3）気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト14
15)	15. 呼吸器疾患（4）肺血栓塞栓症、肺高血圧症、原発性肺癌、その他 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト15
授業外学習		
予習では、教科書の該当部分を読んでおくこと。 復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
系統看護学講座「循環器」「腎・泌尿器」「呼吸器」（医学書院）		「人体の構造と機能」、「病理学」、「微生物・免疫学」、「疾病論」、「成人看護学」、

課題に対するフィードバック

小テストは、グーグルクラスルーム上で正解と解説をつけて返却する。

備考

科目名	疾病論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	通年(後期)
担当者名	長坂 祐二	関連する資格		

授業概要

疾病論では、主要な疾患の病態、症状、検査、診断、治療法の基本的知識を学ぶ。症状は、疾病を起こしている原因によって起こるものと、原因を排除し回復するための生体反応として起こるものがある。正常な人体の構造と機能の知識を基に、正常な状態から病態へ移行するしくみと回復過程について学ぶことは、患者の状態を正確に把握するための必須の知識である。また、医療の現場において検査が行われ、検査結果に基づいて診断し、診断に基づいて治療計画を立てるプロセスを理解しておくことは、適切な看護計画を立てる上で不可欠な知識である。  
 医師としての実務経験をもとに、疾病論について授業を行う。

到達目標

B2207

1. 主要な疾患の病態について説明できる。
2. 主要な疾患の症状について説明できる。
3. 主要な疾患の検査と診断について説明できる。
4. 主要な疾患の治療法について説明できる。

成績評価方法

後期15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ得点に関わらず不合格とする。毎回の授業で実施する小テストの合計点で成績を評価する。小テストの提出は、グーグルクラスルームを利用する。期末テストは実施しない。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		50
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 16. 脳・神経疾患（1）脳血管疾患 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1
2) 17. 脳・神経疾患（2）脳腫瘍、頭蓋内圧亢進、意識障害、その他 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2
3) 18. 脳・神経疾患（3）末梢神経障害 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3
4) 19. 脳・神経疾患（4）筋疾患、神経筋接合部疾患 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4
5) 20. 脳・神経疾患（5）脱髄・変性疾患 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5
6) 21. 脳・神経疾患（6）脳神経の感染症、認知症 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6
7) 22. 消化器疾患（1）食道癌、胃食道逆流症、胃炎、胃潰瘍、胃十二指腸潰瘍 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7
8) 23. 消化器疾患（2）胃癌、下痢、便秘、過敏性腸症候群、炎症性腸疾患 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8
9) 24. 消化器疾患（3）虫垂炎、ヘルニア、腸閉塞、大腸癌 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9
10) 25. 消化器疾患（4）急性肝炎、慢性肝炎、アルコール性肝障害、脂肪肝 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10
11) 26. 消化器疾患（5）肝硬変、門脈圧亢進症、原発性肝癌 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト11
12) 27. 消化器疾患（6）胆石症、胆嚢炎、胆管炎、胆管癌、膵炎、膵癌 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト12
13) 28. 血液・造血器疾患（1）赤血球の異常 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト13
14) 29. 血液・造血器疾患（2）造血器腫瘍 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト14
15) 30. 血液・造血器疾患（3）出血性疾患 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト15
授業外学習	
予習では、教科書の該当部分を読んでおくこと。 復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座「脳・神経」「消化器」「血液・造血器」（医学書院）	「人体の構造と機能」、「病理学」、「微生物・免疫学」、「疾病論」、「成人看護学」、「成人看護学」

課題に対するフィードバック

小テストは、グーグルクラスルーム上で正解と解説をつけて返却する。

備考



科目名	公衆衛生学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	前期			
担当者名	岩本 美江子		関連する資格	保健師免許状 養護教諭一種免許状			
<b>授業概要</b> 1) 授業は対面で行う。2) 公衆衛生とは集団の疾病予防や健康の維持・増進を目的とする科学・技術である。本授業により、公衆衛生の概念と基本的な内容を理解する。人々の健康が自然・社会・文化的環境と強くかかわっていることを認識し、さらに人々の生涯にわたる健康に関する諸制度の整備と保健活動を組織的に推進するものであることを習得する。							
<b>到達目標</b> B2208 人口変動や疾病構造の変化とその要因を説明できる。 我々の健康生活を支える様々な保健体制の現状を説明できる。 保健・医療・福祉の連携の現状と今後の課題について述べるができる。			<b>成績評価方法</b> 定期試験、宿題レポート提出により評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 公衆衛生のエッセンス 看護学生が公衆衛生を学ぶ意味を理解する [予習]テキストp2～p43を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(30分)	
2) 公衆衛生のしくみ 「公衆衛生のしくみ」とは何を指すかを知る [予習]テキストp46～p89を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：1～3章までのゼミナール宿題
3) 集団の健康をとらえるための手法(その1) 集団の健康状態を表す指標と意味を知る [予習]テキストp92～p107を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(30分)	
4) 集団の健康をとらえるための手法(その2) 集団の健康状態に影響を与える要因を見つける方法(疫学)を知る [予習]テキストp107～p115を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：4章のゼミナール宿題
5) 環境と健康(その1) 環境と健康、生活のつながりを知る [予習]テキストp118～p138を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(30分)	
6) 環境と健康(その2) 環境保全の大切さを理解する [予習]テキストp138～p151を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：5章のゼミナール宿題
7) 感染症とその予防対策 感染症対策分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る [予習]テキストp154～p179を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：6章のゼミナール宿題
8) 国際保健 国際保健活動の現場と国際保健の使命を知る [予習]テキストp182～p194を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：7章のゼミナール宿題
9) 地域保健 B母子保健 母子保健分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る [予習]テキストp196～p224を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(60分)	
10) 地域保健 C成人保健 成人保健分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る。 [予習]テキストp225～p247を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく。(60分)	個人ワーク：8章のA,B,Cのゼミナール宿題
11) 地域保健 D高齢者保健 E精神保健 高齢者保健、精神保健分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る [予習]テキストp247～p281を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(60分)	
12) 地域保健 F歯科保健 G.障害者保健・難病保健 歯科保健、難病支援、障害者支援分野の対象となる人々・しくみ・活動を知る [予習]テキストp284～p309を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(60分)	個人ワーク：8章のD,E,F,G,のゼミナール宿題
13) 学校と健康 学校保健の目的としくみを知る [予習]テキストp314～p335を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：9章のゼミナール宿題
14) 職場と健康 産業保健の目的としくみを知る [予習]テキストp338～p359を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：10章のゼミナール宿題
15) 健康危機管理・災害保健 日本の災害対策体制と災害時の支援を理解する [予習]テキストp362～p379を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(60分)	
授業外学習	
授業後に、学習した章のゼミナールを行い、翌週の授業日に前回までの指定の宿題を提出する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座-公衆衛生学(医学書院)、国民衛生の動向 要点をまとめた資料は毎回配布する。	保健統計、疫学

課題に対するフィードバック

ゼミナールの問題は採点して返却する。

備考

科目名	疫学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	岩本 美江子	関連する資格	保健師免許状	

授業概要

1)授業は対面で行う。2)疫学は、人間集団における健康状態とそれに関連する要因の分析を明らかにする学問である。疫学の歴史、概念、役割、及び保健医療活動に必要な疫学指標、疫学研究のデザインと手法、疫学的データの解析の基礎的知識を修得する。地域における疫学的診断、政策立案・実施・評価に必要な保健・医療の調査研究デザインについての基本的な考え方を理解する。保健師国家試験受験に際して必須の科目である。

到達目標

B3202  
 疫学の定義、歴史的事例を説明することができる。  
 有病率、罹患率等の保健統計指標の意義を理解する。  
 疫学研究の方法を習得する。  
 看護研究、地域診断など代表的なデータについて事例を示すことができる。

成績評価方法

定期試験、個人ワーク(宿題)、プレゼンテーションにより評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							5
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 疫学概念、疫学紹介 [予習]テキストのp2～p6までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
2) 集団の健康状態の把握 有病率、罹患率、致命率、暴露効果の指標 [予習]テキストのp8～p16までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
3) 疫学的研究方法(その1) 観察研究、コホート研究 [予習]テキストのp18～p33までを読んでおく(60分) [復習]今日の理解を深める(60分)	個人ワーク：相対危険、寄与危険、寄与危険割合、人口寄与危険、人口寄与危険割合に関する演習問題
4) 疫学的研究方法(その2) 症例・対照研究、交絡、誤差 [予習]テキストのp34～p35、p41～p50までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	個人ワーク：オッズ比に関する演習問題
5) 疫学的研究方法(その3) 介入研究、無作為化対照試験 [予習]テキストのp36～40までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
6) 疫学における因果関係の立証、アウトブレイク時の疫学調査 時間的関係、関連の強固性、量-反応関係など [予習]テキストのp51～p57まで を読んでおく(30分)[復習]今日の理解を深める(30分)	
7) スクリーニングの目的、要件、評価 [予習]テキストのp60～p64までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	個人ワーク：敏感度、特異度、陽性反応的中率に関する演習問題
8) 人口統計の基礎 人口静態統計、人口動態統計、年齢調整死亡率、生命表 [予習]テキストのp144～p154までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	個人ワーク：年齢調整死亡率の算出に関する演習問題
9) 疾病登録の意義と目的 [予習]テキストのp66～p73までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	次週のプレゼンテーションの準備
10) 主な疾患の疫学(その1)： 母子保健の疫学、主な疾患(がん、心血管疾患、糖尿病など)の疫学の担当学生による発表。	次週のプレゼンテーションの準備
11) 主な病疾患の疫学(その2) 難病、精神疾患、感染症、事故、学校・産業保健、環境の疫学の担当学生による発表	
12) 疫学と公衆衛生看護 社会疫学、政策疫学、臨床疫学 [予習]テキストのp98～p106までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
13) 保健統計学の基礎(その1) データの種類の分布、代表値と散布度、確率分布 [予習]テキストのp107～ p123までを読んでおく(30分)[復習]今日の理解を深める(30分)	
14) 保健統計学の基礎(その2) 統計分析、検定、帰無仮説、有意水準、p値 [予習]テキストのp124～p141までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
15) 保健医療情報の管理・活用と関連する法令・指針 [予習]テキストのp170～p182までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
授業外学習	
個人ワークの演習問題は、次回の授業時に提出すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準保健師講座(疫学・保健統計学)、医学書院</li> <li>・2年時の保健統計で使用したプリント</li> <li>・国民衛生の動向</li> <li>・要点や演習をまとめた資料は毎回配布する。</li> </ul>	公衆衛生学、保健統計

課題に対するフィードバック

個人ワークの疫学演習については、翌週解答する。

備考

電卓を用意する。

科目名	保健統計						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	後期			
担当者名	岩本 美江子		関連する資格	保健師免許状 養護教諭一種免許状			
<b>授業概要</b> 1)授業は対面で行う。2)保健統計は保健・医療・看護の分野での問題を考えていく上で必要な統計学の基礎を理解し、保健情報や看護研究、疫学を学ぶのに応用できる科目である。授業では、基礎的な統計学の知識を説明し、さらに、あるデータが得られた時にどのような統計方法が使えるか(使うべきか)、またその統計処理した結果をどう読み取るかを習得する。また、パソコン(エクセル)によるデータ分析を理解するために、学内(対面授業)でパソコン実習をする。さらに人口動態統計、人口動態統計の基礎的なものを理解する。3年前期で学ぶ疫学に継続する科目である。 5章の授業は、配布したプリントを参考に、授業日のPower Pointによる資料をみながら学んでいく。							
<b>到達目標</b> B2209 統計学の基礎となる確率・分布理論を述べることができる。 統計的検定方法を述べることができる。 各種データから適切な検定方法を選び実行することができる。 エクセルを使用してデータ処理や統計的検定を実施できる。 統計分析結果を読み取ることができる。 人口動態、人口動態統計値の基本を理解することができる			<b>成績評価方法</b> 定期試験(中間試験も含む)、授業内レポート(個人ワーク)により総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1章 統計学入門、2章 統計データの種類とまとめ方 [復習]理解を深めておく（60分）	個人ワーク（翌週提出する）
2) 3章 確率と分布 [予習]該当する3章を読んでおく（30分） [復習]今日の授業内容の理解を深めておく（60分）	個人ワーク
3) 4章 母集団・標本と推定 [予習]該当する4章を読んでおく（30分） [復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）。	個人ワーク
4) 5章(1) 検定の原理、母平均の検定 [予習]該当するプリントを読んでおく（30分） [復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）	個人ワーク
5) 5章(2) 2群の平均の差の検定（パラメトリック検定---対応のある1標本 t 検定） [予習]該当するプリントを読んでおく（30分） [復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）。	個人ワーク
6) 5章(3) 2群の平均の差の検定（パラメトリック検定---対応のない独立2標本 t 検定） 2群の分散の比の検定（F検定） [予習]該当するプリントを読んでおく（30分） [復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）。	個人ワーク
7) 中間試験、およびこれまでの復習 [予習]これまでの内容を試験に向けて勉強する。 [復習]今日の試験内容を復習する。	個人ワーク
8) 5章(4) 2群の順位和の差の検定（ノンパラメトリック検定）-----（対応のある場合のウィルコクソンの符号付き順位和検定） [予習]該当するプリントを読んでおく（30分）[復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）	個人ワーク
9) 5章(5) 2群の順位和の差の検定（ノンパラメトリック検定-----（対応のない場合のマン・ホイットニーのU検定） [予習]該当するプリントを読んでおく（30分）[復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）	テスト
10) 5章(6) 比率（割合）の検定（2検定：カイ二乗検定）-----（2適合度の検定、2独立性の検定） [予習]該当するプリントを読んでおく（30分）[復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）	個人ワーク
11) 5章(7) 相関（2つの変量の関連の強さ）の検定 [予習]該当するプリントを読んでおく（30分） [復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）	個人ワーク
12) 5章(8) 回帰分析 [予習]該当するプリントを読んでおく（30分） [復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）。	個人ワーク
13) 6章 保健統計の基礎 [予習]該当する6章を読んでおく（30分） [復習]今日の授業内容の理解を深めておく（60分）	個人ワーク
14) パソコンによる統計実習：エクセルの分析ツールを用いての演習	
15) 保健統計のまとめ [予習]これまでの内容を勉強して、質問を考えておく。（30分） [復習]今日の授業内容の理解し、定期テストに対する勉強をする。	
授業外学習	
個人ワークは、授業で学習した章のゼミナールから指定した問題を行い、翌週の授業日に提出する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
・系統看護学講座（基礎分野）統計学 （ただし、5章については配布プリントで授業を進める）	公衆衛生学、疫学



課題に対するフィードバック

個人ワークの問題については、次回に解答する。

備考

電卓を用意する。

科目名	社会保障論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	2年	後期
担当者名	西田 隆	関連する資格		

授業概要

対面授業

社会保障制度のうち、社会保険（医療保険、介護保険、年金保険、雇用保険、労働災害補償保険）について学習する。

到達目標

B2211

- ・社会保険の意味を理解する
- ・社会保険の理念を理解する
- ・日本の具体的な社会保障制度の概要を理解する

成績評価方法

学期末の筆記試験を中心に評価する。筆記試験を実施できない場合は、課題や質問への解答、レポートで評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 社会保障論とは：社会保障の目的、歴史、仕組み 【復習】配布資料の再読（30分）		過去問演習
2) 公的医療保険 【復習】配布資料の再読（30分）		過去問演習
3) 公的医療保険 【復習】配布資料の再読（30分）		過去問演習
4) 介護保険 【復習】配布資料の再読（30分）		過去問演習
5) 介護保険 【復習】配布資料の再読（30分）		過去問演習
6) 年金保険 【復習】配布資料の再読（30分）		過去問演習
7) 雇用保険、労働災害補償保険 【復習】配布資料の再読（30分）		過去問演習
8) 総括 演習 【復習】配布資料の再読（30分）		
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
新聞やニュースなどで、社会保障に関する事項がないか注意し、見つけたら、内容を精査してください。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
授業時間の配布資料		

課題に対するフィードバック

備考

科目名	社会福祉論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	前期			
担当者名	蔵本 満敦		関連する資格	看護師、保健師			
<b>授業概要</b> 将来目の前にする患者は生活者でもある。そして、多くの場合、患者の病いは生活上の苦悩と切っても切り離せない関係にある。そこで、看護を学ぶための基礎として患者の生活を支える社会の仕組みを理解するために、社会福祉制度、社会保障制度の内容を修得する。  社会福祉士としての実務経験をもとに、社会福祉・社会保障制度について授業を行う。							
<b>到達目標</b> B2210 ライフサイクルに伴う生活上の課題を説明できる。  社会福祉・社会保障制度の歴史や変遷過程、根拠法、実施体制を説明できる。  社会福祉・社会保障制度の内容、課題を説明できる。			<b>成績評価方法</b> レポートや小テストの内容で評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					50
宿題、授業外レポート							50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 社会保障・社会福祉をなぜ学ぶか 社会保障・社会福祉はなぜ必要か、どういう役割を果たしているか	
2) 社会福祉・社会保障の歴史と社会福祉の担い手 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
3) 子ども・家庭と福祉 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
4) ドメスティック・バイオレンス 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
5) 障害児・者と福祉 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（30分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
6) 高齢者と福祉 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
7) 年金制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
8) 医療保険制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
9) 医療保険制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
10) 介護保険制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
11) 介護保険制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
12) 雇用保険制度・労災保険制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
13) 生活保護制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
14) 権利擁護/その他のトピックス 【予習】テキストの該当ページ、配布資料を読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
15) ゲストスピーク：医療ソーシャルワーカーの講話（予定）  【復習】感想文を作成する（30分）	感想文
授業外学習	
<p>予習は、テキストの該当ページを読んでおくこと。はじめて見る語句については調べておくことが望ましい。別途、予習の内容を指示することがある。復習は、授業内容に関連する課題を提示するので翌週の授業までにレポートを提出すること。レポートはA4で1枚（11ないし12ポイント40行程度）にまとめること。</p> <p>学んだ内容が、看護師・保健師の国家試験にどのような形式で出題されるのか過去問題集などで確認すること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：『健康支援と社会保障 社会福祉と社会保障』 メディカ出版	社会保障論、保健医療福祉行政論 各領域の看護学実習

課題に対するフィードバック

提出されたレポートには、担当教員がコメントをつけて返却する。

備考

科目名	保健医療福祉行政論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2年	後期			
担当者名	田中 逸夫		関連する資格	保健師			
<b>授業概要</b> 国民の健康な生活をめざした保健・医療・福祉行財政を体系的に理解し、その基礎知識をベースに、地域に於ける健康問題の改善に向けて、保健師活動を効果的に推進するための、知識・技能・態度を修得する。 下記の到達目標【保健医療福祉行財政の制度の変遷・役割・仕組みの理解、社会保障制度全般の概要の理解、保健・医療・福祉の制度の体系的な理解、保健医療福祉計画策定から計画推進・評価までの、具体的な理解、保健事業の立案プロセスの理解】等について、実務経験【1 国家公務員(大蔵省中国財務局(理財・管財・経済調査)、自治省財政局)、2 地方公務員(山口県庁; 総務部...税務・地方財政・職員研修所、企画部...県勢振興長期計画、土木建築部...予算・決算・企画調整、民生部...福祉計画・地域福祉・児童福祉・障害者福祉・老人福祉・生活保護・健康福祉センター・福祉事務所・民間福祉団体等指導、労働委員会...不当労働行為・調停)、3 山口県の外郭団体(社会福祉法人...児童福祉施設)、4 民間社会福祉法人(児童養護施設、障害者福祉施設)、5 地方・簡易・家庭各裁判所(調停委員)、6 山口県社会福祉協議会(福祉サービス第三者評価調査者)、7 各種大学等非常勤講師(大学・短期大学・高等学校専攻科・高等専門学校・中学校)】等をもとに、授業を行う。							
<b>到達目標</b> B2402 1 保健医療福祉行財政の制度の変遷・役割・仕組みを理解する。 2 社会保障制度全般の概要を理解する。 3 保健・医療・福祉の制度を体系的に理解する。 4 保健医療福祉計画策定から計画推進・評価まで、具体的に理解する。 5 保健事業の立案プロセスを理解する。			<b>成績評価方法</b> 期末定期試験、小テスト、授業外レポート、授業への意欲・態度により評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							16
授業態度・授業参加度							4
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保健医療福祉行政の基本【テキストP1～P20】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	
2) 保健医療福祉制度の変遷(1)【テキストP21～P58】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分) 更に、授業外レポート課題 作成(5時間程度)	授業外レポート課題 (1)2)関係)
3) 保健医療福祉行政・財政の理念と仕組み(1)【テキストP59～P78】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	
4) 保健医療福祉行政・財政の理念と仕組み(2)【テキストP79～P93】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分) 更に、小テスト の範囲を復習する(90分)	
5) 社会保障制度【テキストP123～P130】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	小テスト (3)4)関係)
6) 医療制度【テキストP131～P153】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	
7) 介護保険制度【テキストP154～P167】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分) 更に、小テスト の範囲を復習する(90分)	
8) 社会保障・社会福祉の制度(1)【テキストP168～P173】( 年金保険) 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	小テスト (5)6)7)関係)
9) 社会保障・社会福祉の制度(2)【テキストP173～P177】( 雇用保険と労働者災害補償保険)( 公的扶助) 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	
10) 社会保障・社会福祉の制度(3)【テキストP178～P182】( 児童家庭福祉)( 高齢者福祉) 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	
11) 社会保障・社会福祉の制度(4)【テキストP182～P188】( 障害者福祉)( 成年後見制度) 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)更に、授業外レポート課題 作成(5時間程度)	授業外レポート課題 (8)9)10)11)関係)
12) 地域保健行政(1) 地域保健に関する公的機関【テキストP95～P115】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	
13) 地域保健行政(2) 関係機関との連携【テキストP116～P121】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)更に、 テキスト全体の復習をする(90分)	
14) 保健医療福祉の計画と評価(1)【テキストP189～P220】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分) 更に、 テキスト全体の復習をする(90分)	
15) 保健医療福祉の計画と評価(2)【テキストP221～P227】総括(保健医療福祉行政のまとめ) 【予習】今回の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の所を復習する(40分) 更に、 期末定期試験対策として全体の復習をする(6時間程度)	
授業外学習	
復習をキチンとすること。( 授業外レポート、 小テスト準備に、身を入れて取り組むこと。)	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
【テキスト】標準保健師講座 別巻1、保健医療福祉行政論、医学書院 【参考書】 系統看護学講座 専門基礎分野9社会福祉、医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野10看護関係法令、医学書院 国民衛生の動向、(財)厚生統計協会 国民の福祉の動向、(財)厚生統計協会 社会保障入門、厚生労働省大臣官房政策課、中央法規	社会保障論、福祉入門、公衆衛生学

課題に対するフィードバック

- 1 授業外レポート課題 ~ ; 翌週に概括説明・コメントをする
- 2 小テスト ~ ; 翌週に概括説明をする

備考

科目名	医療経済論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	2年	前期
担当者名	原田 博子	関連する資格	保健師 看護師	

授業概要

本授業は、対面で実施する。

・医療・介護サービスの経済的特殊性を踏まえた看護を提供するために、人々の保健行動・受療行動分析・医療保険の理論、医療供給と資格制度、医療・看護サービスの経済的評価とその方法、経済発展と国民の健康水準との関連等について説明することができる。

臨床での管理者としての実務経験をもとに、医療経済について授業を行う

看護部トップマネージャーとして病院経営の実務経験をもとに、医療経済について授業を行う

到達目標

B2401

- 1.医療経済の現状と課題について説明できる
- 2.医療・介護において看護を取り巻く社会経済的視点について説明できる。

成績評価方法

小テスト、グループワークとプレゼンテーション、課題レポートにより評価する

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート							35	
宿題、授業外レポート							35	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション							10	
グループワーク							20	
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 日本の医療制度の仕組み 看護における診療報酬の評価【予習】日本の医療制度の仕組みと課題を調べてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	小テスト まとめノート提出
2) 介護報酬制度 医療・介護制度の基盤となっている地域包括ケア【予習】日本の介護保険制度の仕組みと課題を調べてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	小テスト まとめノート提出
3) 看護職として資源の獲得の必要性 収入項目（医業収益） 支出項目（医業費用）【予習】なぜ看護師に資源の獲得の考えが必要か調べてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	小テスト まとめノート提出
4) 病院の財務諸表についてその種類と利用目的 病院の財務諸表を経営の指標から分析方法 管理的視点（物品管理・コスト管理）【予習】資源の配分の仕方について調べてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	小テスト まとめノート提出
5) 医療政策が立案・決定される仕組み 政策立案のための取り組み 医療制度改革の変遷【予習】外来受診状況を調べてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	小テスト まとめノート提出
6) コスト管理・物品管理の実際【予習】治療や薬の値段を調べてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	小テスト まとめノート提出
7) コスト管理と物品管理SPDシステムと物品にかかる費用【予習】自分の1ヶ月の家計とその課題を考えてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	小テスト まとめノート提出
8) グループワーク前回の資料を元にひとつの行為をするためにどの位の費用が必要か計算する。プレゼンテーション【予習】前回の資料を見た感想が発表できるようにしておく45分【復習】授業中に指示されたテーマのレポート作成45分	グループワークとプレゼンテーションを行う。 レポートの提出
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
事前学習45分：教科書を事前に読んで授業に参加すること。事後学習45分：授業で不明だった言葉を調べる。さらに、授業では触れなかった資料の内容を読んでおくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書：看護経営・経済論、日本看護協会出版会 看護関係法令：医学書院 社会保障・社会福祉 医学書院	社会保障・社会福祉、看護管理、看護学概論

課題に対するフィードバック

ノートやレポートは、確認し評価の上返却します。  
毎回の小テストは、回収後返却します。

備考

科目名	基礎看護方法演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	2年	前期			
担当者名	金子 真弓、福岡 泰子、磯村 由美		関連する資格	看護師			
<b>授業概要</b> 身体に侵襲を伴う看護技術について、科学的根拠に基づいた方法を学修する。講義および演習をとおして、患者および看護師の安全を確保するために必要な知識、確認行動や観察の仕方、実施の技術を学ぶ。また、演習での患者役の体験やグループワークをとおして、侵襲を伴う検査・治療を受ける患者の心理面や生活への影響を考え、看護師の役割を学ぶ。無菌操作を要する導尿・静脈血採血・注射法の技術を繰り返し練習し、技術修得を図る。 金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業を行う。 福岡泰子・磯村由美は、看護師としての実務経験をもとに本科目の演習について指導を行う。							
<b>到達目標</b> B2212 1．身体侵襲を伴う看護技術の方法について、人体の構造と機能をふまえて説明できる。 2．身体侵襲を伴う看護技術を行ううえでの事故防止の方法を説明できる。 3．身体侵襲を伴う看護技術を行う際の患者の心理面・生活への影響と援助を説明できる。 4．モデルを用いて、導尿・浣腸・酸素療法・吸引・静脈血採血・注射法の実施ができる。 5．看護における学習支援の方法を学ぶ。			<b>成績評価方法</b> 実技試験、筆記試験、事前・事後レポート、小テスト、授業参加度より総合的に評価します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							35
小テスト、授業内レポート							25
宿題、授業外レポート							35
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス、呼吸を整える技術 講義（酸素療法、吸入、排痰ケア、吸引） 【予習】呼吸器系の構造と機能復習、基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】酸素療法中の生活と管理、酸素ボンベの残量計算(30分)担当：金子真弓	
2) 排泄の援助技術 講義（導尿・浣腸・排便） 【予習】腎泌尿器系の構造と機能の復習・基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】事後レポート（排泄援助）（30分）担当：金子真弓	小テスト
3) 呼吸を整える技術 演習（酸素療法、吸入） 【予習】動画視聴・事前レポート（酸素療法・吸入・吸引の方法と観察）（30分） 【復習】演習事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美	グループワーク
4) 3)に同じ	グループワーク
5) 症状・生体機能管理技術 講義（静脈血採血） 【予習】血液の成分と機能の復習、基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】採血における事故防止策（30分） 担当：金子真弓	小テスト
6) 排泄の援助技術 演習（一時的導尿） 【予習】動画視聴・事前レポート（一時的導尿の方法と観察）（30分） 【復習】演習事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美	グループワーク
7) 6)に同じ	グループワーク
8) 排泄の援助技術 演習（持続的導尿・浣腸） 【予習】動画視聴・事前レポート（持続的導尿・グリセリン浣腸）（30分） 【復習】演習事後レポート（30分）担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美	グループワーク
9) 8)に同じ	グループワーク
10) 与薬の技術 講義（与薬の基礎知識、経口与薬、外用薬、注射の基礎知識） 【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】与薬における事故防止（30分） 担当：金子真弓	
11) 与薬の技術 講義（皮内注射、皮下注射、筋肉内注射） 【予習】皮下・筋肉注射部位の構造、基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】皮下・筋肉内注射における事故防止（30分） 担当：金子真弓	
12) 与薬の技術 講義（静脈内注射、点滴静脈内注射、側管注射） 【予習】点滴静脈内注射部位の構造、基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】点滴静脈内注射における生活への影響と看護（30分） 担当：金子真弓	小テスト
13) 症状・生体機能管理技術 演習（静脈血採血演習） 【予習】動画視聴・事前レポート（静脈血採血の方法と観察）（30分） 【復習】演習事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美	グループワーク
14) 13)に同じ	グループワーク
15) 与薬の技術 演習（皮下注射・筋肉内注射） 【予習】動画視聴・事前レポート（皮下・筋肉内注射の方法と観察）（30分） 【復習】演習事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美	グループワーク
16) 15)に同じ	グループワーク
17) 与薬の技術 演習（点滴静脈内注射） 【予習】動画視聴・事前レポート（点滴静脈内注射の方法と観察）（30分） 【復習】演習事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美	グループワーク
18) 17)に同じ	グループワーク
19) 与薬の技術演習（静脈内注射・側管注射） 【予習】事前レポート（静脈内注射の方法と観察）（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美	グループワーク
20) 与薬の技術 講義（輸血管理） 【予習】血液の成分と機能、基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】輸血用血液製剤の管理と副作用(30分) 担当：金子真弓	小テスト

21) 看護における学習支援（講義） 【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】事例を用いた学習支援レポート（30分） 担当：金子真弓	小テスト
22) 一時的導尿（男性・女性）技術演習	グループワーク
23) 22) に同じ	グループワーク
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

**授業外学習**

各演習項目について、事前課題、演習事後レポートがある。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
任和子：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学（3）基礎看護技術 第17版,医学書院 茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学（2）基礎看護技術 第17版,医学書院 竹尾恵子：看護技術プラクティス第4版，学研	看護学概論、基礎看護方法論 ・ 、基礎看護方法演習、基礎看護学実習 ・ 、臨床看護総論、人体の構造と機能、薬理・薬剤学 他

**課題に対するフィードバック**

事前・事後レポートへのコメントを入れて返却する。

**備考**

本科目の単位修得が、基礎看護学実習 の履修要件となる。




科目名	看護過程論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	2年	後期			
担当者名	福岡 泰子、金子 真弓、磯村 由美		関連する資格	看護師			
<b>授業概要</b> 看護を計画的・系統的に実践するための思考過程を学修する。看護の対象である個人を生活者として総合的に理解するためのアセスメント・診断、問題解決のための計画立案・実施・評価の方法を学ぶ。その際、人間・健康・環境・看護の概念、看護理論や看護技術等の看護学の知識と、疾病・治療に関する医学的な知識を統合することが必要となる。 また、紙上事例における看護過程の展開をグループで検討し、論理的な思考力を養うとともに、課題の遂行に必要な協調性を養う。科目の履修をとおして、対象の健康問題とそれに伴う反応や生活について、相互影響的なものの見方を身につけ、自分自身の看護観および人間観の構築につなげていく。 福岡泰子は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業を行う。 金子真弓・磯村由美は、看護師としての実務経験をもとに本科目の演習について指導を行う。							
<b>到達目標</b> B2215 1. 看護過程とは何か、および看護過程の意義を説明できる 2. 看護過程の構成要素とその内容を説明できる。 3. 看護に必要な情報と情報収集の方法を説明できる。 4. 看護に必要な情報の分析と統合の方法を説明できる。 5. 看護診断の方法と表記の仕方を説明できる。 6. アセスメント・看護診断に基づく看護計画立案の方法を説明できる。 7. 看護過程における評価の方法を説明できる。 8. 看護記録の目的・構成・記載と管理上の留意点を説明できる。 9. 紙上事例におけるアセスメント・診断・計画立案ができる。 10. 演習をとおして看護における情報収集の仕方を学ぶ。			<b>成績評価方法</b> 学期末試験、小テスト、課題、グループワーク、プレゼンテーション、授業参加状況によって、総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							35
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							35
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							5
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス、看護過程の概要、アセスメント 担当者：福岡泰子 【予習】テキスト基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】テキスト基礎看護技術 該当箇所のまとめ(30分)	
2) アセスメント(情報収集、情報の分析・統合) 担当者：福岡泰子 【予習】テキスト基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】小レポート：紙上事例の病態学習(30分)	小テスト
3) アセスメント(情報の分析・統合) 担当者：福岡泰子 【予習】紙上事例 のアセスメント(60分) 【復習】小レポート：紙上事例のアセスメント(30分)	授業外レポート
4) アセスメント(情報の分析・統合：全体像) 担当者：福岡泰子 【予習】紙上事例 のアセスメント(60分) 【復習】小レポート：紙上事例のアセスメント(30分)	小テスト 授業外レポート
5) 看護診断(看護診断の方法・優先順位の決定)、共同問題 担当者：福岡泰子 【予習】テキスト基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】紙上事例 のアセスメント・診断プロセスの整理(60分)	
6) 看護計画(成果・看護介入の決定) 担当者：福岡泰子 【予習】テキスト基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】紙上事例 の計画立案(60分)	小テスト 授業外レポート
7) 実施・評価(看護介入の実施と記録)、看護要約、看護記録 担当者：福岡泰子 【予習】テキスト基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分)	小テスト
8) 紙上事例を用いたアセスメント 担当：福岡泰子・金子真弓・磯村由美 【予習】紙上事例 のアセスメント(60分) 【復習】紙上事例 のアセスメント(30分)	グループワーク 授業外レポート
9) 紙上事例を用いたアセスメント 担当：福岡泰子・金子真弓・磯村由美 【予習】紙上事例 のアセスメント(60分) 【復習】紙上事例 のアセスメント(30分)	グループワーク 授業外レポート
10) 紙上事例を用いた全体像理解 担当：福岡泰子・金子真弓・磯村由美 【予習】紙上事例 の全体像整理(60分) 【復習】紙上事例 の全体像整理(30分)	グループワーク 授業外レポート
11) 紙上事例を用いた看護診断 担当：福岡泰子・金子真弓・磯村由美 【予習】紙上事例 の看護診断(60分) 【復習】紙上事例 の看護診断(30分)	グループワーク 授業外レポート
12) 紙上事例の診断プロセス発表・討議 担当：福岡泰子・金子真弓・磯村由美 【予習】プレゼンテーション準備(30分) 【復習】紙上事例 のアセスメント・診断の追加・修正(30分)	グループワーク
13) 紙上事例を用いた看護計画 担当：福岡泰子・金子真弓・磯村由美 【予習】紙上事例 の看護計画(30分) 【復習】紙上事例 の看護計画整理(30分)	プレゼンテーション 授業外レポート
14) 紙上事例を用いた評価 担当：福岡泰子・金子真弓・磯村由美 【予習】紙上事例 の評価(30分) 【復習】紙上事例 の評価整理(30分)	
15) 事例を用いた情報収集と分析の実際(技術演習) 担当：福岡泰子・金子真弓・磯村由美 【予習】紙上事例 の情報収集の準備(30分) 【復習】情報収集の考察(30分)	グループワーク
授業外学習	
<p>事例を用いた看護過程の展開を行うため、事例の健康障害の病態生理・症状・治療・看護についての学習が必要となります。予習・復習としての授業外レポートがあります。</p> <p>紙上事例のアセスメント・診断に関するグループワークを行うための自己学習、プレゼンテーションを行うための準備が必要です。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>&lt;テキスト&gt; 系統看護学講座専門 基礎看護技術 第17版、医学書院 NANDA-I看護診断定義と分類2021-2023、医学書院 NEW実践！看護診断を導く情報収集・アセスメント第6版、学研 系統看護学講座専門分野 循環器 系統看護学講座専門分野 脳・神経</p>	<p>看護学概論、基礎看護方法論 ・ 、基礎看護方法演習 ・ 、臨床看護総論、基礎看護学実習 ・ 、看護理論、看護管理 学、疾病論 ・ 、薬理・薬剤学 等</p>

課題に対するフィードバック

提出された課題は、授業までにコメントを記入して返却します。

備考

課題やプレゼンテーション・討議を通して、看護過程展開の基礎を学んでいきます。  
本科目の単位修得が基礎看護学実習の要件となります。

科目名	家族論・家族関係論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	2年	前期			
担当者名	安成 智子、柿並 洋子、清水 佑子		関連する資格	看護師 保健師			
<b>授業概要</b> 家族の定義、機能について学び、現代の家族が抱える問題について考察する。さらに、家族を看護の対象とすることの意義・役割を考え、家族看護の実践方法について理解を深める。 安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、家族を含めた対象の捉え方やその看護について授業を行う。 柿並洋子・清水佑子は、看護師としての実務経験をもとに、家族を含めた対象の捉え方やその看護について授業を行う。							
<b>到達目標</b> B2213 1．家族とは何か、家族の機能とは何かについて理解する。 2．現代の家族が抱える問題について、その背景や要因について探求する。 3．家族を看護の対象として捉える必要性を理解し、得られた情報からアセスメントすることができる。 4．様々な家族への特徴的な援助方法を理解する。			<b>成績評価方法</b> 定期試験(70点)、授業内レポート(ワークシート)(20点)、プレゼンテーション(10点)を総合して評価する。科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。再試験は行わない。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○		○		○		10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 「家族とは」「家族看護とは」「家族の形態(国民生活基礎調査から読み取る世帯構造別の特徴と年次推移)」(安成) 【予習】シラバスを見ておくこと(10分) 【復習】講義内容の復習(20分)	講義オリエンテーション
2) 「民法における家族」「家族周期」「家族看護のニーズ」(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(20分)	小テスト
3) 家族を理解するためのポイント(ジェノグラム、エコマップ)(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】ワークシート記載(30分)	ワークシート(自分自身のジェノグラムとエコマップを描く)
4) 家族アセスメントモデル(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
5) 家族アセスメントモデルを用いた事例の分析(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
6) 家族アセスメントモデルを用いた事例の分析(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】ワークシート記載(30分)	ワークシート(モデルに基づき、事例の分析を行う)
7) 家族に関する情報収集(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】ワークシート記載(60分)	
8) 家族に関する情報収集(安成) 【予習】ワークシート記載(30分) 【復習】ワークシート記載(60分)	
9) 家族看護事例の展開 : 対象理解(安成) 【予習】事例がもつ疾患を理解する(20分) 【復習】グループメンバー間で不足資料を入手する(60分)	個人ワーク
10) 家族看護事例の展開 : 看護問題の明確化(安成) 【予習】事例がもつ疾患を理解し何が問題かを考える(30分) 【復習】グループメンバー間で不足資料を入手する(60分)	グループワーク
11) 家族看護事例の展開 : 問題解決に関連する社会資源の活用(安成) 【予習】グループメンバーが集めた資料を読んでおく(30分) 【復習】グループワークの発表準備(60分)	グループワーク
12) 家族看護事例の展開 : 看護過程の展開と課題抽出(安成) 【予習】グループワークの発表準備(60分) 【復習】グループワークの発表準備(60分)	グループワーク
13) 家族看護事例展開の発表(安成) 【予習】発表グループの事例を読む(30分) 【復習】ワークシート記載(30分)	グループワーク(発表)
14) 事例解説 : 母性看護事例(安成) 【予習】発表グループの事例を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
15) 事例解説 : 在宅看護事例(清水)・精神看護事例(柿並) 【予習】発表グループの事例を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
授業外学習	
授業前後に、関連する白書や統計資料を提示することがあります。予習・復習に活用してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜配布します。参考文献は3冊です。 1) 鈴木和子・渡辺裕子著、家族看護学 理論と実践 第4版、日本看護協会出版会 2) 上別府圭子著、系統看護学講座別巻 家族看護学、医学書院 3) 山崎あけみ・原礼子編、家族看護学 改訂第2版 南江堂	成人看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、老年看護学、在宅看護学

課題に対するフィードバック

採点后、返却します。

備考

積極的にグループワークに参加し、メンバーと意見交換をしてください。感染拡大によりグループワークが好ましくない場合は個人ワークとします。

科目名	臨床看護総論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	2年	前期			
担当者名	福岡 泰子、金子 真弓、磯村 由美		関連する資格	看護師			
<b>授業概要</b> 健康障害を持つ対象を理解し、状態に応じた看護について学ぶ。看護の基本として、多様な健康上のニーズを持つあらゆる発達段階・健康段階にある人を生活者、家族の視点から捉え、基本的な看護学の知識や技術を統合し、実践で活用するためのプロセスを学ぶ。 福岡泰子は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業を行う。 金子真弓・磯村由美は、看護師としての実務経験をもとに本科目の一部の授業と演習指導を行う。							
<b>到達目標</b> B2214 1.臨床看護の場や看護の対象となる人々の特徴を説明することが出来る。 2.健康障害のレベルと経過に応じた看護について説明することが出来る。 3.主要な症状と看護について説明することが出来る。 4.主要な治療と看護について説明することが出来る。 5.臨床看護に臨む上での心得、看護の役割について説明することが出来る。 6.主要な症状を示す対象者を考慮した日常生活援助技術を実施できる。			<b>成績評価方法</b> 期末定期試験60% 小テスト15% 授業外レポート15% グループ学習への参加度10%				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)			○	○	○		60
小テスト、授業内レポート			○	○	○		15
宿題、授業外レポート				○	○		15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○			○		10
演習							
実習							



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 臨床看護総論ガイダンス 健康上のニーズを持つ対象者と家族への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
2) 家族の機能からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ 生活と療養の場からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
3) 健康状態の経過に基づく看護 *健康の維持・増進を目指す看護 *急性期における看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
4) *慢性期における看護 *リハビリテーション期における看護 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】レポート作成（60分）（担当：福岡泰子）	
5) *終末期における看護 *コーピングに関連する症状を示す対象者への看護 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：磯村由美）	授業外レポート・小テスト（個人・家族・場・健康状態に基づく看護）
6) 主要な症状を示す対象者への看護 *呼吸に関連する症状および循環に関連する症状を示す対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
7) *栄養や代謝に関連する症状を示す対象者への看護 *排泄に関連する症状を示す対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：金子真弓）	
8) *活動や休息に関連する症状を示す対象者への看護 *認知や知覚に関連する症状を示す対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
9) *安全や生体防御機能に関連する症状を示す対象者への看護 *安楽に関連する症状を示す対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】レポート作成（60分）（担当：福岡泰子）	授業外レポート・小テスト（症状を示す対象者への看護）
10) 主要な症状を示す対象者への日常生活援助技術【予習】教科書に該当する箇所を読む・演習の事前課題（60分）【復習】演習内容の復習（60分）（担当：福岡泰子・金子真弓・磯村由美）	演習・グループワーク
11) 主要な症状を示す対象者への日常生活援助技術【予習】教科書に該当する箇所を読む・演習の事前課題（60分）【復習】演習内容の復習（60分）（担当：福岡泰子・金子真弓・磯村由美）	演習・グループワーク
12) 治療・処置を受ける対象者への看護 *輸液療法および化学療法を受ける対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
13) *放射線療法を受ける対象者への看護 *手術療法を受ける対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
14) *集中治療を受ける対象者への看護 *創傷処置/創傷ケアを受ける対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
15) 身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者への看護 測定用・治療用医療機器の原理と実際と使用時の看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】レポート作成（60分）（担当：福岡泰子）	授業外レポート・小テスト（検査・治療を受ける対象者への看護）
授業外学習	
授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください(30分程度の予習時間)。授業計画に沿って、授業外レポートの作成（A4 1～2枚程度）をお願いします。授業計画に沿って、小テストがあります。講義資料、テキストを復習して下さい(60分程度の復習時間)。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
香春知永他編集：系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論 基礎看護学 医学書院 2022	基礎看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、母性看護学、在宅看護学、精神看護学、他

課題に対するフィードバック

授業外レポートは、提出後コメントを付けて返却します。  
小テストは採点后、返却します。

備考

本科目の修得により、臨地実習に必要な知識の土台を習得することが出来ます。

科目名	医療安全管理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	前期
担当者名	福岡 泰子、立川 美香	関連する資格		

授業概要

医療安全(リスクマネジメント)および感染制御(インフェクションコントロール)は、医療関連施設での最重要事項であり、チーム医療が必須である。本講座では、多職種からの講義により、医療安全および感染制御に対する基本的知識・技術を身につける。

医療安全に関する実務経験のもとに福岡、尾家は講義を行う。また福岡は看護師実務経験のもとに講義・演習を行う。

到達目標

【B2403】

1. 医療安全の原理・原則を述べることができる。
2. KYT(危険予知トレーニング)から危険ストーリーを考えられる。
3. 医療事事故例の分析の演習を通して、事故の背景要因や対策をグループで討論することができる。

成績評価方法

1. 定期試験(50%)
2. 小テスト、授業内レポート(30%)
2. 授業中の討議の発言や積極性・授業態度(10%)
3. 演習(10%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)				○			50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○		○		5
演習	○	○	○	○			10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（福岡） 医療安全を学ぶことの大切さ【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	
2) 事故防止の考え方、医療事故とヒヤリ・ハット（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	
3) 医療安全対策の国内の制度と国外の潮流（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	
4) 組織的な安全管理体制への取り組み（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む30分）	
5) 注射業務・内服と薬業務・輸血業務と事故防止（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む30分）	
6) 看護学生のインシデント・危険予知トレーニングとは（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む30分）	
7) 演習：危険予知トレーニング（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	グループワーク
8) チューブ類・医療機器の事故防止（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	
9) 療養上の世話の事故防止（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	
10) 患者間違い/間違いを誘発する要因（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	
11) 医療関連感染とその予防法（尾家） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分） 【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	
12) 看護師の労働安全衛生上の事故防止 職業感染 抗がん剤の曝露（尾家） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分） 【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	
13) 医療安全とコミュニケーション（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	
14) 演習：医療事故分析の方法（RCA 業務工程図）（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分） 【復習】レジюмеを読みRCAの方法、注意点を理解する（30分）	グループワーク
15) 演習：インシデント事例を用いたRCA演習（福岡） 【予習】前回のレジюмеを読みRCAの方法を読む（30分） 【復習】レジюмеと合わせて演習内容を振り返る、（60分）	グループワーク まとめ
授業外学習	
授業資料のファイルを毎回持ってきてください。 第1回目は教材の序章を読んでください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 統合分野、看護の統合と実践 [ 2 ]、医療安全、川村治子 著 医学書院	看護学概論、人間関係論、微生物学、コミュニケーション論

課題に対するフィードバック

備考

授業の出欠席は出席確認カードでチェックします。  
授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。  
試験の受験資格は全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数について教員からお知らせや注意はしませんので、各自で管理してください  
授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名		基礎看護学実習					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	2	2年	後期			
担当者名	金子 真弓、福岡 泰子、磯村 由美		関連する資格	看護師			
<b>授業概要</b> 援助の人間関係をとおして、対象の健康問題を総合的に把握し、問題解決できる基礎的能力を養う。また、看護実践を通して自己を見つめ、看護観を深める。 金子真弓・磯村由美・福岡泰子は、看護師としての実務経験をもとに、本科目の実習指導を行う。							
<b>到達目標</b> B2216a 1．患者との関係を築くコミュニケーションを図ることができる。 2．患者の健康維持・回復を促すために必要な情報収集ができる。 3．得た情報を解釈し、原因・誘因や推論を含めた分析ができる。 4．解決すべき看護問題を明確にすることができる。 5．アセスメント・診断の過程を活かした看護計画を立案できる。 6．立案した看護計画をもとに患者に応じた援助を実施できる。 7．実施した看護を振り返り、看護の過程を評価できる。 8．看護学生として誠実な態度がとれる。 9．看護実践をもとに、看護について考えることができる。			<b>成績評価方法</b> 実習目標の達成状況、レポート、実習態度を総合して評価します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>1. 患者との関係を築くコミュニケーションを図ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者の病状や心理面を考慮しながら患者・家族と関わる。</li> <li>表情、声の大きさ・トーン、顔つき、態度など、コミュニケーション技術を活用する。</li> <li>自己の言語的・非言語的コミュニケーションを考察する。</li> </ul> <p>2. 患者の健康維持・回復を促すために必要な情報収集ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診療記録、患者・家族とのコミュニケーション、観察、測定、医療チームからの情報収集を行う。</li> <li>主観的情報と客観的情報の双方を含めて情報を得る。</li> <li>患者の意思や希望、サポートや強みも含めて情報を得る。</li> <li>得た情報を分類・整理して記載する。</li> </ul> <p>3. 得た情報を解釈し、原因・誘因や推論を含めた分析ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基準値や理論、健康時の生活や希望をもとに、情報を解釈・判断する。症状や徴候、患者の反応の原因や誘因を分析する。また、今後起こり得る状況を推測する。</li> <li>病態・治療・生活行動・心理社会面・問題を含めて患者の全体像の理解を図る。</li> </ul> <p>4. 解決すべき看護問題を明確にすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題と優先順位を決定する。</li> </ul> <p>5. アセスメント・診断の過程を活かした看護計画を立案できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題の解決にむけ、患者の情意・認知・精神運動領域を考慮した目標を検討する。</li> <li>看護チームで共有できるように、4W1Hの要素を含めて具体的な計画を考える。</li> <li>立案した看護計画をもとに患者に応じた援助を実施できる。</li> <li>援助の具体的な計画を記載する。</li> <li>計画通りに実施して良いか事前の観察、説明と同意を得て行う。</li> <li>感染予防、転倒・転落防止、ルートトラブルを予防し、全身状態への影響を考慮しながら行う。</li> </ul> <p>7. 実施した看護を振り返り、看護の過程を評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>援助の内容と患者の反応から援助の目標達成状況とその理由、必要時には援助方法の修正を行う。</li> <li>看護計画を立案した問題について、その経過を経過記録用紙にSOAP方式で記載する。</li> </ul> <p>8. 看護学生として誠実な態度がとれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康管理を徹底し、感染防止対策を遵守する。</li> <li>意思表示をはっきり行い、曖昧なまま行動せず確認する。</li> <li>学生同士や指導者との情報共有を行う。</li> <li>実習中に知り得た個人情報、実習中・後も漏洩しない。</li> </ul> <p>9. 看護実践をもとに、看護について考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者の理解や看護の実践について、自らの体験を踏まえてテーマを決めて考察する。</li> <li>文献を用いながら自分の考えを意味づけする。</li> </ul>	<p>実習前のグループ演習  実習中のグループカンファレンス  実習後のグループカンファレンス</p>
授業外学習	
<p>実習前に、看護過程論の授業の復習を再度行う。また、実際の実習場所における代表的な健康障害と看護について理解する。バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント技術、日常生活援助技術の復習を行い、対象を想定した技術練習を行う。実習期間中は、患者の情報の分析・診断、計画の立案と評価を具体的にを行い、また実施した援助の考察をとおして看護実践の基礎的能力を養う。実習後は、看護の実践過程や看護の役割について考察しレポートとしてまとめる。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>T. ヘザー・ハードマン, 上鶴重美編, 日本看護診断学会監訳: NANDA-I看護診断定義と分類2021-2023, 医学書院, 2021.  古橋洋子: NEW実践! 看護診断を導く情報収集・アセスメント, 学研, 2019.  茂野香おる, 系統看護学講座専門分野 基礎看護学[2]基礎看護技術, 医学書院, 2020.</p>	<p>看護学概論、基礎看護学方法論、基礎看護学方法論演習、看護理論、臨床看護総論、看護過程論</p>

課題に対するフィードバック

実習前の課題、実習中の記録物、実習後レポートについてはコメントをつけて返却する。追加修正が必要な場合は、再提出を求め、実習到達目標の達成を図る。

備考



科目名	成人看護学総論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	前期			
担当者名	石井 智香子		関連する資格	看護師・保健師			
<b>授業概要</b> ・成人看護学の対象である成人期にある（成人/大人）の定義・考え方、成人の生活と健康の特徴を理解する。これらをもとに成人看護の概要・特徴・役割、基本的な看護のアプローチを理解し考察する。 看護師として実務経験を持つ石井智香子が授業を行う。							
<b>到達目標</b> 【B2404】 1．成人期のある人（成人/大人）の定義・考え方を理解できる。 2．成人期にある人の生活と健康、健康問題の特徴、健康をはぐくむ保健・医療・福祉システムを理解できる。 3．成人看護の概要・方針・役割、基本的な看護アプローチを理解できる。 4．成人期にある人の看護の概要・特徴・役割を言語化し、考察できる。			<b>成績評価方法</b> ・出欠票・リアクションペーパー提出をもって出席とみなします。 ・出欠票・リアクションペーパー提出による出席確認が3分の2以上あることが評価の対象です。 ・ノート、課題・プレゼンテーションの内容を評価します。 ・中間・定期試験を実施します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○		課題を含む	20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション			○	○			20
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス、成人看護学の構成、成人看護学の対象、成人期ある人の定義・考え方1（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
2) 成人看護学の対象、成人期ある人の定義・考え方2（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	課題・プレゼンテーション
3) 成人の生活と健康、健康問題の特徴、健康をはぐくむ保健・医療・福祉システム1（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	課題・プレゼンテーション
4) 成人の生活と健康、健康問題の特徴、健康をはぐくむ保健・医療・福祉システム2（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	課題・プレゼンテーション
5) 成人の生活と健康、健康問題の特徴、健康をはぐくむ保健・医療・福祉システム3（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	課題・プレゼンテーション
6) 成人看護の概要・方針・役割、基盤となるアプロ チ1（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
7) 成人看護の概要・方針・役割、基盤となるアプロ チ2（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
8) 成人看護の概要・方針・役割、基盤となるアプロ チ3（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
9) 看護アプローチに活用する主要な概念・理論1：健康/健康障害時の成人の心身の反応1：自己概念、役割、ヘルスプロモーション、ストレス・アプライザル・コーピング（担当：石井）【予習】【復習】はこれまでと同じ	
10) 看護アプローチに活用する主要な概念・理論2：健康/健康障害時の成人の心身の反応2：危機、喪失・悲嘆、病みの軌跡、意思決定、生体侵襲（担当：石井）【予習】【復習】はこれまでと同じ	
11) 看護アプローチに活用する主要な概念・理論3：健康増進/健康障害からの回復に向けた成人学習とセルフケア1（担当：石井）【予習】【復習】はこれまでと同じ	
12) 看護アプローチに活用する主要な概念・理論3：健康増進/健康障害からの回復に向けた成人学習とセルフケア2（担当：石井）【予習】【復習】はこれまでと同じ	
13) 科学の発展・先進医療と看護、成人看護における継続看護（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
14) 健康増進、健康障害を有する成人を支える看護1（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	課題・プレゼンテーション
15) 健康増進、健康障害を有する成人を支える看護2（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	課題・プレゼンテーション
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習・復習を十分に行ってください。予習範囲は事前に連絡します。予習・復習時、特に復習時はノートを作成してください。テキスト/授業の内容を整理することを習慣にしてください。</li> <li>・課題提出・ノート提出、個人/グループでの発表があります。授業外で資料の作成をしてください。</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：小松浩子他.系統看護学講座専門5成人看護学総論成人看護学(1)16版 医学書院 2022 参考文献：・厚生労働統計協会.厚生 の指標 増刊 国民衛生の動向2020/2021年版 ・太西和子他.成人看護学概論第2版 ニューベルヒロカワ 2009 ・安酸史子他.成人看護学概論第5版、メディカ出版2022	成人看護学、成人看護学、成人看護学、成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック

- ・課題・プレゼンテーション、ノートの内容に適時コメントします。
- ・出欠票・リアクションペーパーに記載された質問などには、授業中にフィードバックします。

備考

- ・初回授業のガイダンスに必ず出席してください。
- ・課題・プレゼンの詳細は、ガイダンスおよび当該授業で連絡します。
- ・授業の出欠席は、出席票・リアクションペーパーで確認します。
- ・授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。
- ・試験の受験資格は、全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数を教員から言うことはありません。各自で確認してください。

- ・本科目は可能な限り事例とともに授業をします。授業中に重要な内容・箇所を伝えます。授業をよく聴き、内容の理解に努めてください。
- ・授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	成人看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	2年	後期			
担当者名	稲垣 順子、石井 智香子、梁元 陽子、三隅 達也、藤村 雅子、烏谷 美希		関連する資格	看護師・保健師			
<b>授業概要</b> 成人期にある対象の健康状態をアセスメントするためには、身体機能の正常・異常を診るためのヘルスアセスメントの知識と技術が必要である。この授業ではヘルスアセスメントを行うために必要な視点とヘルスアセスメントに必要なフィジカルイグザミネーションの技術を教授する。 看護師としての実務経験を持つ稲垣順子・石井智香子・梁元陽子・三隅達也・藤村雅子・烏谷美希が授業を行う。							
<b>到達目標</b> 【B2405】 1. ヘルスアセスメントについて説明できる。 2. 身体機能の正常・異常を判断するための知識と技術を修得する。 3. フィジカルアセスメントを実施し、臨床推論のプロセスを学ぶ。			<b>成績評価方法</b> 事前事後課題がある場合、課題が期限より遅れた場合は減点の対象となります。 Google Classroomより、リアクションペーパー提出をもって出席とみなします。 Google Classroomより、小テストを実施します。 リアクションペーパー提出による出席確認が3分の2以上あることが評価の対象です。 課題や小テスト・ノートの内容によって評価をします。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							22
宿題、授業外レポート			○	○			5・5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							8
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントとはコミュニケーション技術(担当：稲垣)【予習】教科書の該当ページを読んでくる(45分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)	ディスカッション 小テスト
2) フィジカルアセスメント基礎技術 フィジカルアセスメントにおける留意点と記録について【予習】教科書の該当ページを読んでくる(45分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)	ディスカッション 小テスト
3) 【学内演習】Aグループ バイタルサイン(呼吸、脈拍、体温、血圧)測定、問診の技術(状況を設定し実施)(担当：梁元・三隅・藤村・烏谷・石井・稲垣)、Bグループ バイタルサインの測定の自己学修	
4) 【学内演習】Bグループ バイタルサイン(呼吸、脈拍、体温、血圧)測定、問診の技術(状況を設定し実施)(担当：梁元・三隅・藤村・烏谷・石井・稲垣)、Aグループ バイタルサインの測定の自己学修	
5) 消化器系のフィジカルアセスメント(担当：稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくる(45分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)	ディスカッション 小テスト
6) 消化器系の症状がある患者への看護 嘔吐・便秘・嚥下障害(担当：梁元) 【予習】教科書の該当ページを読んでくる(45分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)	ディスカッション 小テスト
7) 循環器系のフィジカルアセスメント(担当：稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくる(45分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)	ディスカッション 小テスト
8) 循環器の症状がある患者への看護 動悸 浮腫(担当：稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくる(45分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)	ディスカッション 小テスト
9) 呼吸器系のフィジカルアセスメント(担当：稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくる(45分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)	ディスカッション 小テスト
10) 呼吸器の症状がある患者への看護(担当：稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくる(45分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)	ディスカッション 小テスト
11) 【学内演習】Aグループ デモ(異常音も聴かせる)、全身の動脈触知、腹部の聴診、呼吸音の聴取、心音の聴取(担当：梁元・三隅・藤村・烏谷・石井・稲垣)、Bグループ 学内演習の自己学修	
12) 【学内演習】Bグループ デモ(異常音も聴かせる)、全身の動脈触知、腹部の聴診、呼吸音の聴取、心音の聴取(担当：梁元・三隅・藤村・烏谷・石井・稲垣)、Aグループ 学内演習の自己学修	
13) 運動系のフィジカルアセスメント(担当：三隅) 【予習】教科書の該当ページを読んでくる(45分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)	ディスカッション 小テスト
14) 脳神経系のフィジカルアセスメント(担当：三隅) 【予習】教科書の該当ページを読んでくる(45分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)	ディスカッション 小テスト
15) 心理社会的なアセスメント(担当：梁元) 【予習】心理社会的なアセスメントについて考えてくる(45分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)	ディスカッション 小テスト
16)	
17)	
18)	
19)	
20)	

21)	
22)	
23)	
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

**授業外学習**

- ・ 予習・復習を十分に行ってください。予習範囲は事前に連絡します。予習・復習時は、特に復習時はノートを作成してください。テキスト/授業の内容を整理することを習慣にしてください。
- ・ 課題、ノート提出があります。授業外で作成をしてください。
- ・ 予習として、教科書の該当する箇所を読んでください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
横山美樹：はじめてのフィジカルアセスメント第2版、メヂカルフレンド社	成人看護学総論、成人看護学、成人看護学、成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習

**課題に対するフィードバック**

- ・ 課題、ノートの内容に適時コメントします。
- ・ 出欠票・リアクションペーパーに記載された質問などには、授業中にフィードバックします。

**備考**

- ・ 初回授業のガイダンスに必ず出席してください。
- ・ 課題の詳細は、ガイダンスおよび当該授業で連絡します。
- ・ 授業の出欠席は、出席票・リアクションペーパーで確認します。
- ・ 授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。

- ・試験の受験資格は、全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数を教員から言うことはありません。各自で確認してください。
- ・本科目は授業中に重要な内容・箇所を伝えます。授業をよく聴き、内容の理解に努めてください。
- ・授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	成人看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	3年	前期			
担当者名	稲垣 順子、石井 智香子、梁元 陽子、三隅 達也、藤村 雅子、烏谷 美希	関連する資格	看護師・保健師				
<b>授業概要</b> 成人期に罹患しやすい健康障害とそれにより健康レベル（急性・回復・慢性・終末期）の変化する患者と家族の看護を成人期の特徴を踏まえ理解する。さらに機能障害別看護の考え方と基本的な看護について学ぶ。 看護師としての実務経験を持つ稲垣順子・石井智香子・梁元陽子・三隅達也・藤村雅子・烏谷美希が授業を行う。							
<b>到達目標</b> 【B3401】 1.成人が罹患しやすいがん、慢性病・生活習慣病、感染症などをはじめとした健康障害について、健康レベル（急性・回復・慢性・終末期）に即した看護の概要について説明できる。 2.手術、集中治療、救急治療、リハビリテーションを受ける患者と家族の特徴と看護を説明できる。 3.機能障害別看護の考え方を説明できる。 4.周手術期看護、心肺蘇生法、輸液ポンプ・シリンジポンプによる輸液管理に必要な技術を修得する。			<b>成績評価方法</b> ・出欠票・リアクションペーパー提出をもって出席とみなします。 ・小テストを実施します。 ・出欠票・リアクションペーパー提出による出席確認が3分の2以上あることが評価の対象です。 ・課題や小テスト・ノートの内容を評価します。 ・中間・定期試験を実施します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							28
宿題、授業外レポート							12
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							10
実習							



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス、成人期にある患者と家族の特徴と看護1（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
2) 成人期にある患者と家族の特徴と看護2（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
3) 集学的治療を受けるがん患者と家族の看護1（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
4) 集学的治療を受けるがん患者と家族の看護2（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
5) 感染症と看護1（担当：三隅）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
6) 感染症と看護2（担当：三隅）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
7) 感染症と看護3（担当：三隅）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
8) 周手術期の看護 手術前の看護1（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)	小テスト
9) 周手術期の看護 手術前の看護2（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
10) 周手術期の看護 手術中の看護1（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
11) 周手術期の看護 手術中の看護2（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
12) 周手術期の看護 手術直後の看護（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
13) 周手術期の看護 術後合併症予防と看護（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
14) 周手術期の看護 術後回復促進のための看護（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
15) リハビリテーション看護・成人期にある患者と家族の特徴と看護3（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
16) 消化機能障害と看護 消化機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護1（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
17) 消化機能障害と看護 消化機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護2（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
18) 消化機能障害と看護 肝機能障害と看護（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
19) 消化機能障害と看護 慢性炎症性腸疾患と看護（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
20) 消化機能障害と看護 消化機能障害（上部消化管）と手術1（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト

21) 消化機能障害と看護 消化機能障害(下部消化管)と手術2(担当:稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
22) 【学内演習】周手術期看護/輸液ポンプ・シリンジポンプ(担当:梁元・三隅・藤村・烏谷・石井・稲垣)【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
23) 【学内演習】周手術期看護/輸液ポンプ・シリンジポンプ(担当:梁元・三隅・藤村・烏谷・石井・稲垣)【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
24) 集中治療を受ける患者・家族の看護1(担当:梁元) 【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
25) 集中治療を受ける患者・家族の看護2(担当:稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
26) 救急看護1(担当:稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
27) 救急看護2(担当:稲垣) 【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分) 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
28) 【学内演習】心肺蘇生法(担当:梁元・三隅・藤村・烏谷・石井・稲垣) 【予習】心肺蘇生法について学修する(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	
29) 呼吸機能障害と看護 呼吸機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護(担当:稲垣)【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト
30) 呼吸機能障害と看護 呼吸機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護(担当:稲垣)【予習】教科書の該当ページを読んでくること(60分)【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(60分)	小テスト

#### 授業外学習

- ・予習・復習を十分に行ってください。予習範囲は事前に連絡します。予習・復習時は、特に復習時はノートを作成してください。テキスト/授業の内容を整理することを習慣にしてください。
- ・課題、ノート提出があります。授業外で作成をしてください。
- ・予習として、教科書の該当する箇所を読んでください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト医学書院:系統看護学講座「臨床外科看護総論」「臨床外科看護各論」「成人看護学総論」「救急看護学」「消化器」「呼吸器」参考図書:1.講義から実習へ1-3、竹内登美子、医歯薬出版株式会社	成人看護学総論、成人看護学、成人看護学、成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習

#### 課題に対するフィードバック

- ・課題、ノートの内容に適時コメントします。
- ・出欠票・リアクションペーパーに記載された質問などには、授業中にフィードバックします。

#### 備考

- ・初回授業のガイダンスに必ず出席してください。
- ・授業の出欠席は、出席票・リアクションペーパーで確認します。
- ・授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。
- ・試験の受験資格は、全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数を教員から言うことはありません。各自で確認してください。

- ・授業中に重要な内容・箇所を伝えます。授業をよく聴き、内容の理解に努めてください。
- ・授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 呼吸機能障害と看護 喘息・慢性閉塞性肺疾患と看護（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
2) 呼吸機能障害と看護 呼吸器機能障害（肺切除術）と手術（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
3) 循環機能障害と看護 循環機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護1（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
4) 循環機能障害と看護 循環機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護2（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
5) 循環機能障害と看護 心不全と看護（担当：石井） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
6) 循環機能障害と看護 虚血性心疾患と看護（担当：石井） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
7) 循環機能障害と看護 不整脈（ペースメーカー植込み術を含む）と看護（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
8) 循環機能障害と看護 心・血管系障害（冠動脈バイパス術、弁形成・弁置換術、血管）の手術と看護（担当：梁元）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる	
9) 循環機能障害と看護 心・血管リハビリテーションと看護（担当：石井） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
10) 【学内演習】心電図・電極位置確認（担当：梁元・三隅・藤村・烏谷・稲垣・石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
11) 内分泌・代謝機能障害と看護 内分泌・代謝機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護、下垂体・副腎を中心とした内分泌疾患と看護（担当：石井）【予習】【復習】これまでと同様に行う	
12) 内分泌・代謝機能障害と看護 糖尿病と看護1（担当：石井） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
13) 内分泌・代謝機能障害と看護 糖尿病と看護2（担当：石井） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
14) 【学内演習】簡易血糖測定（担当：梁元・三隅・藤村・烏谷・稲垣・石井） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
15) 内分泌・代謝機能障害と看護 甲状腺疾患と看護（手術療法を含む）（担当：梁元）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
16) 運動機能障害と看護 運動機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
17) 運動機能障害と看護 骨、関節、筋肉、神経の手術と看護（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる(30分)（60分）	小テスト
18) 運動機能障害と看護 脊椎損傷・神経難病と看護（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
19) 生殖器（女性）機能障害と看護 生殖器（女性）機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護、乳がん・子宮がん・卵巣がんと看護（担当：梁元）【予習】【復習】これまでと同様に行う	
20) 腎排泄・生殖器（男性）機能障害と看護 腎排泄機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	

21)	腎排泄・生殖器（男性）機能障害と看護　ネフローゼ症候群・腎不全と看護（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
22)	腎排泄・生殖器（男性）機能障害と看護　腎、尿路、前立腺の手術と看護（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
23)	感覚・認知機能障害と看護　感覚・認知機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護（担当：三隅）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
24)	感覚・認知機能障害と看護　脳卒中と看護（担当：三隅） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
25)	感覚・認知機能障害と看護　脳（下垂体含む）の手術と看護（担当：三隅） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
26)	生体防御（免疫・造血）機能障害と看護　免疫機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護、膠原病（全身性エリテマトーデス）と看護（担当：石井）【予習】【復習】これまでと同様に行う	
27)	生体防御（免疫・造血）機能障害と看護　造血機能障害の病態・徴候/症状アセスメントと看護（担当：石井）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
28)	生体防御（免疫・造血）機能障害と看護　白血病と看護（担当：石井） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	
29)	感覚器機能障害と看護　感覚機能障害（皮膚・眼）の病態・徴候/症状アセスメントと看護1（担当：稲垣）【予習】教科書の該当ページを読んでくる（60分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	小テスト
30)	感覚器機能障害と看護　感覚機能障害（耳鼻咽喉・歯・口腔）の病態・徴候/症状アセスメントと看護2（担当：稲垣）【予習】【復習】これまでと同様に行う	小テスト

#### 授業外学習

- ・予習・復習を十分に行ってください。予習範囲は事前に連絡します。予習・復習時、特に復習時はノートを作成してください。テキスト/授業の内容を整理することを習慣にしてください。
- ・課題、ノート提出があります。授業外で作成をしてください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：医学書院：系統看護学講座「臨床外科看護総論」「呼吸器」「循環器」「血液・造血器」「内分泌・代謝」「脳・神経」「腎・泌尿器」「女性生殖器」「運動器」「アレルギー」「膠原病」「感染症」「皮膚」「眼」「耳鼻咽喉」「歯・口腔」参考図書：1.講義から実習へ1、竹内登美子、医歯薬出版株式会社	成人看護学総論、成人看護学、成人看護学、成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習

#### 課題に対するフィードバック

- ・ノートの内容に適時コメントします。
- ・出欠票・リアクションペーパーに記載された質問などには、授業中にフィードバックします。

#### 備考

- ・授業の出欠席は、出欠票・リアクションペーパー提出を持って出席とみなします。
- ・授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。
- ・定期試験の受験資格は全授業回数の3分の2以上とします。出席回数については各自で管理してください。教員から欠席回数について個別に対応することはありません。

- ・授業中に重要な内容・箇所を伝えます。授業をよく聴き、内容の理解に努めてください。
- ・授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	リハビリテーション看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	3年	前期
担当者名	清水 佑子	関連する資格		

授業概要

リハビリテーションを必要としているのは疾病や外傷、加齢などにより、身体の構造や生理的機能・生活機能に障害を持っている人たちである。そうした疾病や傷害をかかえていても生活行動拡大・社会参加を行い、生き生きと生活を送ることを目指すのがリハビリテーションである。発症当初から将来を見通した医療において、医師を中心とするリハビリテーションチームの中で看護職の果たす役割を学習する。  
清水佑子は、急性期病院の救急、整形外科病棟、内科病棟の看護師の実務経験をもとに、各障害と障害におけるリハビリテーション看護についての授業を行う。

到達目標

【B3403】

1. リハビリテーションの理念を述べることができる。
2. 機能回復について何が必要であるかを学ぶことで、健康障害を持つ人のADLやQOLの向上について述べるができる。
3. リハビリテーションチームにおける看護職の果たす役割や多職種連携について説明できる。
4. 代表的な機能障害の特徴的な課題とそれに対する援助方法を説明できる。

成績評価方法

講義ごとに行う小テスト、定期試験で評価する。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)	○	○					80	
小テスト、授業内レポート	○	○					10	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度					○		10	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) リハビリテーション概論（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分）	
2) 多職種連携のあり方（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	小テスト
3) 運動器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	小テスト
4) 脳血管系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	小テスト
5) 脊髄損傷とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	小テスト
6) 呼吸器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	小テスト
7) 循環器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	小テスト
8) 感覚器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	小テスト
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>・ 授業日は変更となる可能性がありますので、掲示板、Google Classroomで確認してください。</p> <p>・ 予習として、教科書の該当する箇所を読んでおいてください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト・系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院</p> <p>参考図書・医学書院 専門分野 運動器 ・医学書院 専門分野 脳・神経 ・医学書院 専門分野 呼吸器 ・医学書院 専門分野 循環器</p>	<p>人体の構造と機能、疾病論 ・ 保健医療福祉行政論 成人看護学 ・ ・ 老年看護学 ・</p>

課題に対するフィードバック

・小テストは採点をしたのち返却します。

備考

・人体の構造と機能と疾病論（病態・診断・治療）の授業内容を理解していることを前提に授業を行います。当該授業の看護に必要な人体の構造と機能、疾病論の資料内容を確認しておいてください。

科目名	小児看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	谷川 和子、金川 真理	関連する資格	看護師・保健師・養護教諭	

授業概要

子どもの成長発達と子どもと家族の生活について講義、DVD、実際の体験を通して学ぶ。また、子どもに関する統計、法律や政策、現在の子どもと家族が抱える問題を知り、その中での小児看護の役割を考える。  
谷川和子は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業を行う。

到達目標

B2405y

- 1) 子どもの成長発達を理解する。
- 2) 子どもの成長発達に応じた生活と家族を理解する。
- 3) 子どもに関する統計および現在の子どもと家族の抱える問題と、子どもの健康、擁護に関する法律・政策との関連を考える。
- 4) これらの学習を通して小児看護の役割を考察する。

成績評価方法

小テスト (15点)・宿題 (10点)・授業態度 (5点)・筆記試験 (70点)を総合的に評価し、科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。再試験は1回に限り行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					15
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション・小児看護学とは、小児看護の特徴と理念【予習】P4-14（60分）【予習キーワード】子どもはどのような存在か理解する【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
2)	小児を取り巻く医療の変遷と課題【予習】P15-28（60分）【予習キーワード】小児看護・医療の歴史、小児看護の変遷、小児看護の国際動向、小児看護・医療の課題と展望【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
3)	子どもの成長・発達【予習】P30-51（60分）【予習キーワード】成長・発達・発育の概念と定義、成長・発達の区分・原則【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
4)	新生児・乳児【予習】P54-90（60分）【予習キーワード】黄疸、免疫、愛着形成【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
5)	幼児・学童期【予習】P92-121（60分）【予習キーワード】分離不安、遊びの発達、身体発育【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
6)	思春期・青年期【予習】P124-143（60分）【予習キーワード】第二次性徴、不登校、生活習慣予防【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
7)	家族の特徴とアセスメント【予習】P146-157（60分）【予習キーワード】核家族、少子化、女性の就労率の増加【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
8)	子どもと家族を取り巻く社会【予習】P163-191（60分）【予習キーワード】児童福祉の変遷、虐待防止、母子保健、予防接種、学校保健【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
9)	病気・障害を持つ子どもと家族の看護【予習】P196-209（60分）【予習キーワード】病気・障害の受け止め、親・きょうだいの支援、社会資源の活用【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
10)	子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護【予習】P212-243（60分）【予習キーワード】入院環境、外来、在宅看護、災害看護【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
11)	子どもにおける疾病の経過と看護（急性期・慢性期・周手術期・終末期）【予習】P248-281（60分）【予習キーワード】慢性期、急性期、周手術期、終末期【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
12)	子どものアセスメント【予習】P284-341（60分）【予習キーワード】コミュニケーション、バイタルサイン、身体計測【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
13)	症状を示す小児の看護【予習】P344-412（60分）【予習キーワード】機嫌、啼泣、発熱、脱水【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
14)	検査・処置を受ける子どもの看護【予習】P416-477（60分）【予習キーワード】経口与薬、清潔、排泄、吸引/心肺蘇生(CPR)、気道内異物除去【復習】講義内容の復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
15)	障害のある子どもと家族の看護、子どもの虐待と看護【予習】P480-509（60分）【予習キーワード】障害の要因・背景、障害のある子どものニーズ、社会資源、虐待リスク、虐待の親に対するケア、連携【復習】講義内容復習（30分）【担当】谷川和子	講義内小テスト
授業外学習		
<p>出生から思春期もしくは青年期までの幅広い対象の特性と看護を学ぶ科目です。各回で学ぶ内容を知識として定着するために予習キーワードを提示しています。そこで、キーワードを確認し学修した上で講義に臨んで下さい。</p> <p>提出課題については、提示された学びのポイントをノートに記載して自己学習を行って下さい。課題の詳細は、講義中にお示しします。また配布資料を参考にして、復習の機会にして下さい。ノートは、3年次科目の小児看護 や実習でも活用するので、今から内容が充実したノートを作成しましょう。</p>		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
奈良間美保，他：小児看護学概論・小児臨床看護総論 書院	医学	母性看護学 ・母性看護学 公衆衛生看護学 小児看護学実習

課題に対するフィードバック

講義内小テストは、解答・解説をします。

備考

講義順を変更することがある。  
座席は原則として学籍番号順とするが、板書が見えない学生は前列に移動してよい。

科目名	小児看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	谷川 和子、金川 真理	関連する資格	看護師・保健師・養護教諭	

授業概要

1) 一人ひとりの子どもの権利を擁護し、子どもに安全で安楽なケアを提供するために、科学的根拠に基づいた看護実践能力を修得する。  
 2) 小児に多い疾患および小児期特有の疾患の病態、診断、治療、予後、看護について系統別に学習し、臨床実習に応用できるようにする。  
 谷川和子は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業と演習の指導を行う。  
 金川真理は、看護師としての実務経験をもとに本科目の一部の演習について指導を行う。

到達目標

B3405y

- 1) あらゆる年齢、健康レベルにある子供が主体となって、治療、検査、処置に取り組むための看護援助ができる。
- 2) 子どもの最善の利益を目指した看護を実践することができる。
- 3) 子どもの権利条約と倫理的配慮に基づいた看護実践ができる。
- 4) 子どもの成長発達を理解し発達段階に応じた看護実践ができる。
- 5) 子どもを育む家族とパートナーシップを形成し、子どもにとって最善のケアを提供することができる。
- 6) 生態機能に影響をおよぼす要因を理解し、異常や障害が起こるメカニズムについて理解する。
- 7) 主要疾患の要因、病態、検査、治療、看護が理解できる。
- 8) 患児の自覚症状や身体所見と関連した病態生理学的知識を理解する。

成績評価方法

小テスト(15点)・演習の成果物(10点)・グループワーク(5点)・筆記試験(70点)を総合的に評価し、科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。再試験は1回に限り行う。

評価項目	評価基準							評価割合(%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)	○						70	
小テスト、授業内レポート	○	○	○				15	
宿題、授業外レポート	○	○	○				10	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク	○						5	
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 代謝性疾患と看護,事例による看護過程の展開 【予習】p66-85,p540-552(60分) 【予習キーワード】新生児マスキング,1型糖尿病,ケトアシドーシス,低血糖,インスリン注射,HbA1c【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	講義内小テスト
2) 代謝性疾患と看護,事例による看護過程の展開 【予習】p66-85,p540-552(60分) 【予習キーワード】新生児マスキング,1型糖尿病,ケトアシドーシス,低血糖,インスリン注射,HbA1c【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	
3) 感染症と看護,急性乳幼児下痢症,急性胃腸炎 【予習】p140-173,p266-268,p277-279(60分) 【予習キーワード】免疫グロブリン, ウイルス感染症,細菌感染症【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	講義内小テスト
4) 感染症と看護,急性乳幼児下痢症,急性胃腸炎 【予習】p140-173,p266-268,p277-279(60分) 【予習キーワード】免疫グロブリン, ウイルス感染症,細菌感染症【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	
5) 消化器疾患と看護,事例による看護過程の展開 【予習】224-266,p552-562(60分) 【予習キーワード】口唇口蓋裂,肥厚性幽門狭窄症,鎖肛,腸重積,ヘルニア【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	講義内小テスト
6) 消化器疾患と看護,事例による看護過程の展開 【予習】224-266,p552-562(60分) 【予習キーワード】口唇口蓋裂,肥厚性幽門狭窄症,鎖肛,腸重積,ヘルニア【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	
7) 血液・造血疾患(第10章),悪性新生物と看護(第11章) 【予習】p282-300,p302-336(60分) 【予習キーワード】ビタミンK欠乏症,化学療法,晩期合併症 【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	講義内小テスト
8) 血液・造血疾患(第10章),悪性新生物と看護(第11章) 【予習】p282-300,p302-336(60分) 【予習キーワード】ビタミンK欠乏症,化学療法,晩期合併症 【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	
9) 腎・泌尿器および生殖器疾患と看護,神経疾患と看護 【予習】p338-378,p380-414(60分) 【予習キーワード】ネフローゼ症候群,尿道下裂,二分脊椎,水頭症,てんかん,痙攣,脳性麻痺【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	講義内小テスト
10) 腎・泌尿器および生殖器疾患と看護,神経疾患と看護 【予習】p338-378,p380-414(60分) 【予習キーワード】ネフローゼ症候群,尿道下裂,二分脊椎,水頭症,てんかん,痙攣,脳性麻痺【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	
11) 運動器疾患と看護,皮膚疾患と看護,眼疾患と看護 【予習】p416-434,p436-449,p452-468(60分) 【予習キーワード】先天性股関節脱臼,斜視,アトピー性皮膚炎【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	講義内小テスト
12) 運動器疾患と看護,皮膚疾患と看護,眼疾患と看護 【予習】p416-434,p436-449,p452-468(60分) 【予習キーワード】先天性股関節脱臼,斜視,アトピー性皮膚炎【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	
13) 耳鼻咽喉疾患と看護,精神疾患と看護 【予習】p470-484,p486-518(60分) 【予習キーワード】中耳炎,扁桃炎,不登校,発達障害【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	講義内小テスト
14) 耳鼻咽喉疾患と看護,精神疾患と看護 【予習】p470-484,p486-518(60分) 【予習キーワード】中耳炎,扁桃炎,不登校,発達障害【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	
15) 事故・外傷と看護(第19章),救命処置 【予習】p520-536,総論教科書 p471-477(60分) 【予習キーワード】不慮の事故,誤飲・誤嚥,溺水,熱傷,熱中症,心肺蘇生法,気道内異物除去【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	講義内小テスト
16) 事故・外傷と看護(第19章),救命処置 【予習】p520-536,総論教科書 p471-477(60分) 【予習キーワード】不慮の事故,誤飲・誤嚥,溺水,熱傷,熱中症,心肺蘇生法,気道内異物除去【復習】講義内容の復習(30分)【担当】谷川和子	
17) 染色体異常・胎内環境により発生する先天異常,新生児疾患,内分泌疾患 【予習】p6-10,p18-41,p88-103(60分) 【予習キーワード】染色体異常,新生児の疾患,内分泌疾患【復習】講義内容の復習(30分)【担当】砂川新平医師	
18) 染色体異常・胎内環境により発生する先天異常,新生児疾患,内分泌疾患 【予習】p6-10,p18-41,p88-103(60分) 【予習キーワード】染色体異常,新生児の疾患,内分泌疾患【復習】講義内容の復習(30分)【担当】砂川新平医師	
19) 免疫・アレルギー性・リウマチ性疾患,呼吸器・循環器疾患 【予習】p106-125,p176-184,p190-213(60分) 【予習キーワード】免疫・アレルギー性・リウマチ性・呼吸器・循環器疾患 【復習】講義内容の復習(30分)【担当】砂川新平医師	
20) 免疫・アレルギー性・リウマチ性疾患,呼吸器・循環器疾患 【予習】p106-125,p176-184,p190-213(60分) 【予習キーワード】免疫・アレルギー性・リウマチ性・呼吸器・循環器疾患 【復習】講義内容の復習(30分)【担当】砂川新平医師	

21)	先天異常と看護総論,低出生体重児・アレルギー疾患・その他小児に多い疾患の看護 【予習】p2-6,p41-64,p125-133(60分)【予習キーワード】先天異常,低出生体重児,アレルギー疾患【復習】講義内容復習(30分)【担当】谷川和子	講義内小テスト
22)	先天異常と看護総論,低出生体重児・アレルギー疾患・その他小児に多い疾患の看護 【予習】p2-6,p41-64,p125-133(60分)【予習キーワード】先天異常,低出生体重児,アレルギー疾患【復習】講義内容復習(30分)【担当】谷川和子	
23)	〔演習〕(看護過程の展開:急性期)肺炎の子どもとその家族 【予習】p181-183,p186-188(60分)【予習キーワード】急性期看護,看護過程,アセスメント,NANDA-I【復習】演習内容の復習(30分)【担当】谷川和子	講義内小テスト
24)	〔演習〕(看護過程の展開:急性期)肺炎の子どもとその家族 【予習】p181-183,p186-188(60分)【予習キーワード】急性期看護,看護過程,アセスメント,NANDA-I【復習】演習内容の復習(30分)【担当】谷川和子	
25)	小児に多い疾患と看護まとめ・ターミナル看護,2021年度看護師国家試験問題を実施・内容の解説 【予習】今までの小テストを見直す(60分)【予習キーワード】小児看護学の過去問題【復習】講義内容復習(30分)【担当】谷川和子	講義内小テスト
26)	小児に多い疾患と看護まとめ・ターミナル看護,2021年度看護師国家試験問題を実施・内容の解説 【予習】今までの小テストを見直す(60分)【予習キーワード】小児看護学の過去問題【復習】講義内容復習(30分)【担当】谷川和子	
27)	〔演習〕バイタルサインの測定,身体計測 【予習】概論・総論教科書P288-322【予習キーワード】呼吸,脈拍,体温,血圧,SpO2(60分)【復習】演習内容の復習(30分)【担当】金川真理、谷川和子	講義内小テスト
28)	〔演習〕バイタルサインの測定,身体計測 【予習】概論・総論教科書P288-322【予習キーワード】呼吸,脈拍,体温,血圧,SpO2(60分)【復習】演習内容の復習(30分)【担当】金川真理、谷川和子	
29)	〔演習〕沐浴・オムツ交換・更衣・抱っこ・移動 【予習】概論・総論教科書P67-69,P88(60分)【予習キーワード】沐浴(オムツ交換・更衣・抱っこ・移動,事故防止,環境調整)【復習】演習内容の復習(30分)【担当】金川真理、谷川和子	講義内小テスト
30)	〔演習〕沐浴・オムツ交換・更衣・抱っこ・移動 【予習】概論・総論教科書P67-69,P88(60分)【予習キーワード】沐浴(オムツ交換・更衣・抱っこ・移動,事故防止,環境調整)【復習】演習内容の復習(30分)【担当】金川真理、谷川和子	

授業外学習

各回で学ぶ内容を知識として定着するために予習キーワードを提示しています。そこで、キーワードを確認し学修した上で講義に臨んでください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
奈良間美保他,系統看護学講座専門分野 小児看護学[2]小児臨床看護各論,医学書院 (参考文献) 奈良間美保他,系統看護学講座専門分野 小児看護学[1]小児看護学概論・小児臨床看護総論,医学書院,T.ヘザー・ハードマン,他編,NANDA-I看護診断定義と分類 2021-2023,医学書院.	母性看護学 ・母性看護学 公衆衛生看護学 小児看護学実習 看護過程論

課題に対するフィードバック

小テストは、解答・解説を行います。

備考

講義順を変更することがある。  
座席は原則として学籍番号順とするが、板書が見えない学生は前列に移動してよい。




科目名	母性看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	後期			
担当者名	安成 智子		関連する資格	看護師 養護教諭			
<b>授業概要</b> 母性意識の意義と発達、母子関係の成り立ちを理解し、母性を対象とした援助に必要な知識の基礎を学ぶ。 また、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から女性の生涯を通じての健康を考え、社会において求められる看護の役割を認識する。 安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、女性の健康に関する事柄、母子保健に関する事柄について講義を行う。							
<b>到達目標</b> B2407 1. 女性および母子の心身における健康について、性と生殖を通して理解し、説明することができる。 2. 女性および母子の健康増進に関する社会の在り方を理解し、関係づけることができる。 3. 女性のライフサイクル各期の特徴的な健康問題と看護を理解し、問題点を判断することができる。			<b>成績評価方法</b> 定期試験(70点)・小テスト(20点)・授業外レポート(10点)により総合的に評価する。 科目評価が60点未満の場合は再試験(筆記試験)を行い、素点が60点以上の場合に単位取得を認める。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○			○		20
宿題、授業外レポート		○	○		○		10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 母性看護の概念の理解：母性の定義・愛着・母子相互作用・母性の発達/成熟/継承(安成) 【予習】シラバスを確認する(10分) 【復習】講義内容の復習(30分)	授業オリエンテーション 妊婦体験ジャケット演習
2) 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状：歴史・母子保健統計・法律・母性保護を取り巻く環境(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】ワークシート記載(30分)	反転学習(母性保護規定に関連する法律)
3) 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状：歴史・母子保健統計・法律・母性保護を取り巻く環境(安成) 【予習】ワークシート記載(30分) 【復習】ワークシート記載(30分)	反転学習(母性保護規定に関連する法律)
4) リプロダクティブヘルスケア：セクシュアリティ・家族計画・性感染症・HIV(安成)【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】配布資料の空欄を完成させる(30分)	小テスト
5) リプロダクティブヘルスケア：人工妊娠中絶・喫煙・性暴力・児童虐待・災害(安成・伊藤)【予習】概論テキスト該当部分を読んでおく(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
6) 母性看護における対象理解：女性生殖器の形態/機能・妊娠と胎児の性分化・月経周期(安成)【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】月経周期のホルモン動態等を説明できるように学習する(60分)	小テスト
7) 女性のライフステージ各期における看護：思春期・成熟期・更年期・老年期(安成)【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
8) 女性のライフステージ各期における看護：思春期・成熟期・更年期・老年期(安成)【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分)【復習】講義内容の復習(30分)	
9) DVD「うまれる」鑑賞(安成) 【予習】提示したホームページを見ておく 【復習】鑑賞後の感想提出(20分)	
10) 母性看護に必要な看護技術：ヘルスプロモーション・事故予防・女性の意思決定・家族適応・周産期の死(安成)【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	小テスト
11) 出生前からのリプロダクティブヘルスケア：出生前診断を受ける人の看護・不妊症の人の看護・出生前診断・母性看護における倫理(安成)【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分)【復習】講義内容の復習(30分)	
12) 妊娠期における看護：妊娠期の身体的特性・心理社会的特性(安成) 【予習】各論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
13) 妊娠期における看護：妊婦と胎児のアセスメント(安成) 【予習】各論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	小テスト
14) 妊娠期における看護：妊婦と胎児のアセスメント・妊婦と家族の看護(安成)【予習】各論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
15) 妊娠期における看護：妊婦健康診査とマイナートラブル(安成) 【予習】各論テキスト・配布資料を読んでおく(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	
授業外学習	
社会における女性・母子・家族を取り巻く問題に普段から関心を持ち、ニュースにも目を通しておきましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論 母性看護学、医学書院 母性看護学各論 母性看護学、医学書院 *第1～11回の講義では「概論」、第12～15回の講義では「各論」のテキストを使用します。	人体の構造と機能 看護過程論 母性看護学 母性看護学実習

課題に対するフィードバック

- ・クラスルームの課題や確認テストに対して採点・コメントをします。

備考

- ・質問等はClassroomよりメールでお願いします。
- ・講義順を変更することがあります。
- ・対面授業の際、座席を指定しますが、板書が見えない学生は移動可能ですので申し出てください。

科目名	母性看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	安成 智子	関連する資格	看護師 保健師	

授業概要

母性看護学 をもとに、母性看護の対象となる人々の健康状態を系統的にアセスメントし、科学的な根拠に基づいて援助する方法を学ぶ。

特に、母性としての営みの顕著な妊娠・分娩・産褥期にある母親および胎児・新生児について理解し、母性機能の健全な発達や母子の成長・発達を促す看護について、事例の展開や技術演習などを通して学ぶ。

安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、妊産褥婦・胎児及び新生児の健康に関する知識を学生に理解させ、技術を修得させる。また、事例の展開を通して系統的な対象者の理解と看護ケアの選択を促す。

到達目標

B3405

1. 妊娠期・分娩期・産褥期の女性および胎児・新生児に生じる変化が理解できる。
2. 対象者のヘルスアセスメントに必要な知識と技術および、母子の成長・発達を促す援助技術が修得できる。
3. 周産期のウェルネス型看護過程を理解し、事例を用いた看護展開ができる。
4. 周産期に予測される正常からの逸脱と、その際の看護援助が理解できる。

成績評価方法

定期試験(70点)・小テスト(20点)・授業外レポート(10点)を総合的に評価する。  
科目評価が60点未満の場合は再試験(筆記試験)を行い、素点が60点以上の場合に単位取得を認める。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)		○					70
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 講義オリエンテーション（安成） 妊娠期の看護(母性看護学 の復習) 【予習】シラバスを読んでおくこと（10分） 【復習】妊婦体験(ジャケット装着またはレポート)	妊婦体験課題
2) 妊娠期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習(20分) 【復習】妊婦体験（ジャケット装着またはレポート）	妊婦体験課題 小テスト
3) 妊娠期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
4) 妊娠期の異常と看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト
5) 演習：妊婦健康診査で用いる技術（安成） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
6) 演習：妊婦健康診査で用いる技術（安成） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
7) 分娩期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
8) 分娩期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト
9) 分娩期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
10) 分娩期の異常と看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト
11) 演習：分娩期の看護で用いる技術（安成） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
12) 演習：分娩期の看護で用いる技術（安成） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
13) 産褥期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
14) 産褥期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト
15) 産褥期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
16) 産褥期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト
17) 産褥期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
18) 産褥期の異常と看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト
19) 新生児期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
20) 新生児期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト

21) 新生児期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
22) 新生児期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	小テスト
23) 新生児期の看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	
24) 新生児期の異常と看護 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	小テスト
25) 演習:産褥期の看護で用いる技術 (安成) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
26) 演習:産褥期の看護で用いる技術 (安成) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
27) 演習:母性看護における看護過程 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
28) 演習:母性看護における看護過程 (安成) 【予習】該当部分の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
29) 演習:新生児期の看護で用いる技術 (安成) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート
30) 演習:新生児期の看護で用いる技術 (安成) 【予習】該当部分の技術の予習 (20分) 【復習】講義内容の復習 (20分)	ワークシート

授業外学習

1. 授業計画に記載されているテキストの該当単元の予習をして下さい。
2. 小テストは講義済みの内容から出題するため、復習を欠かさず行って下さい。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 母性看護学 医学書院	人体の構造と機能、看護過程論、家族論・家族関係論、小児看護学、母性看護学、母性看護学実習

課題に対するフィードバック

ワークシートは採点して返却する。全体に向けた講評の中で、理解が不十分な点や間違いやすい点への追加説明を行う。

備考




科目名	老年看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	後期			
担当者名	和氣 さち、江口 恵里		関連する資格	成人看護学 成人看護学 老年看護学	在宅看護論		
<b>授業概要</b> 本授業は対面で実施する。 高齢者の身体的・精神的・社会的特徴及び症状、疾患等による生活への影響、生きてきた時代背景等をふまえ全人的に高齢者を理解し、老いて生活していくことを支えるために必要な理論、看護活動について学ぶ。また、高齢社会の統計的輪郭、保健・医療・福祉の動向など高齢化が地域社会へ及ぼす影響について考察し、老年看護の必要性及び保健医療福祉チームとしての看護職の役割を学ぶ。 和気は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学の基礎について授業を行う 江口は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学の基礎について授業を行う							
<b>到達目標</b> 【B2408】 1. 老年期をライフサイクル、発達課題より説明できる。 2. 老年期の人々の生きてきた時代背景とともに、高齢者の暮らしの特徴を説明できる。 3. 老年看護活動の特性及び重要性について説明できる。 4. 高齢者の身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな（霊的）側面の変化について説明できる。 5. 高齢者によくみられる身体症状の特徴とアセスメントについて説明できる。 6. 高齢者の特徴をふまえ、生活機能（活動、食事、排泄、清潔、生活リズム、コミュニケーション）に焦点をあてた看護の視点を述べるができる。 7. 検査・薬物療法を受ける高齢者の看護について説明できる。 8. 認知機能の障害に対する看護について説明できる。 9. 高齢者の特徴をふまえたオムツ交換・体位変換・口腔ケア・嚥下評価を実施することができる 10. 高齢者のフィジカルアセスメントの基本的な手技を実施することができる。				<b>成績評価方法</b> 授業態度、プレゼンテーション、グループワークへの参加度、演習への参加度、課題（提出物）を総合して評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		10
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習				○			10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 授業ガイダンス：老いるということ、老年看護のなりたち（和氣） 【予習】テキスト第1章P2～P21、p70～83を読んでおく（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	レポート
2) 高齢者のヘルスアセスメント（和氣） 【予習】テキストP86～120を読んでおく（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク レポート
3) 認知症について（疾患の理解）（小林） 【予習】テキストP296～316を読んでおく（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	
4) 皮膚・感覚器について（疾患の理解）（小林） 【予習】テキストP94～102を読んでおく（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	
5) 高齢者の生活機能を整える看護（A）日常生活を支える基本的活動（和氣） 【予習】テキストP122～146を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク
6) 高齢者の生活機能を整える看護（B）食事・食生活（和氣） 【予習】テキストP122～146を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク
7) 高齢者の生活機能を整える看護（C）排泄（D）清潔（和氣） 【予習】テキストP146～161を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク
8) 高齢者の生活機能を整える看護（E）生活リズム（和氣） 【予習】テキストP146～161を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク
9) 高齢者の生活機能を整える看護（F・G）コミュニケーション他（江口） 【予習】テキストP185～198を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク
10) 高齢者の生活機能を整える看護（H）社会参加（江口） 【予習】テキストP185～198を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	中間テスト グループワーク
11) 健康逸脱からの回復を促す看護 A．症候のアセスメントと看護（江口） 【予習】テキストP226～241を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	プレゼンテーション レポート
12) 健康逸脱からの回復を促す看護 A．症候のアセスメントと看護（江口） 【予習】テキストP226～241を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	プレゼンテーション
13) 健康逸脱からの回復を促す看護 A．症候のアセスメントと看護（江口） 【予習】テキストP241～254を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク
14) 健康逸脱からの回復を促す看護 A．症候のアセスメントと看護（江口） 【予習】テキストP241～254を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク
15) 健康逸脱からの回復を促す看護 C．認知機能障害のある高齢者の看護（和氣） 【予習】テキストP282～316を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク
16) 健康逸脱からの回復を促す看護 C．介護保険（和氣） 【予習】テキストP296～316を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク
17) B, 高齢社会における保健医療福祉の動向（和氣） 【予習】テキストP36～54を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク
18) C, 高齢者の権利擁護（和氣） 【予習】テキストP54～67を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク
19) 老年看護の展開における考え方、生活行動情報の着眼点（和氣） 【予習】看護過程テキストp、p2～51を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク
20) 老年看護の展開における考え方、生活行動情報の着眼点（和氣） 【予習】看護過程テキストp、p2～51を読む（30分） 【復習】学習目標をノートにまとめる（60分）	グループワーク

21) 高齢者の生活を整える看護 排泄ケア (和氣・江口) 【予習】成人・基礎で学んだ内容を学習しておく(30分) 【復習】学習目標をノートにまとめる(60分)	演習 事前課題 事後課題
22) 高齢者の生活を整える看護 高齢者体験 (和氣・江口) 【予習】成人・基礎で学んだ内容を学習しておく(30分) 【復習】学習目標をノートにまとめる(60分)	演習 事前課題 事後課題
23) 口腔ケア・義歯の洗浄 (和氣・江口) 【予習】成人・基礎で学んだ内容を学習しておく(30分) 【復習】学習目標をノートにまとめる(60分)	演習 事前課題 事後課題
24) 嚥下食(トロミの作成・体験)(和氣・江口) 【予習】成人・基礎で学んだ内容を学習しておく(30分) 【復習】学習目標をノートにまとめる(60分)	演習 事前課題 事後課題
25) 褥瘡ケア (和氣・江口) 【予習】成人・基礎で学んだ内容を学習しておく(30分) 【復習】学習目標をノートにまとめる(60分)	演習 事前課題 事後課題
26) 手浴・足浴(拘縮のある患者)(和氣・江口) 【予習】成人・基礎で学んだ内容を学習しておく(30分) 【復習】学習目標をノートにまとめる(60分)	演習 事前課題 事後課題
27) 感染対策 (和氣・江口) 【予習】成人・基礎で学んだ内容を学習しておく(30分) 【復習】学習目標をノートにまとめる(60分)	演習 事前課題 事後課題
28) 寝衣・シーツ・オムツ交換 (和氣・江口) 【予習】成人・基礎で学んだ内容を学習しておく(30分) 【復習】学習目標をノートにまとめる(60分)	演習 事前課題 事後課題
29) アクティビティケア 計画立案 (和氣・江口) 【予習】成人・基礎で学んだ内容を学習しておく(30分) 【復習】学習目標をノートにまとめる(60分)	演習 事前課題 事後課題
30) アクティビティケア 実践 (和氣・江口) 【予習】成人・基礎で学んだ内容を学習しておく(30分) 【復習】学習目標をノートにまとめる(60分)	演習 事前課題 事後課題

#### 授業外学習

授業計画に沿って学習目標を提示します。テキストの各単元を熟読して学習目標の習得に取り組んでください。

演習は、事前・事後課題があります。各自目標を設定し、基礎、成人看護学で学んだことを基に老年看護の特徴を学び、実習に活かせる技術を身につけて下さい。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
・テキスト：老年看護学(医学書院) ・参考書：老年看護学概論(南江堂)、老年看護学技術(南江堂)、看護実践のための根拠がわかる老年看護技術(メヂカルフレンド社)老年看護技術(医学書院)最新老年看護学(日本看護協会出版会)高齢者の健康と障害(メディカ出版)高齢者の実践(メディカ出版)	基礎看護学、成人看護学、老年看護学、老年看護学実習 ・、総合看護実習、疾病論

#### 課題に対するフィードバック

授業内・授業外レポート及び、演習での課題レポートは確認後返却し、次回の授業・演習時にコメントする。

#### 備考

各課題・演習の課題の提出は、指定日時を厳守すること。


科目名	老年看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	3年	前期			
担当者名	和氣 さち、江口 恵里		関連する資格	保健師			
<b>授業概要</b> 本授業は対面で実施する 老年看護学 の学びをふまえ、高齢者特有の健康問題（症状・疾患）、生活機能障害について理解を深め、QOLの向上を主眼に高齢者の健康レベルに応じた看護のアプローチについて、事例を通して学ぶ。また、また、倫理的課題をふまえ、高齢者のおかれている状況を総合的にアセスメントし、高齢者及びその家族を対象とした看護活動を習得し、実践へつなげていく。 和気は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学について授業を行う 江口は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学について授業を行う							
<b>到達目標</b> B3406 1. 老年期におこりやすい疾患や症状の病態生理と生活機能の変化が説明できる。 2. 健康障害や生活障害をもつ高齢者への看護に必要な知識を説明できる。 3. 加齢と疾患の影響による生活の障害を、事例をもとにアセスメントし、看護の方向性を導くことができる。 高齢者の生理的老化と病的老化、老年期に特徴的な疾患の病態生理、それに伴う生活機能の変化をふまえて、健康障害・生活障害をもつ高齢者の病態とアセスメント、高齢患者のリスクマネジメント等を網羅的に学ぶ。			<b>成績評価方法</b> 授業態度、グループワークの参加度、課題（提出物）を総合して評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 老年看護学 ガイダンスと老年看護学 の復習と看護の展開について（和氣） 予習：課題レポート、教科書はじめに～XIVまでを読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
2) 睡眠・休息、覚醒・活動、食事（江口） 予習：教科書 p2～26までを読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
3) 排泄、身じたく、コミュニケーション（江口） 予習：教科書 p27～51までを読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
4) 生活行動情報、生きてきた時代（江口） 予習：教科書（老年看護学）p86～92までを読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
5) 看護過程の展開（事例を用い関連図と看護の焦点のポイントを考える）（和氣） 予習：関連図を書く（30分） 復習：関連図と看護の焦点について学習を深める（60分）	グループワーク
6) 看護過程の展開（事例を用い関連図と看護の焦点のポイントを考える）（和氣） 予習：関連図を書く（30分） 復習：関連図と看護の焦点について学習を深める（60分）	宿題・授業外レポート グループワーク
7) 認知症とコミュニケーション（江口） 予習：教科書 p56～71までを読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
8) 脳神経系疾患（パーキンソン病）（和氣） 予習：教科書 p75～90までを読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
9) 運動器疾患（大腿骨頸部骨折）（和氣） 予習：教科書 p111～124までを読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
10) 呼吸器疾患（誤嚥性肺炎）、循環器系疾患（心不全）（和氣） 予習：教科書 p129～142、p164～179までを読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク 小テスト
11) 皮膚疾患（老人性皮膚掻痒症）・眼疾患（白内障）（和氣） 予習：教科書 p233～246、p280～291までを読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
12) 高齢者と薬（和氣） 予習：教科書（付表1）p496～499までを読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
13) 高齢者特有のリスクマネジメント（和氣） 予習：「老年看護学」（医学書院）p388～406までを読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク 小テスト
14) 老年看護学の倫理的な課題（和氣） 予習：実習のときにあった倫理問題について考えてくる（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
15) 人生の最終段階を見据えた高齢者のとらえ方と意思決定支援（和氣） 予習：教科書 pxi を読んでおく（30分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク 授業外レポート
授業外学習	
授業計画に沿って学習目標を提示します。テキストの単元を熟読して学習目標の習得に取り組んで下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：「生活機能からみた老年看護過程」 医学書院第4版 参考書：最新老年看護学（日本看護協会出版会）、高齢者の健康と障害（メディカ出版）、高齢者の実践（メディカ出版）、終末期看護エンドオブライフケア（メヂカルフレンド社）、看護倫理（医学書院）	基礎看護学、成人看護学、老年看護学、老年看護学実習・総合看護学実習、疾病論、

課題に対するフィードバック

レポートは、確認後返却し、各自にコメントもしくは次回の授業時にコメントする

備考

課題の提出は指定日時を厳守すること

科目名	精神看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	後期			
担当者名	佐藤 美幸、柿並 洋子		関連する資格	看護師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状			
<b>授業概要</b> B2409 精神看護の対象と目的、精神の健康概念について学ぶとともに、精神保健福祉の現状と課題について理解する。また、精神症状および精神疾患と治療法およびその看護に対する知識を習得する。リエゾン精神看護についての概要と実践、他職種との連携について理解する。  (佐藤、柿並は看護師としての実務経験をもとに授業を行う。 )							
<b>到達目標</b> B2409 ・精神看護の対象と目的が言える ・人のライフサイクルにおける発達課題とそこに生じる心の問題を述べることができる ・精神医療保健福祉の歴史的背景が理解できる ・精神障害者を取り巻く法律の概要が説明できる ・精神症状、主な精神疾患と治療法について説明できる ・精神科の倫理的な問題と看護師の役割について説明できる ・精神科リハビリテーションと地域保健福祉活動について説明できる ・リエゾン精神看護の概要とリエゾナーズの活動について述べるができる			<b>成績評価方法</b> 期末試験（60％）、授業内小テスト（20％） レポート（20％）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 精神看護学で学ぶこと（佐藤） 【予習】 教科書の序章を読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
2) 「精神（心）」の捉え方（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
3) 精神（心）の発達に関する主要な考え方（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
4) 家族と精神（心）の健康（柿並） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
5) 暮らしの場と精神の健康（柿並） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
6) 精神（心）の危機状況と精神保健（柿並） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
7) 現代社会と精神（心）の健康（柿並） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
8) 現代社会と精神（心）の健康（柿並） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
9) 精神保健医療福祉の歴史（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	小テスト
10) 精神保健福祉法と患者の処遇（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
11) 精神障害者の抱える症状の理解1（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
12) 精神障害者の抱える症状の理解2（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
13) 精神科的診察（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	小テスト
14) 主な精神疾患／障害と治療法と看護（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
15) 主な精神疾患／障害と治療法と看護（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
16) 主な精神疾患／障害と治療法と看護（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
17) 主な精神疾患／障害と治療法と看護（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
18) 精神科における主な治療と看護（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
19) 精神科における主な治療と看護（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
20) 精神障害をもつ人との関わり方（柿並） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	小テスト

21)	精神障害を持つ人とのコミュニケーション (柿並) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	
22)	精神障害を持つ人の地域における生活への支援 (柿並) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	
23)	精神障害を持つ人の地域における生活への支援 (柿並) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	
24)	精神障害を持つ人の地域における生活への支援 (柿並) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	
25)	精神(心)を病むということ (柿並) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	
26)	精神(心)を病むということ (柿並) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	課題レポート・グループワーク
27)	災害看護 (佐藤) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	小テスト
28)	司法精神看護(佐藤) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	
29)	リエゾン精神看護 (早川) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	
30)	リエゾン精神看護 (早川) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	課題レポート

授業外学習

教科書の該当ページは必ず読んで来て下さい(予習)。ページは別途プリントで渡します。  
小テストを4回行います。小テストはテストの前の週のところまでが範囲です。復習を兼ねて自己学習して下さい。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
新体系看護学全書 精神看護学 精神看護学概論精神保健 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社	既習科目すべて 精神看護学 精神看護学実習

課題に対するフィードバック

小テストは終了後にまとめて全ての問題の振り返り、解説を行う。  
レポートは、全体でコメントする。

備考

--


科目名	精神看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	3年	前期			
担当者名	柿並 洋子、佐藤 美幸		関連する資格	看護師国家試験受験資格			
<b>授業概要</b> 精神看護学 で学習した知識をもとに、精神障害者に焦点をあて、それらの人々へ精神看護を実践していくための知識と技術を学ぶ。症状のアセスメントとアプローチの基本、日常生活援助技術、社会復帰に向けての援助等、患者・看護師関係を活用しながら、事例を通して学習する。  柿並洋子・佐藤美幸は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、精神看護学 について授業を行う。							
<b>到達目標</b> B3407 ・精神に障害を抱える人への看護援助について説明できる ・精神疾患・障害をもつ人への看護の要点を述べるができる ・精神科における治療環境と安全管理、倫理的配慮について述べるができる。 ・他職種との連携について述べるができる			<b>成績評価方法</b> 定期試験 80% 小テスト 20%				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	精神症状と看護（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
2)	精神症状と看護（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
3)	精神障害を持つ人へのセルフケアの援助（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
4)	事故防止・安全管理と倫理的配慮（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
5)	事故防止・安全管理と倫理的配慮（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
6)	精神障害を持つ人へのセルフケアの援助（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業 小テスト
7)	看護援助の基本構造（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
8)	精神疾患・障害を持つ患者への看護 統合失調症（急性期）（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
9)	精神疾患・障害を持つ患者への看護 統合失調症（慢性期）（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
10)	精神疾患・障害を持つ患者への看護 双極性障害、うつ病（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
11)	精神疾患・障害を持つ患者への看護 アルコール依存症（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
12)	精神疾患・障害を持つ患者への看護 自閉症スペクトラム障害、AD/HD（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
13)	精神疾患・障害を持つ患者への看護 強迫性障害、パーソナリティ障害（柿並） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
14)	精神疾患・障害を持つ患者への看護 神経性やせ症摂食制限型（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
15)	精神疾患・障害を持つ患者への看護 身体合併症（がん・肺炎・骨折）（佐藤） 【予習】精神看護学の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	対面授業
授業外学習		
精神看護学 の学習内容は必ず復習しておく、授業に臨むこと。 予定表に示された教科書の該当ページ、配布されたプリント類は必ず熟読しておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
新体系看護学全書 精神看護学 精神看護学概論精神保健 新体系看護学全書 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社		精神看護学 精神看護学実習

課題に対するフィードバック

小テスト終了後、後日、講義内で小テストの解説を行う。

備考

私語・携帯電話等の使用は厳禁

科目名	成人看護学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	2	3年	後期			
担当者名	稲垣 順子、梁元 陽子、三隅 達也、藤村 雅子、烏谷 美希		関連する資格	看護師・保健師			
<b>授業概要</b> 最新医療が行われる医療現場における医療提供体制・看護師の役割・対象のおかれている状況について、特殊な治療・検査の場で行われる専門的な治療や援助および他職種の役割を学ぶことが出来る。 看護師として実務経験を持つ稲垣順子・梁元陽子・三隅達也・藤村雅子・烏谷美希が、実務経験をもとに実習指導を行う。							
<b>到達目標</b> 【B3408a】 <慢性期実習> 1.各治療・検査における患者の特徴を述べる事ができる。 2.各治療・検査における看護の特徴を述べる事ができる。 3.各治療・検査の行われる施設・設備の特徴や医療機器の取り扱いについて注意事項を述べる事ができる。 4.通院治療を必要とする患者とその家族を支援するための社会資源について述べる事ができる。 <急性期実習> 1.各治療における患者とその家族の特徴を述べる事ができる。 2.各治療における患者と家族への看護の必要性と役割機能を理解し、基本的な援助を述べる事ができる。 3.各治療の行われる場所の構造と機能の特徴について述べる事ができる。 4.各治療における他職種との連携を述べる事ができる。			<b>成績評価方法</b> ・提出記録物、実習態度など「成人看護学実習評価表」に基づき評価する（100%）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							マイナス点
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>・実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . 」 「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . オリエンテーションブック」に沿って実習を行う。</p> <p>・成人看護学実習 は次の場所で実習する。なお、実習場所はCovid19の影響で異なることがある。</p> <p>&lt;慢性期実習&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 化学療法処置室</li> <li>2. 血液浄化室</li> <li>3. CT/MRI検査室</li> <li>4. 内視鏡室</li> <li>5. 地域連携・患者支援室</li> </ol> <p>&lt;急性期実習&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 集中治療室</li> <li>2. 救急部門</li> <li>3. 手術室</li> </ol> <p>参照：「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . 」</p>	
授業外学習	
<p>【事前学習】関連する資料・課題等については活用しやすいように工夫して作成し、ファイルしてください。</p> <p>【事後学習】記録については、毎日記載してください。（180分）</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>看護学臨地実習の心得「各領域共通」、看護学科健康管理ノート、基礎看護技術項目の履修領域と到達度          医学書院 系統的看護学講座 成人看護学 [1]～[15] 臨床外科総論 救急看護学 緩和ケア論          参考：医学書院 系統看護学講座 基礎看護技術</p>	<p>成人看護学総論、成人看護学 、成人看護学 ・成人看護学          、成人看護学実習 、成人看護学実習</p>



課題に対するフィードバック

・実習記録は必要時コメントを入れて返却します。

備考

・実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . .」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . オリエンテーションブック」「看護学臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」に内容をよく読んで理解し、遵守してください。

科目名	成人看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	稲垣 順子、梁元 陽子、三隅 達也、藤村 雅子、烏谷 美希	関連する資格	看護師・保健師	

授業概要

慢性期にある成人患者の看護を通して患者・家族を理解し、生活機能の回復、合併症および二次障害の予防、苦痛緩和、健康の維持・増進、生活適応、に向けた看護実践に必要な知識、技術、態度を修得する。さらに患者・家族の健康問題解決に向けた社会資源の活用や看護の継続性ならびに多職種との連携について学ぶ。  
 看護師として実務経験を持つ稲垣順子・梁元陽子・三隅達也・藤村雅子・烏谷美希が、実務経験をもとに実習指導を行う。

到達目標

- 【B3409a】1.慢性期にある患者・家族の尊厳や価値観を尊重し、援助的人間関係を構築する。  
 2.慢性期にある患者の対象特性・健康特性を説明できる。  
 1)患者の病態・症状・機能的変化、これから起こりうる状態の変化について説明できる。  
 2)患者・家族の病態や治療の理解や生活の規制の受け止め、意思決定の方略について説明できる。  
 3)治療の必要性、患者の身体的・精神的・社会的側面に及ぼす影響を説明できる。  
 3.患者の全身状態を把握し、生活機能の回復、二次障害の予防、苦痛緩和、健康の維持・増進、生活適応に向けた看護を実践できる。  
 4.慢性期にある患者・家族のセルフケア能力をアセスメントし、疾病および生活が自己管理できるような看護を実践できる。  
 5.慢性期における看護の継続性と多職種連携、早期回復や生活の適応に向けた社会資源の活用について説明できる。  
 6.カンファレンスを通じて多角的・総合的な視点から看護を考察できる。  
 7.看護学生として自らの課題を明らかにし、医療チームの一員であり且つ専門職者としてとるべき態度を考察できる。  
 8.自己が実践した看護についてプレゼンテーションできる。

成績評価方法

・提出記録物、実習態度など「成人看護学実習評価表」に基づき評価する(100%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○				マイナス点
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>・実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . . .」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . . .オリエンテーションブック」に沿って実習を行う。</p> <p>・2週目の木・金曜日でプレゼンテーションの準備・発表を学内で行う。プレゼンテーション内容は、患者紹介、病態生理、看護計画、実施、評価であり、ペーパーレスで行う。質問に対して準備しておく。また、テーマカンファレンスも行う。</p>	
授業外学習	
<p>バイタルサインの測定や基礎的な看護技術は実習前までに練習しておく。</p> <p>実習先の診療科が決まったら、その診療科の特徴的な疾病や病態/症候とケアについて予習する。</p> <p>受け持ちが来ましたら、すぐに病態関連図を記載する。</p> <p>指導者に質問されたことや患者様に質問されたことは必ず翌日までに調べてくる。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>成人看護学 の講義で使用したテキスト            基礎から学ぶ看護過程と看護診断 医学書院            実践 情報収集・アセスメント 学研            NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 医学書院</p>	<p>成人看護学総論、成人看護学 、成人看護学 、成人看護学            、成人看護学実習 、成人看護学実習</p>

課題に対するフィードバック

・実習記録は必要時コメントを入れて返却します。

備考

・実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . .」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . オリエンテーションブック」「看護学臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」に内容をよく読んで理解し、遵守してください。

科目名		成人看護学実習					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	2	3年	後期			
担当者名	稲垣 順子、梁元 陽子、三隅 達也、藤村 雅子、烏谷 美希	関連する資格	看護師・保健師				
<b>授業概要</b> 周手術期にある患者・家族を理解し、手術療法による侵襲から生活機能の回復、社会復帰に向けた看護実践に必要な知識、技術、態度を修得する。さらに患者・家族の健康問題解決に向けた社会資源の活用や看護の継続性ならびに多職種との連携について学ぶ。 看護師として実務経験を持つ稲垣順子・梁元陽子・三隅達也・藤村雅子・烏谷美希が、実務経験をもとに実習指導を行う。							
<b>到達目標</b> 【B3410a】 1.周手術期にある患者・家族の尊厳や価値観を尊重し、援助的人間関係を構築する。 2.周手術期にある患者の対象特性・健康特性を説明できる。 1)患者の病態・症状・機能的変化について説明できる。 2)患者・家族の病態や治療の理解や受け止め、意思決定の方略について説明できる。 3)手術療法が患者の身体的・精神的・社会的側面に及ぼす影響を説明できる。 3.手術療法の必要性、術式、麻酔法、手術侵襲による身体への影響について説明できる。 4.手術療法が術後回復に及ぼす影響について説明できる。 5.手術療法を受けた患者の全身状態を把握し、回復の促進、術後合併症・二次障害の予防、苦痛緩和、生活適応に向けた看護を实践できる。 6.周手術期における看護の継続性と多職種連携、早期回復や生活の適応に向けた社会資源の活用について説明できる。			<b>成績評価方法</b> ・提出記録物、実習態度など「成人看護学実習評価表」に基づき評価する(100%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○				マイナス点
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>・実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . . .」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . . .オリエンテーションブック」に沿って実習を行う。</p> <p>・2週目の木・金曜日でプレゼンテーションの準備・発表を学内で行う。プレゼンテーション内容は、患者紹介、病態生理、看護計画、実施、評価であり、ペーパーレスで行う。質問に対して準備しておく。また、テーマカンファレンスも行う。</p>	
授業外学習	
<p>バイタルサインの測定や基礎的な看護技術は実習前までに練習しておく。</p> <p>実習先の診療科が決まったら、その診療科の特徴的な疾病や病態/症候とケアについて予習する。</p> <p>受け持ちが来ましたら、すぐに病態関連図を記載する。</p> <p>指導者に質問されたことや患者様に質問されたことは必ず翌日までに調べてくる。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>成人看護学 の講義で使用したテキスト            基礎から学ぶ看護過程と看護診断 医学書院            実践 情報収集・アセスメント 学研            NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 医学書院</p>	<p>成人看護学総論、成人看護学 . . .成人看護学 . . .成人看護学            ・成人看護学実習 、成人看護学実習</p>

課題に対するフィードバック

・実習記録は必要時コメントを入れて返却します。

備考

・実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . .」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . オリエンテーションブック」「看護学臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」に内容をよく読んで理解し、遵守してください。

科目名	小児看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	金川 真理	関連する資格	看護師・保健師・養護教諭	

授業概要

小児の成長発達過程とさまざまな健康レベルにある小児を理解するとともに、健康障害をきたした小児とその家族への看護実践方法について学ぶ。  
 (小児病棟、小児科外来、幼稚園にて実習を行う)  
 金川真理は、看護師としての実務経験をもとに、本科目の実習指導を行う。

到達目標

B3412a

- 1) 小児とのかかわりを通して、成長発達の特徴を捉え、発達段階に応じたコミュニケーションと援助ができる。
- 2) 健康障害や入院加療が小児と家族に及ぼす影響について理解し、健康障害をもつ小児および家族に対する看護を考え実践する。
- 3) 小児と家族の尊厳と権利を守り、倫理的に配慮した援助を実践する。
- 4) 実習を通して、小児看護の役割を考えることができる。

成績評価方法

実習目標の達成状況、レポート、実習態度を総合して評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		100



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>実習オリエンテーション時に配布する「2022年度看護学臨地実習ガイドブック 小児看護学実習」に沿って実習を行う。</p>	<p>実習前のグループ演習 実習中のグループカンファレンス</p>
<p>授業外学習</p>	
<p>実習前に、小児看護学 ・小児看護学 の授業の復習を再度行う。 バイタルサインの測定・身体計測・沐浴・オムツ交換・更衣・抱っこ・移動技術の復習を行い、小児期にある対象を想定した技術練習を行う。 実習後は、小児看護学実習を通して学んだ小児看護の役割と今後の課題について考察し、レポートとしてまとめる。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>奈良間美保，他：系統看護学講座専門分野 小児看護学概論・小児臨床看護総論1，医学書院，奈良間美保，他：系統看護学講座専門分野 小児臨床看護各論 小児看護学2，医学書院，T.ヘザー・ハードマン，他編：NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023，医学書院，古橋洋子：NEW実践！看護診断を導く情報収集・アセスメント，学研，2019．</p>	<p>小児看護学 ・小児看護学 母性看護学 ・母性看護学 看護過程論</p>

課題に対するフィードバック

実習前の課題、実習中の記録物、実習後レポートについてはコメントをつけて返却する。追加修正が必要な場合は、再提出を求め、実習到達目標の達成を図る。

備考

実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 小児看護学実習」の内容をよく読んで理解し、遵守してください。

科目名	母性看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	安成 智子	関連する資格	看護師	

**授業概要**  
 妊産褥婦および胎児/新生児とその家族の特徴を包括的に理解し、援助するための看護実践方法について学ぶ。  
 臨地実習 6 日間と学内実習 2 日間を組み合わせで行う。  
 安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、学生の技術習得ならびに看護過程の展開を指導する。

到達目標 B3412a 1. 妊婦/胎児とその家族のアセスメントを通して、対象者の全体像を理解することができる。 2. 産褥期の母子のよりよい適応や成長発達を促すようなウェルネス型の看護過程を展開することができる。 3. 生命の尊厳、生命倫理について考察し、自分の生命観・母性観への影響を述べるすることができる。 4. 母子保健医療チームの一員としての看護師の役割や、他職種との連携について理解することができる。	成績評価方法 知識・技術を用いて対象を理解し、看護を展開しようとする能力を、意欲・態度を含め、本人の行動と記録から総合的に評価する。 実習記録60%・授業態度20%・プレゼンテーション(事例発表/検討)20%とする。
---	--

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○	○				60
授業態度・授業参加度			○	○	○		20
プレゼンテーション	○	○		○			20
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		
実習	○	○	○	○	○		

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>看護学臨地実習ガイドブック参照 安成ほか、担当教員が各担当施設での臨地実習を指導する。</p>	<p>学内演習では、受持ち母子および妊婦に対するアセスメントをはじめとする看護過程の展開(記録)を行う。事例検討会ではグループディスカッションを行う。</p>
授業外学習	
<p>DVD教材を用いて模擬患者への看護実践を予習したうえで、受持ち患者に関する看護過程を展開する。実習の基盤となる知識として「母性看護学」の履修内容は非常に重要である。事前学習を十分にしておくこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>各自で母性看護学 のテキスト・配布資料を活用すること。 その他、教員が参考書・DVD教材を準備する。</p>	<p>看護過程論 母性看護学 母性看護学</p>

課題に対するフィードバック

臨地・学内実習のいずれにおいても、課題は指定された日に提出すること。教員は必要部分について指導ならびに再提出を指示し、口頭と記録用紙のコメントにてフィードバックを行う。

備考

科目名	老年看護学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	2	2年	後期			
担当者名	和氣 さち、江口 恵里		関連する資格	保健師			
<b>授業概要</b> 病院で療養している高齢者および通所サービスを利用している高齢者を通して、老年期の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、高齢者の抱える日常生活や健康に関する課題について考察する。また高齢者の個性を尊重した基本的態度を養う。 和気は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学実習において指導を行う。 江口は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学実習において指導を行う。							
<b>到達目標</b> 【B2410a】 1. 病院で療養している高齢者の特徴をふまえてケアを実施することができる 2. 通所サービスを利用している高齢者の特徴を知ることができる 3. 通所サービスを利用している高齢者の特徴を知ることが出来る 4. 看護学生としての基本的態度を養う			<b>成績評価方法</b> 臨地実習病院の評価・自己評価・教員評価、実習レポート、実習記録、事前学習をふまえて評価する。欠席や遅刻については減点対象となる。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>老年看護学実習ガイドブックの内容に準ずる。</p>	
授業外学習	
<p>実習ガイドブックに明記しているように、実習に向け事前課題に取り組むこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>授業「老年」のテキスト。授業配布資料</p>	<p>基礎看護学実習            老年看護学実習            成人看護学実習            老年看護学</p>

課題に対するフィードバック

実習レポートは評価後学生に返却します。

備考



科目名	老年看護学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	2	4年	前期			
担当者名	和氣 さち、江口 恵里		関連する資格				
<b>授業概要</b> 実際の療養場面を通して老年期にある人々を身体的、精神的、社会的側面から包括的(総合的)に理解し、健康の回復、維持・増進を目指した個別的・倫理的看護を実践するための基礎的能力を養う。 また、高齢者を中心とした保健・医療・福祉における多職種連携のあり方と、看護の役割を学ぶ。さらに、自分自身の高齢者観を深め、看護職としての基本的態度・姿勢を養う。 和氣は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学実習において指導を行う。 江口は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学実習において指導を行う。							
<b>到達目標</b> 【B4401a】 1. 疾患や健康障害を有している高齢者を生活者として援助することができる 2. 高齢者の健康上の課題に対応した個別的な看護実践ができる 3. 高齢者に対して、尊厳性に基づいた関わりができる。 4. 実習を通して、自分自身の高齢者観を深めることができる。			<b>成績評価方法</b> 臨地実習病院評価・学生自己評価・教員評価と実習態度、実習記録、レポート等を総合して評価する。出席状況のうち、欠席や早退は減点対象とする。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：看護学臨地実習ガイドブック（老年看護学実習）参照	
授業外学習	
実習ガイドブックに明記しているように、実習に向け事前課題に取り組むこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト：老年看護学（医学書院） 生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能 関連図（医学書院）</li> <li>・参考書：老年看護 病態・疾病論（医学書院）</li> </ul>	基礎看護学、成人看護学、老年看護学 ・ 、老年看護学実習 、総合看護実習 ・

課題に対するフィードバック

提出した事前課題については、実習前に返却します。

備考

科目名	精神看護学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	2	4年	前期			
担当者名	佐藤 美幸、柿並 洋子		関連する資格	看護師国家試験受験資格			
<b>授業概要</b> 精神の健康に障害をもつ対象を、身体的・精神的・社会的側面から理解するとともに、対象への日常生活または治療的援助の方法や社会復帰に向けての働きかけについて、実践を通して修得する。 実習は、精神科病院および社会復帰施設で行う（2週間）。  （佐藤、柿並は看護師としての実務経験をもとに授業を行う。）							
<b>到達目標</b> B4402a  精神障害者とかかわることができる 精神科の治療やケアを説明できる 院内で行われている様々な活動に参加し、患者と関わりを持つことにより、精神障害を体験的に理解できる 病棟に入院中の患者や病院・施設の利用者とのコミュニケーションを通じて、自己の対人関係を振り返る			<b>成績評価方法</b> 実習記録、実習態度を総合判断する （別途要項に示す）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：看護学臨地実習ガイドブック参照	実習
授業外学習	
<p>事前学習課題を必ず行って臨むこと  既習科目はすべて復習して臨むこと  記録類については、日々行うこと 学習時間として毎日180分程度</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
新体系看護学全書 精神看護学 精神看護学概論精神保健 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社 実習要項	精神看護学、 看護学すべて

課題に対するフィードバック

実習を通じてコメントする。一部の記録はコメントを入れて返却する。

備考

科目名	総合ゼミナール						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	1	4年	後期			
担当者名	佐藤 美幸、柿並 洋子、滝川 洋子、木元 卓也、蔵本 満敦		関連する資格	保健師国家試験受験資格 看護師国家試験受験資格			
<b>授業概要</b> 保健・医療・福祉の現場において看護活動を実践するにあたっては、他職種との連携・協働が求められる。総合ゼミナールにおいては、本学で養成する看護職、福祉職、心理職等を学ぶ学生が各部門に共通する問題を抱えた事例についてカンファレンスを行い、各自の立場から検証するとともに、他職種との連携を体験し、その必要性を学ぶ。また、多職種間のコミュニケーション技術を身につけ、実践に強い看護職を目指す。  (佐藤、柿並は看護師、滝川は保健師、木元は公認心理師、蔵本は社会福祉士としての実務経験をもとに授業を行う)							
<b>到達目標</b> B4501  ・保健・医療・福祉の連携を説明できる ・多職種間でのコミュニケーションの重要性を体験する ・多職種間での連携の方法を述べるができる ・他の医療・福祉職の役割と立場を尊重した行動ができる ・他の医療・福祉職と協働できる ・多職種の協働における自分の役割を理解し、それに応じた言動ができる			<b>成績評価方法</b> レポート、ゼミナール参加状況、グループワーク				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション				○	○		10
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保健・医療・福祉の現場における看護活動（佐藤） 【予習】既習科目の復習を行う（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り（30分）	
2) 看護師の立場から見た他職種との連携（柿並） 【予習】既習科目の復習を行う（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り（30分）	
3) 保健師の立場から見た他職種との連携（滝川） 【予習】既習科目の復習を行う（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り（30分）	
4) 福祉/心理の立場から見た他職種との連携（木元・蔵本） 【予習】既習科目の復習を行う（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り（30分）	
5) 事例に基づく合同カンファレンス（佐藤、滝川、柿並） 【予習】カンファレンスの準備を行う（30分） 【復習】発表、レポートの準備（60分）	グループワーク
6) 事例に基づく合同カンファレンス（佐藤、滝川、柿並） 【予習】カンファレンスの準備を行う（30分） 【復習】発表、レポートの準備（60分）	グループワーク
7) 事例に基づく合同カンファレンス（佐藤、滝川、柿並） 【予習】カンファレンスの準備を行う（30分） 【復習】発表、レポートの準備（60分）	グループワーク
8) 保健・医療・福祉の役割と課題（発表・まとめ）（佐藤、滝川、柿並） 【予習】発表の準備を行う（30分） 【復習】レポートの作成（60分）	グループワーク
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
グループワークに必要な情報、知識は各自で集めてグループワークに臨むこと 総合的な知識を用いての演習のため、既習科目の復習を十分に行っておく	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料配付	既習科目すべて



課題に対するフィードバック

講義中にコメントするとともにグループワークを通じて全体にシェアする

備考

科目名	看護管理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	3年	前期
担当者名	原田 博子	関連する資格	看護師 保健師 養護教諭	

授業概要

・質の高い看護サービスを提供するために、看護管理は患者・看護師の一つ一つの「ケア」を組織的な看護サービスとしてマネジメントすることの必要性を説明できる。  
 ・看護専門職としての責務の観点から、看護の組織に属するメンバー一人一人が看護管理の知識を持ち、あらゆる場でそれらの知識を活用するために、看護管理が必要であることを述べる。  
 ・根拠を踏まえた看護業務を行うために、看護を取り巻く諸制度や看護の国際協力にはどのような組織、仕組みが関わっているか記述できる。  
 臨床でのトップマネージャー・認定看護管理者としての実務経験をもとに、看護管理について授業を行う

到達目標

B3413  
 1看護管理の定義を述べる  
 2看護の目的を達成するための組織運営について述べる  
 3看護を取り巻く諸制度について説明する  
 4マネジメントに必要な知識と技術を列挙する  
 5看護管理の視点からその取り組みを工夫する  
 6病院における看護管理の実際を分かち合う  
 7看護師として連携・調整・協働の視点で他職種に配慮する

成績評価方法

小テスト、課題レポート、グループワーク、定期試験

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) シラバスの説明、第1章看護とマネジメント 【予習】第1章を読んでくる【復習】マネジメントの変遷レポート課題45分	管理という言葉のイメージについて話し合い、発表。
2) 第2章A B看護ケアのマネジメント 【予習】2章のA Bを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	まとめのノート作成方法
3) 第2章C 看護ケアのマネジメント 安全管理 【予習】2章Cをよんでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	ナイチンゲール小管理資料レポート説明
4) 第2章D 看護ケアのマネジメント チーム医療 【予習】2章Dを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
5) 第2章E 看護ケアのマネジメント 看護業務の実践 【予習】2章Eを読んでくる【復習】1 - 5回のまとめのテスト準備45分	小テスト
6) 第5章 A Bマネジメントに必要な知識と技術 Cリーダーシップ 1 - 5回のまとめの小テスト 【予習】第5章 A B Cを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	小テスト
7) 第4章看護サービスのマネジメント A B 【予習】第4章 A Bを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
8) 第4章看護サービスの提供の仕組み 【予習】第4章Cを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
9) 第4章D 人材のマネジメント 第3章 看護職のキャリアマネジメント 【予習】第3・4章を読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
10) 第4章 労働環境 6 - 10回まとめの小テスト 【予習】第4章を読んでくる【復習】小テストの振り返り45分	はたさぼを見て話し合おう 小テスト
11) 第4章 EFG 施設・設備環境のマネジメント、物品のマネジメント 情報のマネジメント 【予習】第4章E F Gを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	自分が受けた質の良い看護とはなにか、カード作り宿題
12) 第4章 H I 組織のリスクマネジメント サービスの評価 【予習】第4章H Iを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
13) 第5章D組織の調整 【予習】第5章Dを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
14) 第6章 看護を取り巻く諸制度 【予習】第6章A Bを読んでくる【復習】11回から14回までのまとめ45分	ナイチンゲールレポート 提出
15) 第6章 C D 看護を取り巻く諸制度 看護の専門性 医療制度 【予習】第6章を読んでくる【復習】全体のまとめノートの確認45分	自分たちの受けた看護について話し合い（KJ法）発表
授業外学習	
<p>授業前後には、必ず予習45分と復習レポート課題45分をして出席するようにしてください。 この授業は、4年生の統合実習につながる教科目です。 遅刻・早退・中抜け15分以上は欠席とします。欠席が3分の2以上ある場合は、未履修となります。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト・系統看護学講座 看護管理 医学書院 参考書・基礎看護学 看護管理 メディカ出版・ナイチンゲールの覚書</p>	<p>看護学概論、医療経済論、医療安全管理学、看護情報論、統合看護実習</p>

課題に対するフィードバック

のテストは授業内で回答をもって説明します。  
と のテスト結果は、採点后返却します。  
14 回目のレポートは、最終日にコメントをつけて返します。

備考

科目名	看護教育学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	1	4年	前期			
担当者名	佐藤 美幸		関連する資格	看護師国家試験受験資格			
<b>授業概要</b> 看護教育制度と看護教育方法の現状と課題を理解し、看護学への関心を深め、質の高い看護のための学ぶ姿勢を身につける。本講義は遠隔授業で行う。 (佐藤は看護師として、大学教員としての実務経験をもとに授業を行う。)							
<b>到達目標</b> B4403 看護学の歴史と教育制度の変遷を理解する 看護教育制度の現状を理解し、課題について述べるができる 看護専門職者としての継続教育と必要性が説明できる 質の高い看護実践のために必要な看護教育について自らの考えを述べるができる			<b>成績評価方法</b> 授業内の課題 (50%) 最終レポート (50%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 看護教育とは 【予習】シラバスを確認する。学生ハンドブックを読んてくる（15分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
2) 看護教育の歴史と教育制度の変遷 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
3) 看護教育制度 1 看護基礎教育（看護師、保健師、助産師の教育システム） 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
4) 看護教育制度 2 看護基礎教育（大学における教育） 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
5) 看護教育制度 3 継続教育 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
6) 看護教育制度 4 卒後教育 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
7) 看護教育の実際 1 看護学科の教育課程を見よう 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	事前課題・GW
8) 看護教育の実際 1 自分の希望する病院の卒後教育を見よう 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	事前課題・GW
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
事前に配布された資料は、授業前に必ず目を通しておく。その日の授業は必ず資料に目を通して、復習をする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料配付	既習科目すべて

課題に対するフィードバック

授業時間内でコメントする  
GWにおいては、GW内でシェアする

備考





授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 看護情報とは何か（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
2) コンピュータリテラシーと情報リテラシー（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
3) 情報倫理と法（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
4) 医療情報システム（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
5) 看護記録と看護用語の標準化（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
6) 事例検討（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	グループワーク プレゼンテーション
7) 看護における情報システムの活用例（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
8) 看護情報の取り扱いと今後の課題（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	グループワーク プレゼンテーション
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習・復習を十分に行ってください。予習範囲は事前に連絡します。予習・復習時は、特に復習時はノートを作成してください。テキスト/授業の内容を整理することを習慣にしてください。</li> <li>・課題、ノート提出があります。授業外で作成をしてください。</li> <li>・予習として、教科書の該当する箇所を読んでください。</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
エッセンシャル看護情報学 第3版 医歯薬出版株式会社	医療安全 成人看護学実習 ・ 総合看護実習 ・

### 課題に対するフィードバック

- ・ 課題、ノートの内容に適時コメントします。
- ・ 出欠票・リアクションペーパーに記載された質問などには、授業中にフィードバックします。

### 備考

- ・ 出欠票・リアクションペーパーに記載された質問などには、授業中にフィードバックします。・ 初回授業のガイダンスに必ず出席してください。
- ・ 授業の出欠席は、出席票・リアクションペーパーで確認します。
- ・ 授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。
- ・ 試験の受験資格は、全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数を教員から言うことはありません。各自で確認してください。

- ・ 授業中に重要な内容・箇所を伝えます。授業をよく聴き、内容の理解に努めてください。
- ・ 授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	身体コミュニケーション論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	1	3年	前期			
担当者名	佐藤 美幸、和氣 さち、弘中 陽子		関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格			
<b>授業概要</b> コミュニケーションの重要性をふまえて、様々な看護場面において対象に応じた方法を用いて対象者と接することができるよう、知識と技術を実践的に学ぶ。具体的には、コミュニケーションスキル、レクリエーション、アロマセラピー、タッチングなどの技術を通して、それらを実践に活用するための基礎的能力を養う。 本講義は、遠隔および対面授業を行う。  (佐藤、和氣は看護師としての実務経験をもとに、授業を行う。 )							
<b>到達目標</b> B3415  1．医療現場におけるコミュニケーションの重要性について理解できる 2．様々なコミュニケーション技法について知ることができる 3．音楽療法、レクリエーション、アロマセラピーの看護への応用の方法が理解できる 4．対象に応じたレクリエーションの企画・運営ができる 5．コミュニケーションの技術を用いて対象との良好な関係を持つことができる			<b>成績評価方法</b> 最終課題レポート、授業内レポート、グループワーク、演習等にて評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート	○	○	○				70
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション		○	○	○	○		5
グループワーク	○	○	○		○		5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	医療の現場におけるコミュニケーション1 コミュニケーションとは（佐藤） 【予習】シラバスを確認する（15分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（30分）	演習
2)	医療の現場におけるコミュニケーション2 コミュニケーションのズレ（佐藤） 【予習】前回の資料を読み直す（15分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（30分）	演習
3)	医療の現場におけるコミュニケーション3 多様性を理解する（佐藤） 【予習】前回の資料を読み直す（15分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（30分）	グループワーク
4)	アロマセラピーの看護への活用1（和氣） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（30分）	
5)	アロマセラピーの看護への活用2（和氣） 【予習】前回の資料を読み直す（15分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（30分）	アロマセラピーを体験する(演習)
6)	身体を使ったコミュニケーションスキル（レクリエーション）（弘中） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（30分）	レクリエーションの体験をする（演習）
7)	レクリエーションを考えてみよう1 （佐藤） 【予習】グループワークのための材料を集める（30分） 【復習】グループで考えたレクリエーションが行えるよう準備する（60分）	グループワーク
8)	レクリエーションを考えてみよう2 （佐藤） 【予習】グループワークの発表のための準備を行う（30分） 【復習】実際に行ったレクリエーションについて、振り返る（60分）	グループワーク、レクリエーションに参加する
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
時間外での学習は主に復習を中心に行って下さい。 連続している授業は、授業前に前回の資料に目を通して復習しておいて下さい。、		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
資料配付		コミュニケーション論 人間関係論 精神看護学

課題に対するフィードバック

授業内でコメントする。  
グループワークでシェアを行う。

備考

演習・グループワークが多い科目です。自ら学ぶ姿勢で臨んで下さい。

科目名	公衆衛生看護学概論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	後期			
担当者名	滝川 洋子、立川 美香、山崎 千鶴代、新開 奏恵		関連する資格	看護師 保健師			
<b>授業概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生看護活動を理解するため、公衆衛生看護およびヘルスプロモーションの概念に基づいた活動原則と方法を学ぶ。</li> <li>・公衆衛生看護の対象となるすべてのライフステージにおける個人・家族・集団・地域社会の視点からの看護活動の意義、目的、役割を探究する。</li> <li>・授業内容により、学生相互でディスカッションやグループ学習を通して、公衆衛生看護活動の理解を深める。</li> </ul> <p>『実務経験』滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験をもとに、公衆衛生看護活動全般の授業を行う。 新開奏恵は養護教諭実務経験をもとに、学校保健の授業を行う。</p>							
<b>到達目標</b> 『B2502』 1．公衆衛生看護の基本的な考え方（エビデンス含む）と活動の場、役割・活動方法を理解し説明できる。			<b>成績評価方法</b> 授業態度・授業参加度 レポート内容 定期試験結果 上記を基準として総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート				○			10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保健師と公衆衛生看護活動 立川美香 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
2) 公衆衛生看護の理念 立川美香 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
3) 公衆衛生看護学の歴史 立川美香 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
4) 社会の変化と健康課題 立川美香 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
5) 公衆衛生看護活動の展開の基盤 立川美香 「予習」テキスト第5章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
6) 公衆衛生看護活動の展開方法 立川美香 「予習」テキスト第6章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
7) 公衆衛生看護の対象と場 山崎千鶴代 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
8) 行政（保健センター）における公衆衛生看護活動 滝川洋子 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
9) 行政（保健所）における公衆衛生看護活動 山崎千鶴代 「予習」テキスト第3章を読んでおく 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
10) 学校（学校保健）における公衆衛生看護活動 新開奏恵 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
11) 職域（産業保健）における公衆衛生看護活動 立川美香 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
12) 健康危機管理 山崎千鶴代 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
13) 保健施策の計画・実施・施策化 滝川 洋子 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
14) 公衆衛生看護管理 滝川 洋子 「予習」テキスト第8章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	対面授業
15) 公衆衛生看護活動の実際 まとめ 滝川 洋子 「予習」今までのテキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分） 「復習」レポート作成(60分)	対面授業
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業計画に沿って、テキストの該当単元を予習し、授業終了後復習しておくこと。</li> <li>・ レポートは提示された形式に沿ってまとめ、提出日時は守ること。</li> <li>・ 地域のボランティア活動に積極的に参加すること。</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
公衆衛生看護学概論 医学書院	人間・地域社会・環境関連基礎科目、公衆衛生学、社会福祉論、家族論・家族関係論、コミュニケーション論、災害看護論、人間関係論

課題に対するフィードバック

備考

新型コロナウイルス感染症の流行状況により、授業の内容を変更することがあります。その際はGoogleClassroom等でお知らせしますので確認してください。  
授業の出欠は出席カード等で確認します。欠席した場合は資料は後日研究室に取りに来てください。  
出席日数は各自で管理してください。欠席日数等の問い合わせには応じることはできません。  
授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席とします。  
授業中の携帯電話等の使用は、教員の指示がない限り使用禁止とします。



科目名	在宅看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	清水 佑子	関連する資格		

授業概要

在宅看護論の概論として、在宅看護論 および在宅看護論実習の基礎となる理念や問題を学習する。ここでは、在宅看護を支える法律やシステム・理論を理解し、それらを使用して看護師として在宅で暮らす療養者とその家族を支援していく方法を理解する。疾病や障害、虚弱のために看護ニーズをもつ在宅療養者とその家族の特徴について理解し、療養者や家族を支える方法を学習するとともに、社会情勢の変化に即した在宅看護のあり方について学習する。  
清水佑子は、介護老人保健施設の実務経験をもとに、在宅ケアを支える法制度と社会資源：介護保険、他職種との連携とケアマネジメントについて授業を行う。

到達目標

B3501

1. 在宅看護の歴史、背景、目的、対象について述べるができる。
2. 在宅看護における活動の場の特徴について述べるができる。
3. 在宅療養を支える他職種や他機関の連携、ケアマネジメントの必要性について述べるができる。
4. 在宅療養を支える制度、ケアシステム、社会資源および保健・医療・福祉専門職の役割について述べるができる。
5. 在宅看護の課題と展望について自己の意見を述べ、グループで協力して発表できる。

成績評価方法

期末定期試験  
小テスト  
授業内レポート  
授業態度・授業参加度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							15
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 在宅看護の概念（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
2) 在宅看護の倫理と基本理念（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
3) 在宅療養者と家族の支援（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	小テスト 出席カード
4) 訪問看護の特徴、役割と機能（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
5) 在宅ケアを支える訪問看護ステーション（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
6) 訪問看護の実際（学外講師）【復習】講義の内容を振り返り、整理する。30分	出席カード
7) 在宅ケアを支える法制度と社会資源：介護保険（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
8) 地域包括ケアシステムと在宅ケア（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
9) 他職種との連携とケアマネジメント（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
10) 在宅ケアシステムの実際（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
11) 病院と家庭をつなぐ退院支援（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
12) 高齢者を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
13) 要介護高齢者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
14) 障害者の在宅療養を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
15) 障害者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
16) 在宅難病療養者を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
17) 難病療養者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
18) 子どもの在宅療養を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
19) 子どもに対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
20) 在宅看護の対象者の理解（学外講師）【予習】これまでの療養者に対する制度と看護を振り返っておく。30分【復習】講義の内容を振り返り、整理する。30分	出席カード

21)	在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
22)	認知症に対する在宅看護と高齢者虐待（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
23)	在宅療養における住宅改修・福祉機器の活用（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
24)	在宅リハビリテーション（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
25)	在宅ターミナルケア（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
26)	在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】在宅看護の課題と展望について調べてくる。30分【復習】テーマに沿って内容を調べる。30分	授業内レポート課題
27)	在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】テーマに沿って内容を調べてくる。30分	小テスト グループワーク
28)	在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】テーマに沿って内容を調べてくる。30分	グループワーク
29)	在宅看護の課題と展望について（清水） 【予習】プレゼンテーションの準備を各グループで行う。30分	プレゼンテーション
30)	在宅看護の課題と展望について（清水） 【予習】プレゼンテーションの準備を各グループで行う。30分 講義のまとめ（清水）	プレゼンテーション

#### 授業外学習

授業計画に沿って、教科書を熟読してきてください。

奇数回の授業開始時、小テスト（前回講義内容）があります。講義資料、教科書を復習してください。

在宅看護の展望と課題について個人で調べ、考えおよび意見をグループワークで発言できるようにしておいてください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>&lt;テキスト&gt; ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア 株式会社メディカ出版</p> <p>&lt;参考書&gt; ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支える技術、メディカ出版。</p>	<p>公衆衛生看護学概論，社会保障論，社会福祉論，看護学概論，看護理論，家族論・家族関係論，緩和ケア論，成人看護学総論，成人看護学・，小児看護学・，老年看護学・，精神看護学・</p>

#### 課題に対するフィードバック

小テストは採点后返却します。

プレゼンテーション後は、内容について講義中にコメントします。

出席カードに記載されていた質問についてや書かれていた内容に対しては、翌週の講義の際にコメントします。

#### 備考


科目名	在宅看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	後期
担当者名	清水 佑子	関連する資格		

授業概要

在宅療養者とその家族に対する看護実践のために必要な生活ケアと医療的ケアについて、知識・技術を理解する。在宅看護論実習の基盤となる科目として、技術内容とその根拠を理解する。また在宅療養者を援助する方法をイメージできるように、事例を通して療養者と家族の問題をアセスメントし、問題を抽出し、問題解決のために必要と考えられる方法、社会資源を考える。  
清水佑子は、介護老人保健施設の実務経験をもとに、在宅における生活ケア、医療的ケアについて授業を行う。

到達目標

B3502

1. 療養者や家族と信頼関係を形成するための方法について述べるができる。
2. 在宅における生活ケアについて具体的に述べるができる。
3. 在宅における医療的ケアについて具体的に述べるができる。
4. 在宅におけるリスクマネジメントの必要性について理解できる。
5. 在宅看護過程を展開し、事例に応じた対象の問題や課題を明確にできる。

成績評価方法

小テスト  
授業内レポート  
授業・グループワークへの意欲・態度

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							5
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 在宅におけるコミュニケーション（清水）【予習】基礎・老年看護学で学んだコミュニケーションに関する資料を見る。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。ロールプレイングの準備。30分	出席カード
2) 初回訪問時の面接技術（清水）映像の視聴をふまえて、在宅へ訪問する際の留意点をまとめる。30分	ロールプレイ 出席カード
3) 在宅における生活ケアと医療的ケア/在宅における援助技術 食と栄養のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
4) 在宅における援助技術 排泄のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。30分	小テスト 出席カード
5) 在宅における援助技術 清潔 移動のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
6) 在宅における援助技術 呼吸のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
7) 在宅における援助技術 服薬管理（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
8) 在宅における援助技術 感染予防の援助（清水）【予習】基礎看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
9) 在宅における援助技術 良肢位の保持と褥瘡予防（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
10) 在宅看護過程の考え方（清水）【予習】基礎看護学で学んだ看護過程の方法の振り返り。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
11) 看護過程の展開(1)在宅看護過程の考え方（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク
12) 看護過程の展開(2)（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク
13) 看護過程の展開(3)（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク・グループワーク
14) 看護過程の展開(4)（清水）【予習】グループワークで発言できるよう準備する。30分【復習】グループワークで行った看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 グループワーク
15) 看護過程の展開(5)まとめ（清水）【予習】グループでプレゼンテーションの準備をする。30分【復習】プレゼンテーションをふまえて事例の療養の課題を明確にし、全授業の振り返りをする。30分	プレゼンテーション
授業外学習	
<p>授業計画に沿って、テキストを熟読してきてください。 小テストがあります。講義資料、教科書を復習してください。 13)までにレポートを作成し、考えおよび意見をグループワークで発言できるようにしておいてください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>&lt;テキスト&gt; ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア 株式会社メディカ出版 &lt;参考書&gt; ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支える技術、メディカ出版・正野逸子他編；在宅看護過程第2版、メヂカルフレンド社。</p>	<p>在宅看護論、看護過程論、基礎看護方法論、基礎看護方法論演習、成人看護学、老年看護学</p>

課題に対するフィードバック

小テストは、採点后返却します。  
出席カードの内容については、翌週の講義の際にコメントします。  
授業内レポート課題については、コメントを記載して返却します。

備考

科目名	緩和ケア論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	3年	前期
担当者名	稲垣 順子、江口 恵里	関連する資格	看護師・保健師	

**授業概要**

緩和ケアを必要とする患者・家族の身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな全人的苦痛・苦悩を理解し、患者・家族のQOLの向上を促進するための具体的アプローチを修得する。  
看護師としての実務経験を持つ稲垣順子・江口恵理が授業を行う。

**到達目標**

【B3416】

1. 緩和ケアの定義と関連する概念が説明できる。
2. 身体的苦痛がもたらす生活への影響及び、症状緩和のためのマネジメントが説明できる。
3. 精神的苦痛・社会的苦痛・スピリチュアルな苦痛緩和のためのマネジメントが説明できる。
4. 緩和ケアにおける倫理的課題が説明できる。
5. エンドオブライフケアが説明できる。
6. 緩和ケアの今後の展望が説明できる。

**成績評価方法**

事後課題がある場合、課題が期限より遅れた場合は減点の対象となります。  
Google Classroomより、リアクションペーパー提出をもって出席とみなします。  
Google Classroomより、小テストを実施します。  
リアクションペーパー提出による出席確認が3分の2以上あることが評価の対象です。  
課題や小テスト・ノートの内容によって評価をします。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							16
宿題、授業外レポート							10・14
授業態度・授業参加度							マイナス点
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 緩和ケアとは（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
2) 全人的ケアの実践 身体的ケア（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
3) 全人的ケアの実践 精神的ケア・社会的ケア・スピリチュアルケア（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
4) 緩和ケアにおける倫理的課題（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
5) エンド・オブ・ライフケア（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
6) 緩和ケアの広がり（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
7) 認知症とともに生きる人と家族への緩和ケア（担当：江口）【予習】老年看護学 認知機能障害がある高齢者の看護、老年症候群を読んでくる（80分）【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
8) 緩和ケアの今後の展望（担当：稲垣） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（80分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をA4判ノートにまとめる（60分）	ディスカッション 小テスト
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習・復習を十分に行ってください。予習範囲は事前に連絡します。予習・復習時は、特に復習時はノートを作成してください。テキスト/授業の内容を整理することを習慣にしてください。</li> <li>・課題、ノート提出があります。授業外で作成をしてください。</li> <li>・予習として、教科書の該当する箇所を読んでください。</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座別巻 緩和ケア第3版 医学書院 2021	成人看護学・老年看護学・小児看護学・在宅看護論・基礎看護学

課題に対するフィードバック

- ・ 課題、ノートの内容に適時コメントします。

備考

- ・ 出欠票・リアクションペーパーに記載された質問などには、授業中にフィードバックします。・初回授業のガイダンスに必ず出席してください。
- ・ 授業の出欠席は、出席票・リアクションペーパーで確認します。
- ・ 授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。
- ・ 試験の受験資格は、全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数を教員から言うことはありません。各自で確認してください。

- ・ 授業中に重要な内容・箇所を伝えます。授業をよく聴き、内容の理解に努めてください。
- ・ 授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	災害看護論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	1	2年	後期			
担当者名	滝川 洋子、山崎 千鶴代、立川 美香		関連する資格	看護師 保健師			
<b>授業概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害及び災害看護に必要な基礎的知識を学び、災害が人々の生命や健康、生活に影響を及ぼすことについて理解を深める。</li> <li>・災害発生時の社会の対応やしきみについて学習し、災害サ外における看護の果たす役割について学ぶ。</li> <li>・内容に応じ専門分野の特別講師の講義も含む。また災害復旧復興期および準備期の活動に関しては課題を提示し、グループワークを実施する。</li> </ul> <p>『実務経験』滝川洋子は保健師実務経験をもとに災害各期の対応について授業を行う。 山崎千鶴代は保健師実務経験をもとに災害時の基本的知識及び必要な看護技術等について授業を行う。 原田博子は看護師実務経験をもとに医療機関における災害への初動体制・災害訓練等について授業を行う。 尾家重治は薬剤師実務経験をもとに災害時の感染看護について授業を行う。</p>							
<b>到達目標</b> 『B2503』 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害および災害看護に関する基礎的知識を理解し説明できる。</li> <li>2. 災害が人々の生命や生活に及ぼす影響について理解し説明できる。</li> <li>3. 災害に対する個人の備えや災害発生時の社会の対応について理解し説明できる。</li> <li>4. 災害時の看護師・保健師が果たす役割と災害各期における各々の活動を理解し説明できる。</li> </ol>			<b>成績評価方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度・授業参加度 レポート内容 定期試験結果 等を総合して評価する。</li> <li>・2/3以上の出席がないと、定期試験受験資格が与えられない。</li> <li>・遅刻3回で1回欠席とする。</li> </ul>				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 災害に関する基本的知識 災害発生時の社会の対応やしきみ [予習]テキストp1~102を読んでおく(60分) [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分) 山崎千鶴代	小テスト
2) 災害時に必要な看護技術 体系的対応の基本原則とトリアージ 応急処置・搬送 [予習]テキストp151~172を読んでおくこと(30分) [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分) 山崎千鶴代	小テスト
3) 医療機関における災害への備え、初動体制・災害訓練等 [予習]テキストp173~190を読んでおくこと(30分) [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分) 原田博子	グループワーク
4) 災害後中長期的な健康問題への対応～災害と感染看護 [予習]テキストp314~330、p126~130を読んでおくこと(30分) [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分) 尾家重治	
5) 災害時の備え・個人及び地域の備え 宇部市の防災危機管理体制 [予習]テキストp68~102を読んでおくこと(30分) [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分) 滝川洋子	
6) 災害各期における看護活動～災害急性期から亜急性期への対応～ [予習]テキストp103~123を読んでおくこと(30分) [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分) 滝川洋子	
7) 在宅療養、避難所、仮設・復興住宅における看護 課題提示しレポート作成 [予習]テキストp131~150を読んでおくこと(30分) [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分) 滝川洋子	授業内レポート課題提出 グループワーク
8) 公衆衛生看護と災害 災害に対する保健師の役割 [予習]テキストp214~227を読んでおくこと(30分) [復習]課題レポートの作成(30分) 滝川洋子	小テスト 授業内レポート課題提出
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
授業計画に沿って、テキストの該当ページを予習し、授業終了後復習しておくこと。 レポートは提示された形式に沿ってまとめ、提出日時は守ること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
災害看護論 南江堂	既習の看護学科目、公衆衛生看護学、疫学・保健統計、公衆衛生学、保健医療福祉行政論、身体とコミュニケーション、社会保障論、社会福祉論等

課題に対するフィードバック

課題については必要に応じ説明する。  
課題レポートは授業最終日にコメントをつけて返却する。

備考

授業中の携帯電話等の使用は、教員の指示がない限り使用禁止とする。

担当講師の都合により、授業計画の順番が変更することがあるが、その際は前もって知らせる。

科目名	国際看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	2年	前期
担当者名	金川 真理、梁元 陽子、三隅 達也	関連する資格	看護師	

授業概要

看護の対象は「人間」であり、看護という概念には、国境も人種も、文化も超えた国際看護という考え方が備わっている。本講義では、すべての看護職者に必要な国際看護に関する知識の基礎を学ぶ。  
 金川真理は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業を行う。  
 梁元陽子・三隅達也は、看護師としての実務経験をもとに本科目の一部の授業を行う。

到達目標

B2504

1. 国際的視野を広げることができる。
2. 異文化・多文化を理解することができる。
3. 世界や在日外国人の現状・課題・支援について理解できる。

成績評価方法

定期試験（レポート試験）、小テスト（2回）  
 授業外課題レポート（1回）、授業内課題レポート（5回）、プレゼンテーション（1回）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			50
小テスト、授業内レポート	○	○					28
宿題、授業外レポート	○	○	○				4
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○			18
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1)異文化の理解、異文化コミュニケーション（担当：梁元陽子） 【予習】教科書P11～P19を読んでおく（30分） 【復習】講義内容の復習、課題レポートの作成（60分）	授業外課題レポート、小テスト
2) 2)授業ガイダンス、国際看護のすすめ、日本の国際協力（担当：金川真理） 【予習】教科書P2～P10、P20～P28を読んでおく、（30分） 【復習】講義内容の復習、小テストに向けて講義内容の予習（60分）	授業内課題レポート
3) 3) 国際移動する看護師、性の多様性（担当：梁元陽子） 【予習】教科書P46～P57を読んでおく（30分） 【復習】講義内容の復習（60分）	授業内課題レポート
4) 4) 国際協力への理解を深める（担当：三隅達也） 【予習】教科書P98～P121を読んでおく（30分） 【復習】講義内容の復習（60分）	
5) 5) 「人間の安全保障」と国際機関、感染症とスティグマ（担当：金川真理） 【予習】教科書P29～P37、P67～P76を読んでおく（30分） 【復習】講義内容の復習、プレゼンテーションの準備（60分）	授業内課題レポート、グループワーク
6) 6) 健康格差と世界の貧困、プライマリヘルスケア（担当：金川真理） 【予習】教科書P38～P44、P90～P96を読んでおく（30分） 【復習】小テストに向けて講義内容の復習、プレゼンテーションの準備（60分）	授業内課題レポート、グループワーク
7) 7) 災害と看護、紛争と難民（担当：金川真理） 【予習】教科書P58～P66、P77～P89を読んでおく（30分） 【復習】講義内容の復習、プレゼンテーションの準備（60分）	小テスト、グループワーク
8) 8) これからの私たちの選択（担当：金川真理） 【予習】教科書P124～P134を読んでおく、プレゼンテーションの準備（30分） 【復習】講義内容の復習、レポート試験の準備（60分）	プレゼンテーション、授業内課題レポート、レポート試験課題提示
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>1. 授業計画に記載されているテキストの該当単元を読み、分からない用語を調べてください。</p> <p>2. 小テストは講義済みの内容から出題します。復習を欠かさずに行ってください。</p> <p>3. 授業外レポートは講義内容に即したテーマです。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト 近藤麻里：知って考えて実践する国際看護 第2版、医学書院 参考図書 講義内で提示します。</p>	看護学概論、災害看護論

課題に対するフィードバック

小テストの正誤と解説をします。

備考

試験の受験資格は全講義の3分の2以上の出席で付与されます。出席・欠席の管理は各自で行ってください。教員より欠席回数  
の通知はありません。



科目名	在宅看護論実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	2	4年	前期			
担当者名	清水 佑子		関連する資格				
<b>授業概要</b> 何らかの支援を必要とする人に向けた在宅ケアシステムの概要を学ぶとともに、在宅で療養している対象者とその家族に対して、生活を尊重しながら生活の質(QOL)向上の視点から看護援助が実践できる基礎的能力を養う。							
<b>到達目標</b> B4502a 1. 在宅療養者とその家族について、生活状況をふまえた療養上の課題について説明できる。 2. 在宅療養者とその家族がもつ療養上の課題に対する訪問看護師の役割と、その活動について説明できる。 3. 保健・医療・福祉に携わる関連職種との連携・協働について理解できる。 4. 私生活の場に第三者が介入することの意味を考え、療養者および家族に配慮した行動がとれる。 5. 療養者が在宅で生活し続けるための在宅看護のあり方と在宅ケアシステムや社会資源について考察できる。			<b>成績評価方法</b> 提出物 実習記録 授業外レポート				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>2週間のうち訪問看護ステーション4日，地域連携室半日，居宅介護支援事業所半日，通所リハビリテーション1日の実習を行う。</p>	<p>知識確認テスト 関連図を基にした事例検討</p>
<p>授業外学習</p>	
<p>実習開始前に知識確認テストがあります。講義資料、テキストを復習してください。 実習事前準備として学習をし、積極的に実習に取り組んでください。 課題に沿ってレポートを作成し、実習の振り返りを行ってください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>看護学臨地実習ガイドブック在宅看護論実習2022年度</p>	<p>在宅看護論、在宅看護論</p>

課題に対するフィードバック

記録物に対しては必要時その場で指導を行います。

備考

科目名	総合看護実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	1	4年	前期			
担当者名	福岡 泰子、安成 智子、金子 真弓、清水 佑子、柿並 洋子、磯村 由美、和氣 さち、金川 真理、梁元 陽子、江口 恵田 二穂、遠也、鳥谷 美希	関連する資格	看護師 保健師				
<b>授業概要</b> これまでの病院や施設または行政での実習を通して見出した自らの課題を明確にした上で、主体的に実習をすすめ、さらに実践能力を高める。  看護業務に携わった経験を持つ教員（福岡・安成・金子・清水・柿並・磯村・和氣・古場・江口・梁元・三隅・藤村・鳥谷）が引率、あるいは学内指導を担当し、指導を行う。							
<b>到達目標</b> B4302a 1．これまでの臨地実習での自己の課題を明確にし、課題解決に向けて意図的・計画的に実習に臨むことができる。 2．患者のアセスメントを行い、ニーズを把握することができる。 3．患者のニーズを充足するための看護計画を立案できる。			<b>成績評価方法</b> 臨地実習100点、技術試験100点で評価する。各々60%以上の得点で単位を認定する。 臨地実習は、目標達成状況、実習記録、実習態度などを総合して評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○	○		50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
看護学臨地実習ガイドブック 総合看護実習 ・ 参照	技術試験前には実習室での自己練習時間を設ける。 試験後の振り返りでは学生同士でのグループ学習を行う。 学内演習では、看護過程の展開(記録)・グループディスカッションを行う。
<b>授業外学習</b>	
事前に技術試験を実施するため今まで学習した内容から本実習に必要な技術を復習し習熟しておくこと、実習内容については、別途オリエンテーションを設ける。 実習終了後記録のまとめを要する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
看護管理、医学書院	看護管理、各領域臨地実習、総合看護実習

課題に対するフィードバック

技術試験後には技術に対する講評を提示します。  
実習記録に対して、コメント・評価をして返却します。

備考

科目名	総合看護実習						
授業形態	履修形態	単位数			年次	開講期	
実習	必修	1			4年	後期	
担当者名	福岡 泰子、安成 智子、金子 真弓、清水 佑子、柿並 洋子、磯村 由美、和氣 さち、金川 真理、梁元 陽子、江口 恵田 二輝、遠也、鳥谷 美希	関連する資格			看護師 保健師		
<b>授業概要</b> 総合看護実習 での学びをさらに深め、看護の対象（患者）を多角的・統合的に把握し、対象の健康上・看護上のニーズを充足させるための援助を展開する。1年次から学んだ看護の集大成として、看護技術や知識を再確認し、実践に応用できる能力を養うとともに自らの看護観をまとめる。  看護業務に携わった経験を持つ教員（福岡・安成・金子・清水・柿並・磯村・和氣・古場・江口・梁元・鳥谷・藤村・三隅）らが引率し、あるいは学内演習を担当し、指導を行います。							
<b>到達目標</b> B4303a 1．看護の対象（患者）を多角的・統合的に把握し看護計画を立案し、他者との共有ができる。 2．チームでの看護実践と医療安全への取り組みが理解できる。 3．看護職の役割や責任、倫理について考察し、自己の看護観をまとめる。				<b>成績評価方法</b> 臨地実習・学内演習について、実習目標の達成状況、レポート、実習態度を総合看護実習評価表に基づき評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○				
演習	○	○	○	○	○		30
実習		○		○	○		70

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
看護学臨地実習ガイドブック 総合看護実習 ・ 参照	学内演習では、看護過程の展開(記録) )・グループディスカッションを行う 。
<b>授業外学習</b>	
臨地実習に必要な学習を行うこと。 実習病棟により疾患の種類が大きく異なるため、同じグループの実習生であっても共有できる知識の範囲が限定される。そのため、主体的に疾患・看護の理解を深める姿勢が重要となる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
看護管理 医学書院 医療安全 医学書院	各領域臨地実習 総合看護実習



課題に対するフィードバック

実習記録に対して、コメント・評価をして返却する。

備考

科目名	研究						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	3年	後期			
担当者名	佐藤 美幸、安成 智子、磯村 由美		関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格			
<b>授業概要</b> 看護における研究の意義、研究の倫理、ならびに研究方法論を習得する。これまでの学習を通して芽生えた問題意識を研究テーマへと発展させる。また課題の究明に求められる研究的な学習の進め方、研究に重要な科学的かつ論理的な思考方法を学ぶ。  (佐藤、磯村は看護師、安成は助産師および大学教員としての実務経験に基づいて授業を行う。 )							
<b>到達目標</b> B3301 1) 看護における研究の意義、必要性を説明できる。 2) 研究を通して、科学的・論理的思考を習得する。 3) 研究の展開方法について説明できる。 4) 各研究方法論の概要について説明できる。 5) 研究論文のクリティークを行うことができる。 6) 研究計画書の書き方を習得する。 7) 研究における倫理的配慮の重要性について説明できる。			<b>成績評価方法</b> 試験およびレポート、グループワークなどを総合的に評価する				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート			○				30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	全体オリエンテーション/研究とは（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
2)	看護研究のはじめ方 - リサーチクエスチョンをたてる（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
3)	文献レビューとその方法（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	課題（文献レビュー）
4)	研究における倫理的配慮（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
5)	研究デザインとデータの収集 1 研究デザインの選択、整理（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
6)	研究デザインとデータの収集 2 質的研究（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
7)	研究デザインとデータの収集 3 質的研究（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
8)	研究デザインとデータの収集 4 量的研究（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
9)	研究デザインとデータの収集 5 量的研究（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
10)	データ分析（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
11)	研究計画書の作成（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
12)	研究を伝える - 学会発表・論文作成（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
13)	文献検討（佐藤、安成、礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	グループワーク 事前課題
14)	文献検討（佐藤、安成、礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	グループワーク 事前課題
15)	まとめ（佐藤、安成、礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
授業外学習		
教科書の該当ページには必ず目を通してから授業に臨んで下さい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
坂下玲子ほか 系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院		既習科目すべて 研究

課題に対するフィードバック

授業内でコメントするとともに、グループワークを通じて他の学生と学習内容のシェアをおこなう。

備考

科目名	研究						
授業形態	履修形態	単位数			年次	開講期	
演習	必修	2			4年	通年(前期)	
担当者名	佐藤美幸、安成智子、稲垣順子、新開、新開、清水、磯村、中美、江口、重甲、金子、真弓、金子、真弓、美香、柿並、洋子、梁三、陽子	関連する資格			看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格		
<b>授業概要</b> 研究計画書の作成を通して、各自の課題に対しての問題解決を図る方法を身につけるとともに、科学的思考や論理的表現方法を習得する。その過程を通じて、倫理的配慮の必要性、研究フィールドを得るための方法など、研究に必要な知識を習得する。 教員別に分かれて個別指導を受ける。指導方法は担当の教員による。 ( 担当者はすべて看護師もしくは保健師、養護教諭の実務経験および大学教員としての経験をもとに授業を行う。 )							
<b>到達目標</b> B4301 研究計画書を作成することができる。 研究課題を明確にすることができる。 研究目的を設定することができる。 文献検索を行い、研究の背景を明確にすることができる。 研究の意義を明らかにすることができる。 研究方法を記述することができる。 研究デザインを記述することができる。 論理的・科学的思考を習得できる。 看護上の問題解決能力を養うとともに、看護実践の根拠を考えることができる。 研究における倫理的配慮について説明できる。 看護における科学的根拠を示す方法としての研究の必要性および重要性を説明できる。				<b>成績評価方法</b> 研究計画書をもとに指導教員が評価する。評価には、指導の中での態度や経過を含む(100%)			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							100
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 研究 オリエンテーション	
2) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う。	担当教員による個別指導
3)	
4)	
5)	
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>指導教員の指導に従って、授業前に指示された課題を行ってから授業に臨んで下さい。  研究 の内容はすべて復習しておいて下さい。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座別巻 看護研究 医学書院（研究 で使用したもの）	既習科目のすべて

課題に対するフィードバック

研究計画書の作成を課題とする。計画書は、自ら振り返る（自己評価表）とともに各教員が個別にコメントをする。

備考

科目名	研究						
授業形態	履修形態	単位数			年次	開講期	
演習	必修	2			4年	通年(後期)	
担当者名	佐藤美幸、 新開、 清水、 磯村	安成、 金川、 立川、 江口	智子、 真理、 美香、 恵甲	稲垣、 金子、 柿並、 梁三	順子、 真弓、 洋子、 陽子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状
<b>授業概要</b> 研究 前期と同じ							
<b>到達目標</b> B4301 研究 前期と同じ					<b>成績評価方法</b> 各教員による評価(研究計画書作成)		
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							100
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う（15回）。	授業すべて担当教員による個別指導
2)	
3)	
4)	
5)	
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>指導教員の指導に従って、授業前に指示された課題を行ってから授業に臨んで下さい。  研究 の内容はすべて復習しておいて下さい。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
研究 で用いたもの、各自で集めた資料 担当教員から提示された資料	全ての科目

課題に対するフィードバック

前期と同じ。各教員によるフィードバックを行う。

備考

科目名	公衆衛生看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	4	3年	前期			
担当者名	立川 美香、滝川 洋子、山崎 千鶴 代	関連する資格	保健師 看護師				
<b>授業概要</b> ・人びとが自らの健康状態を認識し、健康の保持増進を図ること（セルフケア力の向上）を支援するための保健指導方法の基本的考え方と実践方法について演習等を通して学ぶ。 ・集団における教育方法の基本的考え方と実践方法についてグループワーク等を通して学ぶ。 ・地域の人びとや医療、福祉などの他職種、機関との協働のあり方とその実践方法を学ぶ。  <b>【実務経験】</b> 立川美香、滝川洋子、山崎千鶴代は、保健師としての実務経験をもとに、公衆衛生看護学 の授業を行う。							
<b>到達目標</b> <b>【B3503】</b> ・地域住民に対する個別的指導方法を理解し、説明できる。 ・対象別に必要な集団保健指導方法を理解し、説明できる。 ・対象が必要とする健康教育を実践するためのプロセスを理解し、演習としてグループワークを経てプレゼンテーションができる。 ・地域の人びと、関係者・機関との協働について理解し、説明できる。			<b>成績評価方法</b> 授業態度・授業参加度（10%） グループワーク・プレゼン（20%） レポート内容（10%） 定期試験結果（60%） 上記を基準として総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 地域で展開される公衆衛生看護活動の実際（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	レポート
2) 健康の概念とプライマリヘルス・ヘルスプロモーション（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
3) 保健指導（目的・対象・技術）（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
4) 健康相談の場面と面接技術・実践・評価・フォローアップ（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
5) 健康相談の場面と面接技術・実践・評価・フォローアップ（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
6) 健康診査の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
7) 家庭訪問の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
8) 家庭訪問における家族の捉え方とエコマップ（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
9) 家庭訪問 演習（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストを と 配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	
10) 家庭訪問 演習（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストを と 配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	
11) 家庭訪問 演習（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストを と 配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
12) 家庭訪問 演習?（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストを と 配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
13) 家庭訪問 演習（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストを と 配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
14) 家庭訪問 家庭訪問プレゼンテーション：エコマップ（立川・滝川洋子・山崎） 【予習】テキストを と 配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
15) 家庭訪問 家庭訪問プレゼンテーション：場面（立川・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストを と 配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
16) 家庭訪問 家庭訪問プレゼンテーション：場面（立川・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストを と 配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク プレゼンテーション
17) 健康教育の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
18) 健康教育の理論と実践（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
19) 健康教育 演習（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストを と 配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
20) 健康教育 演習（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストを と 配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク

21)	健康教育 演習 (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
22)	健康教育 演習 (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
23)	健康教育 演習(中間)(立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク プレゼンテーション
24)	健康教育 演習 (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
25)	健康教育 演習 (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
26)	健康教育 演習 (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
27)	健康教育 プレゼンテーション (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク プレゼンテーション
28)	健康教育 プレゼンテーション (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク プレゼンテーション
29)	地域組織活動の展開(滝川洋子) 【予習】テキストを読む(30分) 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分)	
30)	セルフヘルプグループ活動とその支援(滝川洋子) 【予習】テキストを読む(30分) 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分)	

授業外学習

- ・保健師選択科目で使用使用するテキスト以外でも、必要に応じ他の科目のテキストを読むこと。
- ・図書館の本や雑誌、新聞、視聴覚教材など、テキスト以外のものを活用し予習・復習をすること。
- ・復習する際には、授業の内容に該当する保健師国家試験問題を解き、不明な所は授業中必ず質問をすること。

テキスト、参考書、教材

関連する科目

- ・「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会
- ・「最新公衆衛生看護学各論1」第3版日本看護出版会
- ・「最新公衆衛生看護学各論2」第3版日本看護出版会
- ・「公衆衛生看護学概論」第5版医学書院
- ・厚生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2021/2022

公衆衛生学、公衆衛生看護概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、憲法・人権論、地域社会学、生涯発達心理学、人間関係論、保健医療福祉行政論、家族論・家族関係論

課題に対するフィードバック

課題については必要に応じコメントを記入したり授業の中で説明します。課題は前期終了までに返却しますので、公衆衛生看護学実習 に活用できるように整理をしておいてください。

備考

- 保健師ノートについて
- ・自己学習した内容を保健師ノートにファイルしてください。
- ・このノートは4年生まで活用します。

授業の心得

- ・ 授業中や演習では積極的に発言・参加すること。
- ・ 授業中や演習では他者を尊重し協力し合うこと。

- ・ 授業の出席日数は各自で管理してください。
- ・ 授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。
- ・ 授業中の携帯電話等の使用は、教員の指示がない限り使用禁止とします。

科目名	公衆衛生看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	4	3年	前期			
担当者名	滝川 洋子、立川 美香、山崎 千鶴 代、新開 奏恵	関連する資格	保健師				
<b>授業概要</b> ・ライフサイクル（母子・成人・高齢者）に応じた保健活動、健康問題（精神・感染症・難病・障害児者等）に対する保健活動、社会集団（学校・産業）を対象とした保健活動を法的根拠や政策をもとに、それぞれの対象への保健指導の基本や実践について講義、グループ学習（学生相互の学び合い）・プレゼンなどを通して理解する。 『実務経験』滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験をもとに、公衆衛生看護活動全般の授業を行う。 新開奏恵は養護教諭実務経験をもとに学校保健の授業を行う。							
<b>到達目標</b> 『B3504』 1．対象別保健の動向・施策や制度を理解し説明できる。 2．対象別の健康課題と保健指導の内容を理解し説明できる。 3．産業保健の職域の特徴と対象者の健康課題を理解し説明できる。 4．産業保健における保健師の職務と役割を理解し説明できる。 5．学校保健の対象と健康課題を理解し説明できる。 6．学校保健における養護教諭の職務と役割を理解し説明できる。 7．住民の健康の保持増進の為の保健師の役割や職域との連携・協働が理解し説明できる。			<b>成績評価方法</b> ・授業態度・授業参加度 プレゼンテーション グループワーク 演習、 定期試験結果 上記等を総合して評価する。 ・2/3以上の出席がないと、定期試験受験資格が与えられない。 ・遅刻3回で1回欠席とする。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							10
グループワーク							5
演習							5
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 母子保健活動；母子保健指導の動向 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
2) 母子保健活動；母性各期の健康課題と保健指導 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
3) 母子保健活動；乳幼児期の成長発達と保健指導 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
4) 母子保健活動；ハイリスクの母子への保健指導 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
5) 成人保健活動；成人保健の動向 「予習」テキスト第2章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
6) 成人保健活動；成人期の保健活動・保健指導 「予習」テキスト第2章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
7) 高齢者保健活動；高齢者保健の動向 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
8) 高齢者保健活動；高齢者の生活と保健指導 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
9) 高齢者保健活動；在宅要援護高齢者と家族への保健指導 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
10) 精神保健活動；精神保健の動向 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	小テスト
11) 精神保健活動；精神障害者の生活上の障害と保健指導 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	グループワーク
12) 精神保健活動；社会病理を背景とする主な疾患 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	小テスト
13) 障害者（児）保健活動；障害者保健の動向 「予習」テキスト第5章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	グループワーク
14) 障害者（児）保健活動；障害者保健施策と保健活動 「予習」テキスト第5章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	小テスト
15) 難病保健活動；難病対策の動向 「予習」テキスト第6章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	グループワーク
16) 難病保健活動；難難病患者の生活と保健指導 「予習」テキスト第6章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	小テスト
17) 感染症保健活動；感染症保健の動向 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	小テスト
18) 感染症保健活動；感染症保健施策と保健活動 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	小テスト
19) 感染症保健活動；疾病管理 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	小テスト
20) 感染症保健活動；感染症集団発生 「予習」テキスト第12章Bを読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	演習



21)	歯科保健活動；歯科保健の動向と保健活動の実際 「予習」テキスト第8章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	グループワーク
22)	産業保健活動；産業保健の動向 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	小テスト
23)	産業保健活動；産業保健の制度とシステム 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	小テスト
24)	産業保健活動；産業保健における健康課題 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	グループワーク
25)	産業保健活動；産業保健の展開 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分）立川美香 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	グループワーク
26)	学校保健活動；学校保健の動向 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏声	小テスト
27)	学校保健活動；学校保健の制度とシステム 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏声	小テスト
28)	学校保健活動；学校保健・看護の現状と健康課題 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏声	グループワーク
29)	学校保健活動；養護教諭の職務と保健室の機能 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏声	グループワーク
30)	総括 滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代・新開奏声	レポート

#### 授業外学習

- ・事業計画に沿って、テキストの該当単元を予習し、授業終了後復習しておくこと。
- ・第2回にプレゼンテーションの課題をいくつか提示、その中から自ら選択し、レポート作成すること。レポートに沿って、授業開始時発表、その後発表内容についてグループ討議を行う。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
対象別公衆衛生看護活動 医学書院 衛生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2021/2022	保健医療福祉行政論、疫学保健統計、公衆衛生学、社会保障論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、栄養と運動

#### 課題に対するフィードバック

課題については必要に応じ説明する。  
課題レポートは授業最終日にコメントをつけて返却する。

#### 備考

授業中の携帯電話等の使用は教員の指示がない限り使用禁止する。

担当講師の都合により、授業計画の順番が変更することがあるが、その際は前もって知らせる。

科目名	公衆衛生看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	3年	後期			
担当者名	滝川 洋子、立川 美香、山崎 千鶴 代	関連する資格	保健師				
<b>授業概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に顕在あるいは潜在している健康問題の把握方法、地域看護診断に基づく活動計画と評価、さらに住民ニーズの施策化など、組織的に解決する方法について理解する。</li> <li>・地域の人々が自ら健康問題を意識し、主体的に問題解決ができるようにするための方法や地域ケアシステムづくりについて理解する。</li> <li>・公衆衛生看護管理活動及び地域の健康危機に対する活動について理解する。</li> <li>・学習手段として、グループワークや学生間での意見交換等を積極的に導入する。</li> </ul> <p>『実務経験』滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験にもとに、公衆衛生看護活動全般及び看護診断について授業を行う。</p>							
<b>到達目標</b> 『B3505』 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域看護診断の方法を理解し、地域の健康課題をアセスメントできる。</li> <li>2. 看護活動の計画・実践・評価について理解し説明できる。</li> <li>3. 事業計画の策定、進行管理、評価の方法を理解し説明できる。</li> <li>4. 公衆衛生看護管理の目的およびその機能を理解し説明できる。</li> <li>5. 健康危機管理・リスクマネジメントについて理解し説明できる。</li> </ol>			<b>成績評価方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度・授業参加度 グループワーク・プレゼンテーション レポート、定期試験 上記を基準として総合的に評価する。</li> <li>・2/3以上の出席がないと、定期試験受験資格が与えられない。</li> <li>・遅刻3回で1回欠席とする。</li> </ul>				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							15
グループワーク							15
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 公衆衛生看護活動とは 山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	小テスト
2) 地区活動の基本と対象のとらえ方 山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	小テスト
3) 公衆衛生看護学での看護過程の使い方 立川美香 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	小テスト
4) 地域看護診断の概念と理論 立川美香 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	小テスト
5) 地域看護診断の考え方、地域のとらえ方 立川美香 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	小テスト
6) 地区活動の展開 山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	小テスト
7) 地域看護診断 演習の進め方 山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	小テスト
8) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
9) 地域看護診断 演習 立川美香 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	グループワーク
10) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
11) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
12) 地域看護診断 演習中間プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」プレゼンテーションの準備（30分） 「復習」プレゼンテーションの内容の確認（30分）	プレゼンテーション
13) ヘルスケアシステムの概要 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
14) 保健計画と実践（福祉施策を含む） 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
15) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること(30分) 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
16) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
17) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
18) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
19) 地域看護診断 演習プレゼンテーション準備 立川美香・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備（30分） 「復習」プレゼンテーションの内容の確認（30分）	グループワーク
20) 地域看護診断 演習プレゼンテーション準備 立川美香・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備（30分） 「復習」プレゼンテーションの内容の確認（30分）	グループワーク

21)	地域看護診断 演習プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
22)	地域看護診断 演習プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
23)	公衆衛生看護管理の概念・目的・機能 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
24)	公衆衛生看護管理 業務管理と情報管理 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
25)	地区視診 演習プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
26)	地区視診 演習プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
27)	地域看護診断・地区視診のまとめ 山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」地域看護診断・地区視診の演習の振り返り(30分) 「復習」地域看護診断・地区視診について内容確認(60分)	グループワーク
28)	地域看護診断・地区視診のまとめ 山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」地域看護診断・地区視診の演習の振り返り(30分) 「復習」地域看護診断・地区視診についてレポート提出(60分)	グループワーク
29)	公衆衛生看護管理 予算管理・人材管理・人材育成 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
30)	公衆衛生看護管理 健康危機管理 山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	

授業外学習

- ・授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読すること。また、授業後はテキスト該当単元を復習すること。
- ・グループワークに必要な知識の強化を図ること。

テキスト、参考書、教材

関連する科目

「保健師業務要覧」第4版日本看護出版会  
「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会  
「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会  
「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会  
「公衆衛生看護学概論」第5版医学書院  
衛生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2021/2022

公衆衛生学、疫学、保健統計、保健福祉行政論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、データの科学的な見方

課題に対するフィードバック

課題については必要に応じコメントを記入したり授業の中で説明する。課題は前期終了までに返却する。

備考

授業の心得

授業中や演習では積極的に発言・参加すること。  
授業中や演習では他者を尊重し協力し合うこと。

授業中の携帯電話等の使用は、教員の指示がない限り使用禁止とする。

科目名	公衆衛生看護学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	3年	後期			
担当者名	立川 美香、滝川 洋子、山崎 千鶴 代		関連する資格	保健師 看護師			
<b>授業概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生看護学実習 では、市町村保健センターを中心に実習を展開する。</li> <li>・既習及び学習中の公衆衛生看護学の知識・技術・態度を統合し、地域における看護の実際を体験する。</li> <li>・保健活動を通して行政における看護活動に方法を理解する。</li> </ul> <b>【実務経験】</b> 立川美香、滝川洋子、山崎千鶴代は保健師としての実務経験のもとに、公衆衛生看護学実習 の授業を行う。							
<b>到達目標</b> <b>【B3506a】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域保健法に基づいた市町村の役割を理解する。</li> <li>・対象者の健康と生活を多角的にアセスメントし、顕在的・潜在的な健康課題を明らかにする。また健康課題解決の為に展開方法を思案する。</li> <li>・対象者が自尊心、自己効力感、意欲を持ち、持てる力を発揮する支援を理解する。</li> <li>・公衆衛生看護技術を通して、地域の社会的、文化的特性を踏まえて、地域の看護診断必要性や活用方法を理解する。</li> <li>・必要な社会資源の理解と利用、関係者・関係機関との連携のあり方を理解する。また、地域保健医療チームの一員としての看護職の役割と機能を理解する。</li> <li>・実習に関わる多職種や地域で生活する人々の意見を聴き、そのことに対して専門職としての自分の考えを述べるができる。</li> </ul>			<b>成績評価方法</b> 宿題、授業外レポート：事前学習への取り組み 小テスト、授業内レポート：実習後のレポート 授業態度・授業参加度：実習前後を含めての積極的な態度 プレゼンテーション：実習前後を含めて、自己を表現する態度 グループワーク：グループへの参加の態度 実習：実習前後を含めての積極的な態度  上記を基準として総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		10
宿題、授業外レポート	○			○	○		10
授業態度・授業参加度				○			50
プレゼンテーション							10
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護学実習 ガイドブック参照	実習前後を含めて、グループ全体で協力し合って実習に臨む。その際には、グループでディスカッションをし、自身の課題とグループの課題を抽出し、修正点や不十分な点を明らかにする。課題に対する解決方法を計画し、積極的に実施する。実施した内容については、グループ間で評価しあう。
<b>授業外学習</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に必要な知識をテキスト等で予習してきてください。</li> <li>・実習先の市の概要について事前に調べてください。</li> <li>・授業後は実習で学んだ事をテキスト等で復習してください。</li> <li>・グループワークに必要な知識の強化と資料収集をしてください。</li> <li>・グループワークの時間内に円滑な学習経過が辿れない場合は、次回のグループワークまでに遅延を取り戻してください。</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	公衆衛生学、公衆衛生看護概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、憲法・人権論、地域社会学、生涯発達心理学、人間関係論、保健医療福祉行政論、家族論・家族関係論



課題に対するフィードバック

実習中、実習後に個別に課題に対するフィードバックを行う。

備考

実習オリエンテーション時に配布する、「看護学臨地実習ガイドブック」および「公衆衛生看護学実習 ガイドブック」の内容をよく読み内容を理解し、遵守してください。

科目名	公衆衛生看護学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	3	4年	前期			
担当者名	滝川 洋子、立川 美香、山崎 千鶴 代		関連する資格	保健師			
<b>授業概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民全体の健康の保持増進を目的とした、公衆衛生看護の基本理念と活動の特性を理解し、看護専門職として保健サービスを提供できる基礎的能力を育成する。</li> <li>・市保健センターにおいて、地域の健康課題およびヘルスニーズ、活動の方法、地域ケアシステムの概要を学ぶ。</li> <li>・地域の健康問題の社会的諸条件についての理解を深め、地域における健康に関連する問題を組織的に解決する公衆衛生看護の活動方法を習得する。</li> <li>・常に意見交換を実施し、グループダイナミックスを最大限活用する。</li> </ul> <p>『実務経験』滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験をもとに実習指導を行う。</p>							
<b>到達目標</b> 『B4503a』 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市における保健・医療・福祉のシステムを学び、保健師の役割と活動内容を理解し説明できる。</li> <li>2. 市における健康に関する情報を収集し、地域の健康問題を解決する方法やその過程を理解し説明できる。</li> <li>3. 直接的な支援（訪問指導、健康教育等）を学習し実践できる。</li> <li>4. 保健師としての態度を身につける。</li> </ol>			<b>成績評価方法</b> 実習態度・実習参加度 実習前学習への取組状況 （地域診断・家庭訪問計画・健康教育実践準備等） 実習記録等の記録物 実習終了後の自己評価 等で総合評価をする。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							70

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護学実習 ガイドブック参照	ディスカッション グループワーク プレゼンテーション 健康教育の実践 家庭訪問に実践 健康相談の実践 健康診査の実践等
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域での健康教育実践のための事前準備はグループで協力して行う。</li> <li>・ 家庭訪問実習は前もって情報収集し訪問計画を立てる。</li> <li>・ 実習先の地域診断は実習前からグループで取り組み、実習終了するまでに完成させる。</li> <li>・ 実習予定の事業については前もって事業内容・法的根拠等について学習する。</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	公衆衛生学、疫学・保健統計、保健福祉行政論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、データの科学的な見方、公衆衛生看護学実習

課題に対するフィードバック

実習中、実習後に個別に課題に対するフィードバックを行う。

備考

実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック」及び「公衆衛生看護学実習 ガイドブック」の内容をよく読み理解し、遵守すること。

科目名	公衆衛生看護学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	4年	前期			
担当者名	滝川 洋子、立川 美香、山崎 千鶴 代		関連する資格	保健師			
<b>授業概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民全体の健康の保持増進を目的とした、公衆衛生看護の基本理念と活動の特性を理解し、看護専門職として保健サービスを提供できる基礎的能力を育成する。</li> <li>・保健所の活動の方法、地域ケアシステムの概要を学ぶ。更に、健康問題の社会的諸条件についての理解を深め、地域における健康に関連する問題を組織的に解決する公衆衛生看護の活動方法を理解する。</li> <li>・保健所における健康危機管理の現状と保健師の活動と役割について学ぶ。</li> <li>・常に意見交換を実施し、グループダイナミックスを最大限活用する。</li> </ul> <p>『実務経験』滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験をもとに実習指導を行う。</p>							
<b>到達目標</b> 『B4504a』 <ol style="list-style-type: none"> <li>1．保健所の機能及び役割を理解し説明できる。</li> <li>2．保健所保健師の役割と、保健所で働く他職種の活動内容を理解し説明できる。</li> <li>3．保健所管轄地域の健康に関する情報を収集し、地域の健康問題を解決する方法やその過程を理解し説明できる。</li> <li>4．地域の健康問題に対して、保健所で実施している対人サービスを理解し説明できる。</li> <li>5．保健師としての態度を身につける。</li> </ol>			<b>成績評価方法</b> 実習態度・実習参加度 実習前学習への態取組状況（地域診断・家庭訪問計画等） 実習記録等記録物 実習終了後の自己評価 等で総合評価をする。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							15
演習							
実習							70

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護実習 ガイドブック参照	ディスカッション グループワーク 家庭訪問の実践 健康相談に実践 健康診査の実践等
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習先の地域診断は実習前からグループで取り組む。</li> <li>・実習予定の事業については前もって事業内容・法的根拠等について学習する。</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	公衆衛生学、疫学・保健統計、保健福祉行政論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、データの科学的な見方、公衆衛生看護学実習、公衆衛生看護学実習

課題に対するフィードバック

実習中、実習後に個別に課題に対するフィードバックを行う。

備考

実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック」及び「公衆衛生看護学実習 ガイドブック」の内容をよく読み理解し、遵守すること。

科目名	教育社会学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	後期
担当者名	白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

教育社会学の理論および方法、また具体的な研究成果の現状について、受講者によるテキスト概要に関連したトピックの報告と質疑応答により知識の定着をはかる。  
 様々な教育活動は社会全体の動きと無関係ではない。本講義では、教育社会学という学問領域の特徴を学ぶことにより、教育と社会の関わりについて考えることのできる素養を養う。受講者が各人の学校体験を無責任に「熱く」語るのではなく、報告の分担を通じて、冷静な事実認識ができるように、社会学的な「目」を培うことを目的とする。

到達目標

D2405

1. 社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる問題、並びにそれに対応するための教育政策の動向を理解できる。
2. 学校と地域の連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解できる。
3. 学校の管理下で起きる事件、事故及び災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取り組みを理解できる。

成績評価方法

定期試験（40％）、小テスト、授業内レポート（10％）、宿題、授業外レポート（30％）、プレゼンテーション（20％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク		○	○		○		
演習		○	○		○		
実習							



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方（対面授業） 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 変わる学校制度（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 社会の動向とカリキュラム（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 情報化の進展と学校教育（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 学力問題の動向（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 教師教育改革の動向（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 社会の変化と幼児教育（我が国との違い）（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 学校の危機管理と学校安全（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 地域と学校の連携（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 子どもの生活をふまえた学校と家庭の連携（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 子どもの貧困と虐待（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 義務教育と不登校（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) マイノリティと学校教育（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) ジェンダーと教育（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 共生のための教育・総括（授業全体の振り返り、レポート作成）（対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（30分） 復習：最終課題を作成する（180分）対面授業（小テスト）+遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習	
グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること 発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会と教育（酒井朗編著、ミネルヴァ書房）</li> </ul> <p>参考書・参考資料等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の学習指導要領（小学校・中学校・高等学校）</li> </ul> <p>その他講義中において適宜紹介する。</p>	<p>現代社会の教育、教職概論、教育課程論、教育原理、教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリング、教育方法・技術論、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）、特別支援教育論、生徒指導論、学校体験活動、ボランティアと社会</li> </ul>

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

科目名	子どもの発達と学習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	自由	2	2年	前期			
担当者名	三島 瑞穂		関連する資格				
<b>授業概要</b> 保健師や養護教諭，教師が児童期・思春期の子どもと関わる際に必要な知識の習得を目的とする。幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程と学習の過程を、学習心理学や教育心理学の知見を取り入れながら学ぶ。現場で学習の援助や発達の理解をその発達の背景や環境を踏まえて対処する力を身につける。発達障害、学習障害へ支援の工夫を考えることができるよう、その特徴と対処について学ぶ。 授業は原則、遠隔で行う。質問や相談にはメールと対面、両方で対応する。							
<b>到達目標</b> ナンバリング(C1407sr)  1. 幼児児童及び生徒の心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解している。 2. 乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解している。 3. 様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。 4. 主体的学習を支える動機づけ・集団作り・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連づけて理解している。 5. 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。 6. 加えて発達障害、学習障害の幼児、及び生徒の発達の特徴を理解し、学校における支援の在り方を考えることができる。			<b>成績評価方法</b> 毎回の授業の最後に提出するレポート（100％） 。 1回目は授業に対する意欲、2回目～15回目は授業内容の理解と自分なりの考察が求められる。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							20
小テスト、授業内レポート							15
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							15
プレゼンテーション							5
グループワーク							20
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 発達メカニズムの理解 予習：シラバスについて読んでおく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
2) 知性と認知の発達、知能の発達 予習：知能とは何かについて考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
3) 社会性の発達 予習：「社会性とは何だろう？」というテーマについて考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
4) 児童期の発達 予習：小学生の心の特徴について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	映像を用いた学習
5) 思春期・青年期の発達 予習：思春期の心の特徴について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
6) 認知と学習 予習：学習に必要な人の能力について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
7) 学習の理論 予習：行動の形成と変化について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
8) 教育における学習理論の応用 予習：教育における学習活動の形成について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
9) 動機づけ 予習：学校における動機づけについて考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
10) 教育評価 予習：教育における評価の在り方について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
11) 学校現場で学習障害を背景とした学習の困難さの理解と教育支援 予習：学習の困難さについて考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
12) 学校現場で自閉症スペクトラムを背景とした学習の困難さの理解と教育支援 予習：学校におけるコミュニケーションの問題について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
13) 学校現場で発達障害（ADHD）を背景とした学習に対する理解と教育支援 予習：学校における落ち着いて学ぶ条件について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
14) 学校の集団生活が子どもの心的発達に与える影響 予習：集団で学ぶことの効果について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
15) 教員との関わりが子どもの心的発達に与える影響 予習：教員との関係性について考えておく（15分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	
授業外学習	
小児看護学、障害発達心理学等、他の科目との関連を検討しておく。子どもを対象にしたボランティア活動等、子どもと積極的に触れ、子どもと学習支援への関心を高めておく。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書・参考資料の内容を元に、独自のテキストを作成する。 発達と学習（Next教科書シリーズ）内藤 佳津雄（編集）、北村世都（編集）、市川 優一郎（編集） 弘文堂 発達と学習（教職教養講座）子安 増生（著）、明和 政子（著）、稲垣恭子（監修）、高見茂・田中耕治 協同出版	生涯発達心理学 小児看護学

課題に対するフィードバック

小レポートは翌週、授業の中でコメントをする。授業外レポートについては、最後の授業で資料配布とコメントを行う。

備考

科目名	特別支援教育論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	自由	2	2年	後期			
担当者名	脇 貴典		関連する資格	養護教諭一種免許状			
<b>授業概要</b> 通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が学校生活に適応して参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。							
<b>実務経験</b> 筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター 東京都教育委員会 公立学校スクールカウンセラー 埼玉県教育委員会 特別支援教育巡回相談員 所沢市教育委員会 就学支援相談員 埼玉県戸田市教育委員会 スーパーバイザー							
<b>到達目標</b> D1404 1．発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解できる。 2．発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解できる。 3．障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解できる。			<b>成績評価方法</b> 授業内レポート（60％）、授業態度・授業参加度（30％）、宿題・授業外レポート（10％）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方 【予習】「特別支援教育」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
2) 特別支援教育の制度の理念や仕組み（インクルーシブ教育システムを含む） 【予習】「特別支援教育の理念や仕組み」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
3) 特別支援教育と学校づくり（体制整備と地域資源） 【予習】「特別支援教育の体制整備」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
4) 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心身の発達、心理的特性、学習の過程【予習】「特別な支援」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
5) ASDの理解と指導・支援 【予習】「ASD」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
6) ADHDの理解と指導・支援 【予習】「ADHD」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
7) LDの理解と指導・支援 【予習】「LD」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
8) 知的障害の理解と指導・支援 【予習】「知的障害」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
9) 視覚障害・聴覚障害の理解と指導・支援 【予習】「視覚・聴覚障害」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
10) 肢体不自由・病弱・身体虚弱・重複障害の理解と指導・支援 【予習】「肢体不自由等」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
11) 個別の指導計画と教育支援計画 指導・支援計画作成の意義と方法 【予習】「個別の指導計画」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
12) 個別の指導計画と教育支援計画 作成・活用の実際と配慮 【予習】「支援計画の活用」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
13) 「通級による指導」及び「自立活動」の内容 【予習】「通級による指導等」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
14) 特別な教育的ニーズに対する保護者・家庭との連携 【予習】「保護者のニーズ」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
15) 総括（授業全体の振り返り、レポート作成） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（90分）	授業内レポート
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布する資料について、熟読しておく。</li> <li>・毎授業終了時にキーワードを提示し授業内容について各自まとめる。</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト： 必要に応じて資料を配布する 参考書・参考資料等 柘植雅義 はじめての特別支援教育 有斐閣アルマ 2014年 特別支援学校学習指導要領（最新版）小学校学習指導要領（最新版）中学校学習指導要領（最新版）	

課題に対するフィードバック

授業内レポートはコメントをつけて返す。

備考

1 ~ 7 回分はオンライン授業（授業動画閲覧）  
8 ~ 15 回分を対面授業（集中講義：2日）



科目名	特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	吉岡 一志	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

自身の過去の経験を踏まえながら、特別活動と総合的な学習の時間、また道徳教育の意義と内容及びこれらと教科等との関連を理論的に理解し、そのうえで実践に向けた方法的視点を深める。特別活動、総合的な学習の時間、道徳教育を教科との関連を踏まえながら、統合的に理解していくことを目指す。

到達目標

D2401  
特別活動と総合的な学習の時間の意義と内容及びこれらと教科等との関連を理論的に理解するとともに、実践化のための方法的視点や具体的手立てを深める。合わせて、道徳教育について概観し、現代の子どもをめぐる諸課題との関係性について理解する。

成績評価方法

授業態度、レポート、プレゼンテーション等の成績を総合的に評価する。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート							40	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							10	
プレゼンテーション							40	
グループワーク							10	
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方 ガイダンス、特活の概説 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
2) 現代社会の今日的課題と特別活動（道徳及び総合的な学習を含む） 現代社会の課題から特活の意義を考える 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
3) 特別活動の内容と方法 学習指導要領から特活の内容と方法を整理する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
4) いじめから考える現代の子どもたち いじめを事例に子ども集団の課題について考える 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
5) 小括（現代の子どもに求められる力、レポート作成） 授業内容を振り返り、小レポートの作成をする 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	レポート作成
6) 道徳教育の歴史と現在 道徳教育の歴史を振り返り、道徳教育の意義を考える 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
7) 総合的な学習の時間の意義と原理 学習指導要領から総合学習の意義と原理を整理する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
8) 主体的な学びの意義とその実践 映画を見ながら、主体性に関する理論を整理する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
9) 自己と他者の理解を通じた将来設計 個性形成の理論を踏まえたキャリア教育の方法を検討する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
10) 小括（考えることの意味、レポート作成） 授業内容を振り返り、小レポートの作成をする 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	レポート作成
11) 特別活動（道徳及び総合的な学習を含む）における子どもと教師の関係性 教師が登場する漫画を分析し、あるべき教師像を模索する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
12) 子どもの心と学校生活 漫画題材として、子どもの心に向き合う教師像を模索する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
13) 総合的な学習の時間の事例と学習指導計画の作成（ワーク） 学習指導要領から教育目標を定めて、指導案を作成する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
14) 学習指導計画の発表（プレゼンテーション） 学習の成果を発表し、評価する視点を養う 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク プレゼンテーション
15) 総括（授業全体の振り返り、レポート作成） 授業内容を振り返り、小レポートの作成をする 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	レポート作成
授業外学習	
特別活動に関する様々な理論を講義中に紹介する予定です。難解な理論も多いので、必ず復習すること。また、適宜参考文献を紹介するので、興味がある理論については文献を読むこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：小学校学習指導要領（最新版）、中学校学習指導要領（最新版） 参考書・参考資料等 小学校学習指導要領解説・特別活動編（最新版）、中学校学習指導要領解説・特別活動編（最新版） 必要に応じて資料を配布予定	

課題に対するフィードバック

授業内に個別にコメントを行う。

備考

科目名	教育方法・技術論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

子どもや学校を取巻く環境の大きな変化にともない、学校教育の内容・方法も問われている。これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付けるために、学校教育における教える・学ぶ活動を中心に据え、そこで展開されるさまざまな形態や方法・技術・手法について事例紹介とワークを踏まえて学んでいく。さらに、今日における教育目的・内容と教育方法を考察し、アクティブラーニング、学習環境のデザイン、ICTの活用、教育の質的評価などといった小中学校から大学まで、今日の教育者に必要とされる最新の教育技術を理解する。

到達目標

C1411

1. これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解できる。
2. 教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付けることができる。
3. 情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付けることができる。

成績評価方法

定期試験（40％）、小テスト、授業内レポート（10％）、宿題、授業外レポート（30％）、プレゼンテーション（20％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							20
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：これからの子どもたちに育みたい資質・能力（対面） 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 教師に求められる授業力とは（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 授業をつくるということ（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 評価をデザインする（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 学習環境をデザインする（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 授業を支える指導技術（教師編）（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 学びを引き出す指導技術（児童・生徒編）（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 学習目標の設定（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 深い学びを導く教材研究（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 主体的・対話的な学習過程（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 学びが見える評価方法（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 授業の魅力・効果・効率を高めるICT（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) 情報活用能力を育てる（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) これからの学習環境とテクノロジーの役割（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 総括（模擬授業・研究授業の実施と改善、レポート作成）（対面） 予習：テキストの指定したページを読む（30分） 復習：最終課題を作成する（180分）遠隔＋対面	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習	
グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること 発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲垣忠 編著『教育の方法と技術』北大路書房、2019年 参考書・参考資料等</li> <li>・稲垣忠ほか著『授業設計マニュアルVer.2』北大路書房</li> <li>・最新の学習指導要領（小学校・中学校・高等学校）</li> </ul> <p>その他講義中において適宜紹介する。</p>	<p>現代社会の教育、教職概論、教育課程論、教育原理、教育相談・カウンセリング、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）、特別支援教育論、生徒指導論、教育社会学、学校体験活動、ボランティアと社会</p>

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

科目名	生徒指導論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	脇 貴典	関連する資格	養護教諭一種免許状	

**授業概要**

学校においていじめ、不登校など多くの問題が起こっており、学校教育において生徒指導の果たす役割の重要性が増している。生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。生徒指導の意義、原理、方法についての理解を深め、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付けることを目的とする。

**実務経験**

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター  
 東京都教育委員会 公立学校スクールカウンセラー  
 埼玉県教育委員会 特別支援教育巡回相談員  
 所沢市教育委員会 就学支援相談員  
 埼玉県戸田市教育委員会 スーパーバイザー

**到達目標**

D2403

生徒指導の意義や原理を理解する。  
 すべての児童生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解する。  
 児童生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解する。

**成績評価方法**

小テスト、授業内レポート（60%）、宿題、授業外レポート（10%）、授業態度・授業参加度（30%）

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート							60	
宿題、授業外レポート							10	
授業態度・授業参加度							30	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方・生徒指導とは 【予習】「生徒指導」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
2) 生徒指導の基本的な考え方とその意義 【予習】「生徒指導の意義」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
3) 生徒指導の方法・原理（法令） 【予習】「生徒指導の関連法令」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
4) 生徒指導体制の確立と運営（スクールワイドPBSによる取り組み） 【予習】「スクールワイドPBS」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
5) 児童生徒理解・教育相談の考え方と方法 【予習】「スクールワイドPBSの実践」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
6) 生徒指導における指導と相談（カウンセリング）の実際 【予習】「生徒指導の実践・相談」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
7) 「いじめ」問題の理解 【予習】「いじめ問題」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
8) 「いじめ」問題への取り組み 【予習】「いじめへの対応・実践」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
9) 「いじめ」への対応 【予習】「いじめへの対応方法」についての発表準備（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
10) 「不登校」問題の理解 【予習】「不登校問題」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
11) 「不登校」問題への取り組み 【予習】「不登校への対応・実践」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
12) 「不登校」への対応 【予習】「不登校への対応方法」についての発表準備（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
13) 児童生徒の問題行動の理解 【予習】「生徒指導と問題行動」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
14) 児童生徒の問題行動への対応 【予習】「校内の問題行動への対応」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
15) 総括 他機関との連携 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（90分）	授業内レポート
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布する資料について、熟読しておく。</li> <li>・毎授業終了時にキーワードを提示し授業内容について各自まとめる。</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト 必要に応じて資料を配布する。 参考書・参考資料等 石黒康夫・三田地真実 参画型マネジメントで生徒指導が変わる 図書文化 2015年 文部科学省 生徒指導提要 2010年	



課題に対するフィードバック

授業内レポートはコメントをつけて返す。

備考

1 ~ 5 回分はオンライン授業（授業動画閲覧）  
6 ~ 15 回分を対面授業（集中講義：5コマ2日）

科目名	健康相談活動			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	後期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で行う。  
 学校教育の現場で児童・生徒の抱えるストレスや悩み等から起こる心身の健康問題、不登校等の現状について理解し、その対応について理論と事例検討を通して習得する。  
 新開奏恵は、養護教諭の実務経験をもとに、健康相談活動について授業を行う。  
 佐伯里英子は、養護教諭の実務経験をもとに、健康相談活動について授業を行う。

到達目標

- D2407  
 1. 養護教諭が行う健康相談の意義について理解する。  
 2. 健康相談の理論を学び方法を実施できる。

成績評価方法

- 定期試験(25%)  
 レポート(30%)  
 授業態度(15%)  
 グループワーク(20%)  
 演習(10%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	5	15		5			25
小テスト、授業内レポート		10	5				15
宿題、授業外レポート		10	5				15
授業態度・授業参加度			10		5		15
プレゼンテーション							0
グループワーク		5	5	5	5		20
演習		5		5			10
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 健康相談の目的と意義(新開奏恵) 【予習】配布した文献を読んでおく。(15分) 【復習】健康相談の目的についてまとめる。(10分)	グループワーク
2) 社会の変化と子どもの健康問題の変遷(新開奏恵) 【予習】子どものヘルスニーズについて文献を読んでおく。(15分) 【復習】子どもの健康課題について整理する。(10分)	グループワーク
3) 心身の健康問題における発達段階別の特徴(新開奏恵) 【予習】健康相談の実践事例を読んでおく。(15分) 【復習】実践記録を読み養護教諭の対応をまとめる。(60分)	グループワーク 演習
4) 頭痛・腹痛に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】頭痛・腹痛のアセスメントについて確認しておく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク 演習
5) 体調不良による頻回来室に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
6) 喘息に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】喘息の症状やアセスメントについて確認しておく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
7) けがやスポーツ障害に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】スポーツ障害について確認しておく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
8) 保健室登校に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読み養護教諭の対応をまとめておく。(60分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク プレゼンテーション
9) 友だち関係のトラブルやいじめに対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
10) 障がいをもつ子どもに対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
11) アレルギーや慢性疾患に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
12) いじめ・虐待に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
13) 摂食障害や自傷行為に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
14) 性の問題に対する健康相談(外部講師) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)	グループワーク
15) 履修カルテへの記録・授業の振り返り(新開奏恵) 【予習】健康相談活動での配布資料を整理しておく。(15分) 【復習】健康相談における養護教諭の役割について整理する。(15分)	
授業外学習	
<p>授業外学習は、予習として授業で使用する資料を読み、内容を理解する。 復習では、配布資料を整理し健康相談活動における養護教諭の役割について振り返りをする。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>参考書: 文部科学省 「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引き」教材: 本の泉社 機関誌「保健室」</p>	<p>学校保健、養護概論、精神保健、小児看護学、教職科目</p>

課題に対するフィードバック

毎回の授業の気づきについては、一人一人にコメントをつけて次の授業時に返却する。  
学生の気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	学校保健			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。  
 学校教育における学校保健の目的、意義、実際の活動について学習し、学校保健安全法等に定められる学校保健管理及び学校環境衛生の概略を理解する。児童・生徒及び教職員の健康と安全の保持増進を図るため、また、児童・生徒の健康に生きる力を育むための保健管理、保健教育における保健実践活動の進め方や実際について、主としてグループワークを通して習得する。  
 養護教諭の実務経験をもとに、学校保健について授業を行う。

到達目標

D2404

1. 学校教育における学校保健の概略を理解する。
2. 学校保健活動を実践していくうえで必要な各論的知識を身につける。

成績評価方法

- 定期試験(50%)  
 レポート(10%)  
 授業態度(10%)  
 プレゼンテーション(10%)  
 グループワーク(20%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	50						50
小テスト、授業内レポート	5	5					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			10				10
プレゼンテーション		5		5			10
グループワーク			10		10		20
演習							0
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 学校保健の活動（事項・内容・方法等）（新開奏恵） 【予習】学校体験活動の資料を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク
2) わが国の学校保健制度（新開奏恵） 【予習】学校保健制度・学校看護婦制度について調べておく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク
3) 学校保健安全法（新開奏恵） 【予習】学校保健安全法について調べておく。（30分） 【復習】学校保健安全法の確認問題を復習する。（15分）	小テスト
4) 児童生徒に多い疾病異常、事故傷害、体力の実態（保健管理）（新開奏恵） 【予習】学校保健統計資料を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク プレゼンテーション
5) 児童生徒の心身の健康状態の把握と対応（保健管理）（新開奏恵） 【予習】学校保健統計資料を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク
6) 学校環境・安全管理の内容と方法（保健管理）（新開奏恵） 【予習】学校環境衛生に関する資料を読んでおく。（10分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク
7) 学校における危機管理（安全管理）（新開奏恵） 【予習】学校での事件や事故に関する記事を準備する。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク
8) 子どもの健康、発達の現状に対する学校保健における取組（組織活動）（新開奏恵） 【予習】実践記録資料を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	グループワーク
9) 学習指導要領に基づく保健教育（学外講師） 【予習】小学校、中学校、高等学校の保健体育の教科書を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）	レポート
10) 養護教諭の専門性を生かした保健教育（新開奏恵） 【予習】「養護実習の学び2019」を読んでおく。（15分） 【復習】指導案を作成する。（30分）	グループワーク
11) 養護教諭の専門性を生かした保健教育（新開奏恵） 【予習】指導案の概要について発表できるようにしておく。（15分） 【復習】指導案を修正する。（30分）	ディスカッション
12) 模擬授業の実施と評価（新開奏恵） 【予習】指導案の概要について発表できるようにしておく。（15分） 【復習】指導案を修正する。（30分）	プレゼンテーション
13) 模擬授業の実施と評価（新開奏恵） 【予習】指導案の概要について発表できるようにしておく。（15分） 【復習】教材を検討する。（30分）	プレゼンテーション
14) 学校保健組織活動・異業種連携教育（新開奏恵） 【予習】ほけんだよりを準備しておく。（30分） 【復習】ほけんだよりを作成する。（30分）	グループワーク 小テスト
15) 履修カルテへの記録・授業の振り返り（新開奏恵） 【予習】学校保健での配布資料を整理しておく。（15分） 【復習】学校保健に関する確認問題を行う。（20分）	ディスカッション
授業外学習	
授業外学習は、予習として学校保健に関する法令や学校保健活動について資料を読みワークシートに整理しておく。復習では、配布資料を整理し学習の振り返りを行うこと。また、法令等は確認問題で定着させる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書：新訂版「学校保健実務必携」 プリント資料	小児看護学、養護概論、養護実習指導、教職実践演習

課題に対するフィードバック

確認問題については、授業で解答とポイントの解説をする。  
毎回の授業の振り返りや気づきについては、一人一人にコメントをつけて次の授業時に返却する。  
学生全員の振り返りや気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	養護概論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	自由	2	2年	後期			
担当者名	新開 奏恵		関連する資格	養護教諭一種免許状			
<b>授業概要</b> 本授業は対面で実施する。 児童・生徒の心身の健康を保持増進させるために求められる、養護教諭の専門性と役割及び保健室の機能について学ぶ。また、学校保健活動においては、学校内外の関係者や関係機関との連携、ネットワークづくりが重要であるため、関係職員、関係機関の特性と役割について正しく理解し、養護教諭の専門性について深く考える。さらに養護教諭の職務内容を学び、資質・能力を向上するために必要な知識や理論、実践的な力量の内容について明らかにする。 養護教諭の実務経験をもとに養護概論について授業を行う。							
<b>到達目標</b> D2408 1. 養護教諭の職務内容と専門性を理解する。 2. 実際の養護活動場面を想定した指導計画を立案できる。			<b>成績評価方法</b> 定期試験(20%) レポート(20%) 授業態度(20%) プレゼンテーション(20%) グループワーク(20%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	15	5					20
小テスト、授業内レポート		10					10
宿題、授業外レポート		10					10
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク			10		10		20
演習							
実習							



授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 「養護教諭とは」(新開奏恵) 【予習】学校保健における養護教諭の職務についての資料を読んでおく。(15分) 【復習】「養護教諭観」をまとめる。(15分)	グループワーク
2) オリエンテーション 「養護教諭観」「養護教諭の歴史」(新開奏恵) 【予習】「養護教諭観」の発表練習をしておく。(15分) 【復習】教員として求められる資質についてまとめる。(15分)	プレゼンテーション
3) けがのアセスメントや救急処置 (新開奏恵) 【予習】学校で起こるけがの処置方法について調べておく。(15分) 【復習】救急処置方法について整理する。(15分)	グループワーク
4) けがのアセスメントや救急処置?(新開奏恵) 【予習】学校で起こるけがの処置方法について調べておく。(15分) 【復習】救急処置方法について整理する。(15分)	グループワーク
5) 健康診断(新開奏恵) 【予習】法的根拠、目的、内容について調べておく。(15分) 【復習】健康診断計画をグループで完成する。(20分)	グループワーク
6) 保健室実践(学外講師) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】子どもの健康課題解決のための取組についてレポートを書く。(60分)	
7) 健康診断(新開奏恵) 【予習】測定や検査方法について調べておく。(15分) 【復習】健康診断実施の際の留意点について確認する。(15分)	グループワーク 健康診断実施計画作成
8) 学校環境衛生活動(新開奏恵) 【予習】法的根拠、目的、内容、方法等を調べておく。(20分) 【復習】環境衛生活動における留意点について確認する。(15分)	グループワーク プレゼンテーション
9) 保健室経営や保健計画立案(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】保健室経営案をグループで完成させる。(20分)	グループワーク 保健室経営案作成
10) 感染症の予防(新開奏恵) 【予習】児童生徒が罹患しやすい病気を調べておく。(20分) 【復習】感染症対策についてまとめる。(15分)	グループワーク
11) 保健教育(新開奏恵) 【予習】保健教育の題材を調べておく。(20分) 【復習】養護教諭の行う保健教育の意義をまとめる。(15分)	グループワーク 保健指導案作成(冬休み課題)
12) 保健教育・教職ガイダンス(新開奏恵) 【予習】保健教育で行いたいテーマを決め、教材を準備しておく。(30分) 【復習】指導案を修正する。(15分)	指導案説明
13) 保健教育(新開奏恵) 【予習】模擬授業の練習をしておく。(30分) 【復習】指導案を修正する。(15分)	プレゼンテーション 模擬授業
14) 保健室実践(学外講師) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】子どもの健康課題解決のための取組についてレポートを書く。(60分)	
15) 履修カルテへの記録・授業の振り返り(新開奏恵) 【予習】養護概論での配布資料を整理しておく。(15分) 【復習】確認問題について復習し、定着させる。(15分)	
授業外学習	
授業外学習は、予習として授業内容に関する法令や内容について実務必携を参考に調べておく。(事前ワークシート) 復習では、配布資料を整理し授業内容の振り返りを行い、法令等は確認問題で定着させる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書:「学校保健実務必携」 教材:中村富美子編著「養護教諭のスキルラダー」	小児看護学 教職科目

課題に対するフィードバック

確認問題については、授業で解答とポイントの解説をする。  
毎回の授業の振り返りや気づきについては、一人一人にコメントをつけて次の授業時に返却する。  
学生全員の振り返りや気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	養護実習指導						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講・演	自由	1	3年	前期			
担当者名	新開 奏恵		関連する資格	養護教諭一種免許状			
<b>授業概要</b> 本授業は対面で行う。 養護実習の目的、意義の理解を深めるとともに、実習に必要な知識、技術を習得する。また、子どもの健康問題について考え、そこから課題を明らかにし、課題解決に向けてどのように取り組むか、実際の学校現場の実践から学ぶと共に、授業づくりの実践力を身につける。 新開奏恵は、養護教諭の実務経験をもとに、養護実習指導を行う。 佐伯里英子は、養護教諭の実務経験をもとに、養護実習指導を行う。							
<b>到達目標</b> D3401 1. 養護実習の目的や意義を理解し、実習に必要な技術を習得する。 2. 実習目標、実習計画を立案する。 3. 演習や模擬授業を通して、相互に学び合うことができる。			<b>成績評価方法</b> 小テスト・レポート(30%) 授業態度(20%) プレゼンテーション(20%) グループワーク(10%) 演習(20%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート	10	10					20
宿題、授業外レポート		10					10
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク			5		5		10
演習		10		10			20
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 養護実習の目的・意義(新開奏恵) 【予習】実習生調査書の下書きをしておく。(60分) 【復習】実習のガイドブックを読む。(30分)	グループワーク
2) 保健室における養護教諭の執務(新開奏恵) 【予習】実習調査書の下書きをする。(30分) 【復習】実習のガイドブックを読み必要物品を準備する。(30分)	グループワーク
3) 保健室における養護教諭の執務(新開奏恵) 【予習】実習調査書の清書をする。(30分) 【復習】実習のガイドブックを読み実習における課題を明確にする。(30分)	グループワーク
4) 外科的な救急処置(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行う。(30分)	演習
5) 内科的な救急処置(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行う。(30分)	演習
6) 緊急性の高い救急処置(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行う。(30分)	演習
7) 健康診断(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】測定・検査について自己練習を行う。(30分)	演習
8) 保健教育(新開奏恵) 【予習】養護概論で作成した保健指導の修正をしておく。(30分) 【復習】指導の流れを覚える。(30分)	グループワーク
9) 環境衛生検査(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】測定・検査について自己練習を行う。(30分)	演習
10) 保健教育(佐伯里英子) 【予習】模擬授業の練習をしておく。(30分) 【復習】他者評価を参考に指導案や教材を改善する。(30分)	プレゼンテーション
11) 保健教育(新開奏恵) 【予習】9月に配布するほけんだよりの資料を準備しておく。(30分) 【復習】ほけんだよりを完成する。(30分)	プレゼンテーション
12) 統計処理(新開奏恵) 【予習】実習校との連絡調整についてガイドブックを読んでおく。(30分) 【復習】法令に関する小テストの学習をする。(30分)	演習
13) 保健室経営(新開奏恵) 【予習】法令に関する小テストの学習をしておく。(30分) 【復習】授業に関する疑問点を整理する。(30分)	グループワーク 演習
14) 保健室経営(新開奏恵) 【予習】法令に関する小テストの学習をしておく。(30分) 【復習】授業に関する疑問点を整理する。(30分)	グループワーク
15) 実習の振り返り(新開奏恵) 【予習】実習日誌や資料を整理しておく。(30分) 【復習】他の学生の発表を聞いて学んだ内容をまとめる。(30分)	プレゼンテーション
授業外学習	
<p>授業外学習は、予習として養護概論で学んだ養護教諭の執務内容を確認する。 復習では、演習を振り返り、養護実習で正確に実践できるように練習する。指導案や教材を作成する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト:本学作成「実習のガイドブック」 「養護実習の学び2021」報告集 参考書:第一法規「学校保健実務必携」 山口県養護教諭会「養護教諭の職務ハンドブック2020」</p>	<p>養護実習、小児看護学 教職科目</p>

課題に対するフィードバック

毎回の授業の自己評価については、一人一人コメントをつけて次の授業時に返却する。

備考

科目名	養護実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	自由	4	3年	前期			
担当者名	新開 奏恵		関連する資格	養護教諭一種免許状			
<b>授業概要</b> 小・中・高のいずれかの学校において、養護教諭の指導のもとに、実際に学校での児童・生徒の健康管理や保健教育を行い、養護教諭としての実践力を養うことを目的とする。具体的には、児童・生徒の実態への理解を深めるとともに、保健室の実習を中心として、学級運営や学習指導の観察・参加、保健教育なども体験する。このことを通して、大学で学んだ知識や技術を実践と統合させ、応用できる能力を養い、養護教諭としての自覚を高める。事前、事後指導も行う。 養護教諭の実務経験のもとに、養護実習を行う。							
<b>到達目標</b> D3402 1. 児童・生徒の学校生活の実態や心身の健康問題・発達課題を理解する。 2. 場面に応じて適切な判断・処置・指導を行うことができる。			<b>成績評価方法</b> 実習評価表(50%) 実習日誌・レポート(50%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>実習校で作成した「実習計画」にしたがって実施すること  予習として、指導案及び教材を作成すること  復習として、実習記録や資料の整理を行い、実習の振り返りを作成すること  実習報告としてPPTを作成すること</p>	<p>実習</p>
授業外学習	
<p>実習校で作成された実習計画を確認する。保健教育の指導案作成や教材づくりについて、事前に準備をしておく。学校保健安全法に基づく養護教諭の職務内容について確認する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト: 本学作成「実習のガイドブック」  「養護実習の学び2020」  参考書: 第一法規「学校保健実務必携」  山口県養護教諭会  「養護教諭の職務ハンドブック2020」</p>	<p>養護実習指導、学校保健、養護概論、健康相談活動、小児看護学、教職科目</p>

課題に対するフィードバック

養護実習の学び報告集を作成し報告会を開催し学びを共有する。報告会に実習校指導養護教諭、講師を招聘し指導を受ける。報告会には2年次学生も参加する。

備考



科目名	教職実践演習（養護教諭）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講・演	自由	2	4年	後期			
担当者名	新開 奏恵		関連する資格	養護教諭一種免許状			
<b>授業概要</b> 本授業は対面(13回)と遠隔(2回)で実施する。 教育実習や学部における教職・教科専門科目についての学びを振り返り、知識・理解を補足し、自己の実践的課題を明らかにする。社会が変化する中で多様な健康課題、児童・生徒の心身の発達課題に対応するために、養護教諭の仕事内容や役割等についての実践事例をもとに、グループ討論を通して理解を深める。また、自らの社会人としての自覚、人間関係能力等についても授業を通して深く考え、教職への適性を含め、卒業後のキャリアを考える契機とする。 新開奏恵は、養護教諭の実務経験をもとに、教職実践演習(養護教諭)について授業を行う。 佐伯里英子は、養護教諭の実務経験をもとに、教職実践演習(養護教諭)について授業を行う。							
<b>到達目標</b> D4401 1.教職課程ならびに学部教育の学びを振り返り、養護教諭の様々な場面での活動について理解を深める。 2.自らの学習活動を振り返り、今後の仕事や生き方にどう活かすか、展望をもつ。			<b>成績評価方法</b> レポート(40%) 授業態度(20%) グループワーク(20%) 演習(20%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート		10		10			20
宿題、授業外レポート		10	10				20
授業態度・授業参加度					20		20
プレゼンテーション							
グループワーク		10	10				20
演習				10	10		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション(新開奏恵) 【予習】履修カルテの確認をしておく。(15分) 【復習】自己評価を行い課題点を明確にする。(15分)	
2) 教職科目や養護実習の評価(新開奏恵) 【予習】教材資料を読んでおく。(15分) 【復習】養護実習日誌を読む。(15分)	グループワーク
3) 養護教諭のスキル(知識・技術)における振り返り(新開奏恵) 【予習】養護実習事例を読んでおく。(15分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
4) 救急処置(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク・演習
5) 救急処置(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク・演習
6) 健康診断(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
7) 疾病予防管理・環境管理(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
8) 安全管理(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
9) 健康相談(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
10) 生徒指導・特別支援教育・ケースマネジメント(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
11) 保健教育(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
12) 保健室経営(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
13) 保健組織活動(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
14) 自己研鑽(佐伯里英子) 【予習】学習資料を整理しておく。(20分) 【復習】今後の自分の課題をまとめる。(15分)	
15) 「チーム学校」における養護教諭の専門性と役割(新開奏恵) 【予習】自分の課題に対して課題解決のための取組について考えておく。(20分) 【復習】履修カルテの自己評価を行う。(15分)	レポート
授業外学習	
<p>授業外学習は、予習として授業に関連する内容を養護実習記録から抽出し、整理する。  復習では、他者の意見や配布資料を参考に、今後の仕事や生き方にどう生かすかをまとめる。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
教材資料；養護教諭のスキルラダー（スキルラダー研究会『健康教室』東山書房 2016年4月～2017年3月 連載） 本学作成「養護実習の学び2021」 実習記録	学校保健、養護概論、健康相談活動

課題に対するフィードバック

毎回の授業の振り返りや気づきについては、一人一人にコメントをつけて次の授業時に返却する。  
学生全員の振り返りや気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	ナーシングスタディ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	自由	1	4年	後期			
担当者名	清水 佑子、山崎 千鶴代、柿並 洋子、三隅 達也、烏谷 美希	関連する資格	看護師、保健師、養護教諭				
<b>授業概要</b> ナンバリング：B4404 基礎看護学、成人看護学、小児看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護論及び公衆衛生看護学の担当で4年間の看護学の総まとめを行う。具体的には特に重要なポイントを再度説明し、学生がグループワーク等を通して知識の再確認を行う。また視覚教材を利用し、人体の構造と機能および疾病の成り立ちの理解を行う。							
<b>到達目標</b> 1) 4年間の看護学の就学内容のまとめができる。 2) 4年間の看護学の知識において自分の課題を見出し、苦手科目を克服できる。 3) 卒業後、看護専門職業人としての心構えを養う。			<b>成績評価方法</b> 小テスト・学内レポートなど提出物すべてを対象とする。出席状況、授業態度。 上記項目を総合して評価する。看護師国家試験の模擬試験を実施する。定期試験は行わない。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート	○	○	○				15
授業態度・授業参加度	○				○		70
プレゼンテーション							
グループワーク	○				○		5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション・人体の構造と機能・疾病の成り立ち【予習】60分：DVD視聴 予習キーワード：人体の構造・疾病の成り立ち看護師国家試験過去問題 【復習】 30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
2) 人体の構造と機能・疾病の成り立ち【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：人 体の構造・疾病の成り立ち看護師国家試験過去問題【復習】30分：講義資料から看 護のポイントを考える	講義内 小テスト
3) 人体の構造と機能・疾病の成り立ち【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：人 体の構造・疾病の成り立ち看護師国家試験過去問題【復習】30分：講義資料から看 護のポイントを考える	講義内 小テスト
4) 人体の構造と機能・疾病の成り立ち【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：人 体の構造・疾病の成り立ち看護師国家試験過去問題【復習】30分：講義資料から看 護のポイントを考える	講義内 小テスト
5) 基礎看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：基礎看護学看護師国家試験 過去問題【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
6) 基礎看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：基礎看護学看護師国家試験 過去問題【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
7) 基礎看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：基礎看護学看護師国家試験 過去問題【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
8) 母性看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：母性看護学看護師国家試験 過去問題【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
9) 小児看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：小児看護学看護師国家試験 過去問題【復習】30分：演習から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
10) 成人看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：成人看護学看護師国家試験 過去問題【復習】30分：演習から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
11) 老年看護学 【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：老年看護学看護師国家試験過去問題 【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
12) 在宅看護論【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：在宅看護論看護師国家試験 過去問題 【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
13) 精神看護学【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：精神看護学看護師国家試験 過去問題 【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
14) 医療安全・倫理【予習】60分：DVD視聴：予習キーワード：医療安全・倫理看護師 国家試験過去問題 【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
15) 社会保障【予習】60分：DVD視聴予習キーワード：社会保障看護師国家試験過去問 題 【復習】30分：講義資料から看護のポイントを考える	講義内 小テスト
授業外学習	
模擬試験の振り返り、各講義の教員から出題された課題を行う。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
授業は、各担当の教員が準備するため、教科書の購入の必要は ないが、問題集、参考書は、学習 しやすいものを各自が選んで購入する。指定はしない。 看護学すべての教科書	基礎看護学、成人看護学、小児看護学、母性看護学、老年看護 学、精神看護学、在宅看護論及び公衆衛生看護学

課題に対するフィードバック

成績の経過を個人に提示し、学力のアセスメントを教員とともに挙う。必要時は、個人面談を挙い、不得意な科目の取りこぼしがないよう個人レベルに合わせた指導する。

備考